

# JICA中国 外壁改修工事 設計図

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	表紙・目次	31	F棟 天井伏図
02	特記仕様書 1	32	F棟 建具配置図 建具表
03	特記仕様書 2	33	F棟 平面詳細図
04	特記仕様書 3	34	F棟 鉄骨詳細図
05	外壁改修詳細図	35	部分詳細図
06	付近見取図・配置図	36	備蓄倉庫詳細図
07	E棟 仕上表	37	プロパンボンベ庫詳細図
08	E棟 1階平面図	38	仮設計面 配置図 (参考図)
09	E棟 2階平面図	39	E棟 仮設計面 1・2階平面図 (参考図)
10	E棟 3階平面図	40	E棟 仮設計面 3階・屋根平面図 (参考図)
11	E棟 屋根平面図	41	E棟 仮設計面 立面図 (参考図)
12	E棟 立面図 1	42	F棟・付属棟 仮設計面 1階平面図 (参考図)
13	E棟 立面図 2	43	F棟 仮設計面 屋根平面図 (参考図)
14	E棟 立面図 3	44	F棟 仮設計面 立面図 (参考図)
15	E棟 断面図		
16	E棟 天井伏図		
17	E棟 建具配置図 建具表		
18	E棟 詳細図 1		
19	E棟 詳細図 2		
20	E棟 詳細図 3		
21	E棟 詳細図 4		
22	E棟 詳細図 5		
23	E棟 外部デッキ詳細図		
24	F棟 仕上表		
25	F棟 1階平面図		
26	F棟 屋根平面図		
27	F棟 立面図 1		
28	F棟 立面図 2 断面図		
29	F棟 立面図 3		
30	F棟 矩計図 庇詳細図		

建築改修工事特記仕様書		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																												
<b>I. 工事概要</b> 1. 工事名 JICA中国 外壁改修工事 2. 工事場所 広島県東広島市鏡山3-3-1 3. 工期 着 工 令 和 年 月 日 完成期限 令 和 年 月 日 完成期限 令 和 年 月 日 指定部分 ( ) 4. 工事種目 1. E棟 (管理・研修棟) : RC造一部S造 地上3階 建築面積: 519.89㎡ 延べ面積: 1,489.18㎡ 防水改修工事、外壁改修工事、塗装改修工事、環境配慮改修工事 2. F棟 (食堂棟) : RC造一部S造 地上1階 建築面積: 690.13㎡ 延べ面積: 660.04㎡ 防水改修工事、外壁改修工事、塗装改修工事、環境配慮改修工事 3. 備蓄倉庫: WRC造 地上1階 建築面積: 15.60㎡ 延べ面積: 15.60㎡ 防水改修工事、外壁改修工事、塗装改修工事 4. フロアポンプ庫: WRC造 地上1階 建築面積: 12.60㎡ 延べ面積: 12.60㎡ 防水改修工事、外壁改修工事、塗装改修工事 5. 敷地面積 29,043.43㎡ 6. 地域指定 東広島都市計画区域 市街化区域 準工業地域 (200/60) 広島中央サイエンスパーク地区地区計画 防火指定なし 宅地造成工事規制区域 騒音第3種区域 振動第2種区域 下水道利用開始区域		1 一般共通事項 ○ 設計図書 ※ 契約後に設計図縮小版 (A3判) を背貼製本の上監督職員に4部提出する。 (大冊になる場合は分冊とする。表紙及び背表紙には「施設名」、「工事名」、「年度」を記載し、『設計図』との表記をすること。詳細は監督職員の指示による) ※ 印刷・製本費用は受注者の負担とする。 監督職員の指示により、工種別の施工計画書・要領書、製品検査要領書を作成する。 また、施工完了後速やかに施工結果検査報告書を提出する。 提出した施工計画書等の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 ○ 発生材の処理等 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法は廃棄物処理法に基づき適正に処理する。 排出事業者として保管対象のマニフェストの写し及び所定の報告書を作成検査時に提出する。 ・ 本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画書作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また同システムにより、工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、工事完了時に同計画書の実施報告書 (書式は同一) を作成し、監督職員に提出する。 ・ 現場において再利用するもの ( ) ・ 発注者に引渡しを要するもの ( ・ 廃石綿 ・ PCB含有物 ・ ) ○ 特別管理産業廃棄物 ( ○ 廃石綿 ・ PCB含有物 ・ ) [1.3.12] ・ PCB含有シーリング材の処理 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 ※ 図示による 第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 分析個数 計 箇所 除去処理工事 除去範囲 ※ 図示による ○ 特定建設資材の分別解体等及び再資源化等 [1.3.12] 本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。 また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。 分別解体等の方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 程</th> <th>作 業 内 容</th> <th>手作業</th> <th>手作業、機械作業併用 (範囲)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 解体工事</td> <td>・ 建築設備の取り外し ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 内装材等の取り外し ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 屋根ふき材の取り外し ※ ・ (※ 図示 ・ ) ○ 外装材の取り壊し ※ ○ (※ 図示 ○ 工事部分全て) ・ 上部構造部分の取り壊し ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 基礎の取り壊し ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 基礎ぐいの取り壊し ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ その他 ( ) ・ ・ (※ 図示 ・ )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 増築工事</td> <td>・ 造設等の工事 ・ ・ (※ 図示 ・ )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 修繕</td> <td>・ 基礎の工事 ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 基礎ぐいの工事 ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 上部構造部分の工事 ・ ・ (※ 図示 ・ ) ○ 外装の工事 ※ ○ (※ 図示 ○ 工事部分全て) ・ 屋根の工事 ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 建築設備工事 ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 内装等の工事 ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ その他 ( ) ※ ・ (※ 図示 ・ )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 手作業・機械作業を併用する理由 建築設備の取り外し ( ) 内装材等の取り外し ( ) 屋根ふき材の取り外し ( ) 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設 <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定建設資材廃棄物の種類</th> <th>再資源化等をする施設の種類</th> <th>所 在 地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート及び鉄からなる建設資材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルトコンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 特定建設資材廃棄物以外の発生材の処分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>再資源化</th> <th>処分施設の種類</th> <th>所 在 地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※ する ・ しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ する ・ しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ する ・ しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ する ・ しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ○ 既存部分等への処置 改修、部分撤去など、既存建物に係る工事の場合、既存建物の下地及び仕上げの補修等は、必要最小限の範囲に留める。その補修方法は、本工事の当該工事又は既存建物部分に倣い施工する。仕上げ材等が新旧材料と相いとなる部分についても同様とする。 ○ 材料の品質等 (1.4.2) [1.4.2] 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとし、特記されたもの又はこれと同等以上のものを使用する。 ただし、同等以上のもの及び指定のないものを用いる場合は、見本、材質、性能、施工要領について監督職員の承諾を得る。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 改修標準仕様書及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。	工 程	作 業 内 容	手作業	手作業、機械作業併用 (範囲)	○ 解体工事	・ 建築設備の取り外し ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 内装材等の取り外し ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 屋根ふき材の取り外し ※ ・ (※ 図示 ・ ) ○ 外装材の取り壊し ※ ○ (※ 図示 ○ 工事部分全て) ・ 上部構造部分の取り壊し ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 基礎の取り壊し ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 基礎ぐいの取り壊し ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ その他 ( ) ・ ・ (※ 図示 ・ )			・ 増築工事	・ 造設等の工事 ・ ・ (※ 図示 ・ )			○ 修繕	・ 基礎の工事 ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 基礎ぐいの工事 ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 上部構造部分の工事 ・ ・ (※ 図示 ・ ) ○ 外装の工事 ※ ○ (※ 図示 ○ 工事部分全て) ・ 屋根の工事 ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 建築設備工事 ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 内装等の工事 ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ その他 ( ) ※ ・ (※ 図示 ・ )			特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の種類	所 在 地	・コンクリート			・コンクリート及び鉄からなる建設資材			・木材			・アスファルトコンクリート			種 類	再資源化	処分施設の種類	所 在 地		※ する ・ しない				※ する ・ しない				※ する ・ しない				※ する ・ しない			1 一般共通事項 4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等があったことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されたものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 品名 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法による。 支給品 支給材料がある際の品名・数量は下記による。その引継ぎ時期、場所、方法等は指示による。 品名: 数量: 品名: 数量: 技能士を配置する工事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>防水施工</td> <td>・ アクリル防水工事作業 ○ ウレタン系塗膜防水工事作業 ・ ポリウレタン系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セルロシ系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ○ 改質アスファルトシート防水工事作業 ・ FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>建築板金</td> <td>・ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>樹脂接着剤 注入施工</td> <td>○ 樹脂接着剤注入工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官</td> <td>・ 左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>○ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>塗装</td> <td>○ 建築塗装作業</td> </tr> </tbody> </table> ※ 行う (回数及び時期については監督職員の指示による) ○ 行わない ○ 中間技術検査 [1.7.2] ○ 施工の検査等に伴う試験 施工試験は各章の特記事項によるほか監督職員の指示による。 試験結果は報告書としてまとめ監督職員に提出する。 ○ 施工数量調査 [1.5.2] 調査範囲 ※ 外壁 (庇、笠木共) ・ 屋根 ・ 図示 調査方法 ※ ストマンマーによる打診及び目視 ・ 図示 外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無について位置及び数量 (幅、長さ、面積) の調査を行う。 屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無について位置及び数量 (幅、長さ、面積) の調査を行う。 調査結果報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する (必要に応じ写真等を添付する)。 ○ 撤去部分 コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。 ○ 工事記録写真 工事記録写真 (工事着手前・工事中) は、日付入りとし、下記のものを監督職員に提出する。 撮影後、プリントを速やかに行いA4版ファイルに綴じ整理する。 (1) 工程写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真 (カラー・サービス版) を月次工事工程報告書に添付する。 (2) 工事中写真 水中又は地中に埋設される部分、その他完成後外部から検査・確認する事が出来なくなる部分及びその他監督職員が指示する箇所は、A4版ファイルにまとめて完成検査日までに提出する。 (3) その他の写真 隣接建物等に損傷のおそれがある場合は、施工前・施工後の写真 (カラー・サービス版) を監督職員の指示により提出する。 (4) 保管 工事写真のデータは、受注者において工事完成後2年間保管すること。 ○ 完成写真 工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>撮影部位及び箇所数</th> <th>形式・サイズ</th> <th>提出枚数</th> <th>画素数、画質等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 外観 (6) 箇所</td> <td>・ カラー印刷紙キャビネット版</td> <td>-</td> <td>4500×3000ピクセル</td> </tr> <tr> <td>○ 外部 (15) 箇所</td> <td>○ カラー印刷紙キャビネット版 A4アルバム綴じ</td> <td>○ 4部</td> <td>以上で画像補正を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>・ 内部 ( ) 箇所</td> <td>○ 電子データ (JPEG形式) ・ 全紙版アルミ額入り</td> <td>○ 1部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外部 ( ) 箇所</td> <td>・ カラー印刷紙キャビネット版</td> <td>-</td> <td>1280×960ピクセル</td> </tr> <tr> <td>・ 内部 ( ) 箇所</td> <td>・ A4アルバム綴じ ・ 電子データ (JPEG形式)</td> <td>-</td> <td>以上、かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質</td> </tr> </tbody> </table> 撮影者は建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者 完成写真は工事前後を同一アングルにて撮影し、対比して整理する。 現況及び完成写真は日付入りとする。 デジタルデータは完成写真帳 (EXCEL) にまとめたものとする。 ○ 保証書 次の工事について保証書を提出すること <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事区分</th> <th>材 料 名</th> <th>保証年数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 防水改修工事</td> <td>・ アスファルト防水 ○ 改質アスファルトシート防水 ・ 合成高分子フルーフィング防水 ○ 塗膜防水</td> <td>10年 年 年 10年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外壁改修工事</td> <td>・ 下地補修 ・ 塗装</td> <td>年 年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	○ とび作業	防水改修工事	防水施工	・ アクリル防水工事作業 ○ ウレタン系塗膜防水工事作業 ・ ポリウレタン系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セルロシ系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ○ 改質アスファルトシート防水工事作業 ・ FRP防水工事作業	外壁改修工事	建築板金	・ 内外装板金作業	外壁改修工事	樹脂接着剤 注入施工	○ 樹脂接着剤注入工事作業		左官	・ 左官作業		タイル張り	○ タイル張り作業	塗装改修工事	塗装	○ 建築塗装作業	撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出枚数	画素数、画質等	○ 外観 (6) 箇所	・ カラー印刷紙キャビネット版	-	4500×3000ピクセル	○ 外部 (15) 箇所	○ カラー印刷紙キャビネット版 A4アルバム綴じ	○ 4部	以上で画像補正を行ったもの	・ 内部 ( ) 箇所	○ 電子データ (JPEG形式) ・ 全紙版アルミ額入り	○ 1部		・ 外部 ( ) 箇所	・ カラー印刷紙キャビネット版	-	1280×960ピクセル	・ 内部 ( ) 箇所	・ A4アルバム綴じ ・ 電子データ (JPEG形式)	-	以上、かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	工事区分	材 料 名	保証年数	備 考	○ 防水改修工事	・ アスファルト防水 ○ 改質アスファルトシート防水 ・ 合成高分子フルーフィング防水 ○ 塗膜防水	10年 年 年 10年		・ 外壁改修工事	・ 下地補修 ・ 塗装	年 年		1 一般共通事項 ○ 完成時の提出図書 請負者にて設計原図を基に作成する。これに要する一切の費用は請負者の負担とする。 設計原図の全図面を対象とし、監督職員の確認を受ける。 [1.8.1~2] [表1.8.1] ※ 完成図 原図は設計原図を修正したものを縮小図 (A3版) とし、指定の色の表紙にて背張製本を行い、表紙・背表紙には監督職員の指示により指定の文字を印刷して提出する。 CADデータ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 A3版原図 提出部数: ※ 1部 ・ 部 複写製本 提出部数: ※ 2部 ・ 部 ※ 保全に関する資料 保全に関する資料は下記による。なお、提出時に工事担当職員及び管理技術者に内容の説明を行うと共に、現地常駐の維持管理会社にも取扱い説明を実施する。 ○ 建築物等の利用に関する説明書 ・ 機器取扱説明書 ・ 機器性能試験成績書 ○ 官公庁届出書類 提出部数: ※ 1部 ・ 部 ○ 主要な材料・機器一覧表等 データ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 ※ 施工図 製本の表紙・背表紙には監督職員の指示により指定の文字を印刷して提出する。 A1版二つ折り製本 提出部数: ※ 2部 ・ 部 A3版縮小二つ折り製本 提出部数: ※ 2部 ・ 部 CADデータ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 ※ 施工計画書 A4ファイル綴じ 提出部数: ※ 2部 ・ 部 データ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 ※ 工事工程表 A4ファイル綴じ 提出部数: ※ 2部 ・ 部 ※ 工事概要シート 指定書式 (EXCEL形式) により作成し工事完了時に提出する。 A4ファイル綴じ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 データ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 ※ 積算数量調書 A4ファイル綴じ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 ※ 工事費内訳明細書 A4ファイル綴じ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 ・ グリーン法に関する資料 A4ファイル綴じ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 データ 提出部数: ※ 1部 ・ 部 ○ その他の資料 当該工事で発生する、特に指定する完成引継品は下記による。なお、完成引継品には、品名、数量等のリストを作成する。 ・ 予備錠 個 ・ キーボックス 個 ・ ドアチェック用調整用具 (取扱説明書とも) 組 ・ フロアヒンジ用調整用具 (取扱説明書とも) 組 その他の提出書類は下記によるほか、監督職員の指示による。 1. 着工時 現場代理人事前届 実施工程表 工事施工編成書 (現場組織表) 施工体制台帳 現場員編成書 (経歴書添付) 施工体系図 総合施工計画書 資格者資格証 (写) 2. 工事中 工事報告書 (月報) 工種別施工計画書 下請協力業者採用届 月間工程表 主要資材製造業者採用届 週間工程表 各種試験結果報告書 その他 ( ) 3. 完成時 完成図等 予備品及びリスト 完成写真 錠引渡書及びリスト 諸官庁出願申請書 関連業者一覧表及び主要資材メーカーリスト 諸官庁検査済証 (各種保証書を含む) 各種試験成績一覧表 緊急連絡先一覧表
工 程	作 業 内 容	手作業	手作業、機械作業併用 (範囲)																																																																																																																
○ 解体工事	・ 建築設備の取り外し ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 内装材等の取り外し ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 屋根ふき材の取り外し ※ ・ (※ 図示 ・ ) ○ 外装材の取り壊し ※ ○ (※ 図示 ○ 工事部分全て) ・ 上部構造部分の取り壊し ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 基礎の取り壊し ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 基礎ぐいの取り壊し ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ その他 ( ) ・ ・ (※ 図示 ・ )																																																																																																																		
・ 増築工事	・ 造設等の工事 ・ ・ (※ 図示 ・ )																																																																																																																		
○ 修繕	・ 基礎の工事 ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 基礎ぐいの工事 ・ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 上部構造部分の工事 ・ ・ (※ 図示 ・ ) ○ 外装の工事 ※ ○ (※ 図示 ○ 工事部分全て) ・ 屋根の工事 ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 建築設備工事 ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ 内装等の工事 ※ ・ (※ 図示 ・ ) ・ その他 ( ) ※ ・ (※ 図示 ・ )																																																																																																																		
特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の種類	所 在 地																																																																																																																	
・コンクリート																																																																																																																			
・コンクリート及び鉄からなる建設資材																																																																																																																			
・木材																																																																																																																			
・アスファルトコンクリート																																																																																																																			
種 類	再資源化	処分施設の種類	所 在 地																																																																																																																
	※ する ・ しない																																																																																																																		
	※ する ・ しない																																																																																																																		
	※ する ・ しない																																																																																																																		
	※ する ・ しない																																																																																																																		
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																																																																																																																	
仮設工事	とび	○ とび作業																																																																																																																	
防水改修工事	防水施工	・ アクリル防水工事作業 ○ ウレタン系塗膜防水工事作業 ・ ポリウレタン系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セルロシ系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ○ 改質アスファルトシート防水工事作業 ・ FRP防水工事作業																																																																																																																	
外壁改修工事	建築板金	・ 内外装板金作業																																																																																																																	
外壁改修工事	樹脂接着剤 注入施工	○ 樹脂接着剤注入工事作業																																																																																																																	
	左官	・ 左官作業																																																																																																																	
	タイル張り	○ タイル張り作業																																																																																																																	
塗装改修工事	塗装	○ 建築塗装作業																																																																																																																	
撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出枚数	画素数、画質等																																																																																																																
○ 外観 (6) 箇所	・ カラー印刷紙キャビネット版	-	4500×3000ピクセル																																																																																																																
○ 外部 (15) 箇所	○ カラー印刷紙キャビネット版 A4アルバム綴じ	○ 4部	以上で画像補正を行ったもの																																																																																																																
・ 内部 ( ) 箇所	○ 電子データ (JPEG形式) ・ 全紙版アルミ額入り	○ 1部																																																																																																																	
・ 外部 ( ) 箇所	・ カラー印刷紙キャビネット版	-	1280×960ピクセル																																																																																																																
・ 内部 ( ) 箇所	・ A4アルバム綴じ ・ 電子データ (JPEG形式)	-	以上、かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質																																																																																																																
工事区分	材 料 名	保証年数	備 考																																																																																																																
○ 防水改修工事	・ アスファルト防水 ○ 改質アスファルトシート防水 ・ 合成高分子フルーフィング防水 ○ 塗膜防水	10年 年 年 10年																																																																																																																	
・ 外壁改修工事	・ 下地補修 ・ 塗装	年 年																																																																																																																	
1 一般共通事項 ○ 適用基準等 ・ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (平成28年版) ○ 建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (平成31年版) ○ 営繕工事写真撮影要領・同解説による工事写真の撮り方 (平成31年版) ○ 建築保全業務共通仕様書 (平成30年版) ○ 工事実績情報の登録 [1.1.4] 受注者は、受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス (CORINS) に基づき、受注、変更、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督職員に提出しなければならない。また、途中変更時の登録が必要な場合は、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。 ○ 電気保安技術者 ※ 適用する ・ 適用しない [1.3.3] ○ 施工条件 下記以外は現場説明書による。 [1.3.5] 大型車両の駐車場所 西側グラウンド (詳細は着工前の協議による) 作業員等の駐車場所 東側駐車場 (詳細は着工前の協議による) 事務所・資材置場の場所 西側グラウンド (詳細は着工前の協議による) 作業日及び時間 (一般作業: 8:00~17:00 (詳細は着工前の協議による) (騒音作業: 土・日・祝日 8:00~17:00 (詳細は着工前の協議による) 行政財産使用許可 グラウンドの使用にあたっては広島県の使用許可を得る必要があるため着工前の協議の後に書類の作成に協力すること。 ○ 騒音・振動の防止 「低騒音型・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設機械を使用する。 ○ 事前協議 騒音作業、大型車両の進入、その他業務の運営に支障を生じる恐れがある場合は、事前にスケジュール等の協議を行うこと。 ○ 監督職員事務所 ※ 設けない ・ 設ける ( m程度) [2.4.1] ○ 現場定例会議 毎月2回、現場事務所で定例会議を行うこと。 ○ 適用区分 ○ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速 (V0=32 m/s) 地表面粗度区分 (・ I ・ II ○ III ・ IV) ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 (34)	2 仮設工事 ○ 敷地の状況確認及び縄張り 工事の着手に先立ち、敷地の現況について本設計図と照合のうえ、細部調査 (埋設管等も含む) を行い、その記録を速やかに提出する。 ○ 騒音・粉じん等の対策 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ○ 防音シート ○ メッシュシート [2.1.3] 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲 ○ 請負者事務所の場所 西側グラウンド (詳細は着工前の協議による) 既存建物を利用する場合は、仮設計図面又は監督職員の指示による。 ○ 工事現場の表示 現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※ 工事名等の表示板 (900mm×600mm) ○ 工事概要等の説明看板 (900mm×600mm) ○ 仮囲い等の安全施設 ※ 仮設計画面 ・ 工事に必要な範囲 ○ 外周足場面 構造 ・ 成形鋼板 ・ 波形亜鉛鉄板 ○ 工用ガードフェンス 高さ ・ 3.0m以上 ・ 1.8m以上 ○ 1.8m 仕上 ペイント仕上 ○ 仮設物撤去 本工事で仮設配管等を設置した場合は、工期内に撤去し、撤去状況について監督の確認を得ること。 ○ 足場その他 高所作業用の外部足場を設置する際は、建物入居者等の通行範囲に、落下・飛散防止措置を行い、作業員等の外部足場からの墜落・転落防止措置としてメッシュシート等を設置する。 また、第三者の足場内侵入防止措置として、足場下部に金網式養生枠又は鋼製仮囲いを設置する。 ○ 「手すり先行工法」に関するガイドラインに基づく足場の設置に当たっては、 [2.2.1] 同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり置置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○ 外部足場 種別 (※ 脚立、足場板等 ・ ) ○ 外部足場 種別 ・ 枠組足場 (手摺先行方式) ○ くさび緊結式足場 (手摺先行方式) ○ 防護シートを設置 (仕様は図示により、設置範囲は全面とする) ○ 材料、撤去材等の運搬方法 種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ E種) [表2.2.1]																																																																																																																		
記 事 業務名称 JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務 株式会社 緯企画設計 広島支店 一般建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 印 一般建築士 (大冊) 第336527号 管理建築士 東條 忠之	工事名称 JICA中国 外壁改修工事 図面名称 特記仕様書1 設計年月 令和3年2月 図面番号 A-02																																																																																																																		





名称	A 表面処理	B ひび割れ部処理	C 錆鉄筋部処理	D 浮き部処理		
記号・仕様	A-1 打放し面表面処理【超高压水洗工法】	B-1 打放し面樹脂注入工法【標仕4.3.4】 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法【標仕4.3.5】 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法【標仕4.3.5】 ひび割れ幅 1.0mm以上	C-1 打放し面錆鉄筋部処理	D-1 タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法【標仕4.5.9】
改修前						
改修後						
工程	<p>①既存仕上げ材及び塗膜層（※全面・部分） 超高压水洗浄（1000kg/cm程度） ②色調補正および模様復元</p>	<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール（処理後撤去する） ③エポキシ樹脂注入（硬質形） ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤色調補正および模様復元</p> <p>※A-1工法を行う場合は、①⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量：70m</p>	<p>①ひび割れ部Uカット ②高压水洗浄（150~200kg/cm） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂塗布</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②の工程はA-1工法に含む。 参考数量：</p>	<p>①ひび割れ部Uカット ②高压水洗浄（150~200kg/cm） ③可とう性エポキシ樹脂充てん ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤色調補正および模様復元</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量：15m</p>	<p>①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高压水洗浄（150~200kg/cm） ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形【※R-17-セトパネル・エポキシ樹脂モルタル】 ⑥色調補正および模様復元</p> <p>※A-1工法を行う場合は、③⑥の工程はA-1工法に含む。 参考数量：20か所</p>	<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔跡埋戻し【パテ状エポキシ樹脂】</p> <p>参考数量：10㎡</p>

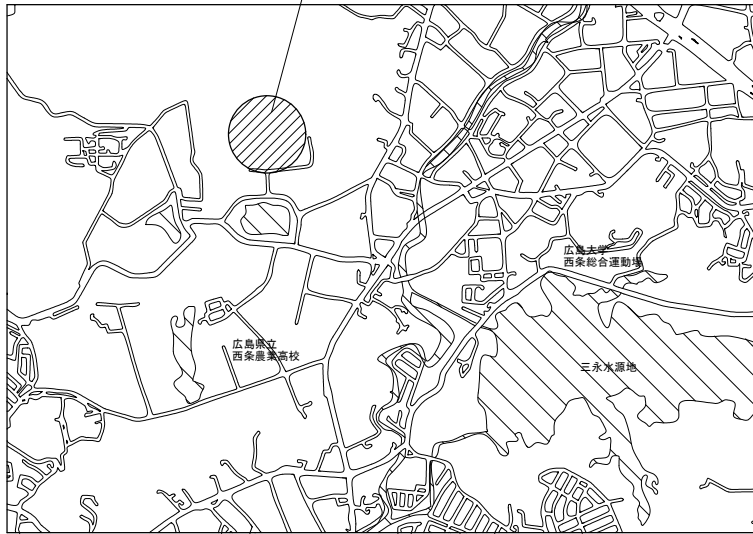
名称	D 浮き部処理	E 欠損部処理		
記号・仕様	D-2 タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法【標仕4.5.10】	D-3 タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法【標仕4.5.12】	D-4 タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法【標仕4.5.13】	E-1 打放し面充填工法【標仕4.3.7】
改修前				
改修後				
工程	<p>①ピン固定部穿孔 ②孔内エアークリーニング ③R-17 樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔跡埋戻し【R-17パテ】 ⑥注入口穿孔 ⑦孔内エアークリーニング ⑧R-17 樹脂注入 ⑨穿孔跡埋戻し【R-17パテ】</p> <p>参考数量：15㎡</p>	<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入口付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】</p> <p>参考数量：</p>	<p>①ピン固定部穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入口付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】 ⑥注入口穿孔 ⑦孔内エアークリーニング ⑧エポキシ樹脂注入 ⑨穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】</p> <p>参考数量：</p>	<p>①欠損部はつり等での整形 ②高压水洗浄（150~200kg/cm） ③欠損はつり部埋戻し【※R-17-セトパネル・エポキシ樹脂モルタル】 ④色調補正および模様復元</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②④の工程はA-1工法に含む。 参考数量：2か所</p>

名称	
記号・仕様	
改修前	
改修後	
工程	

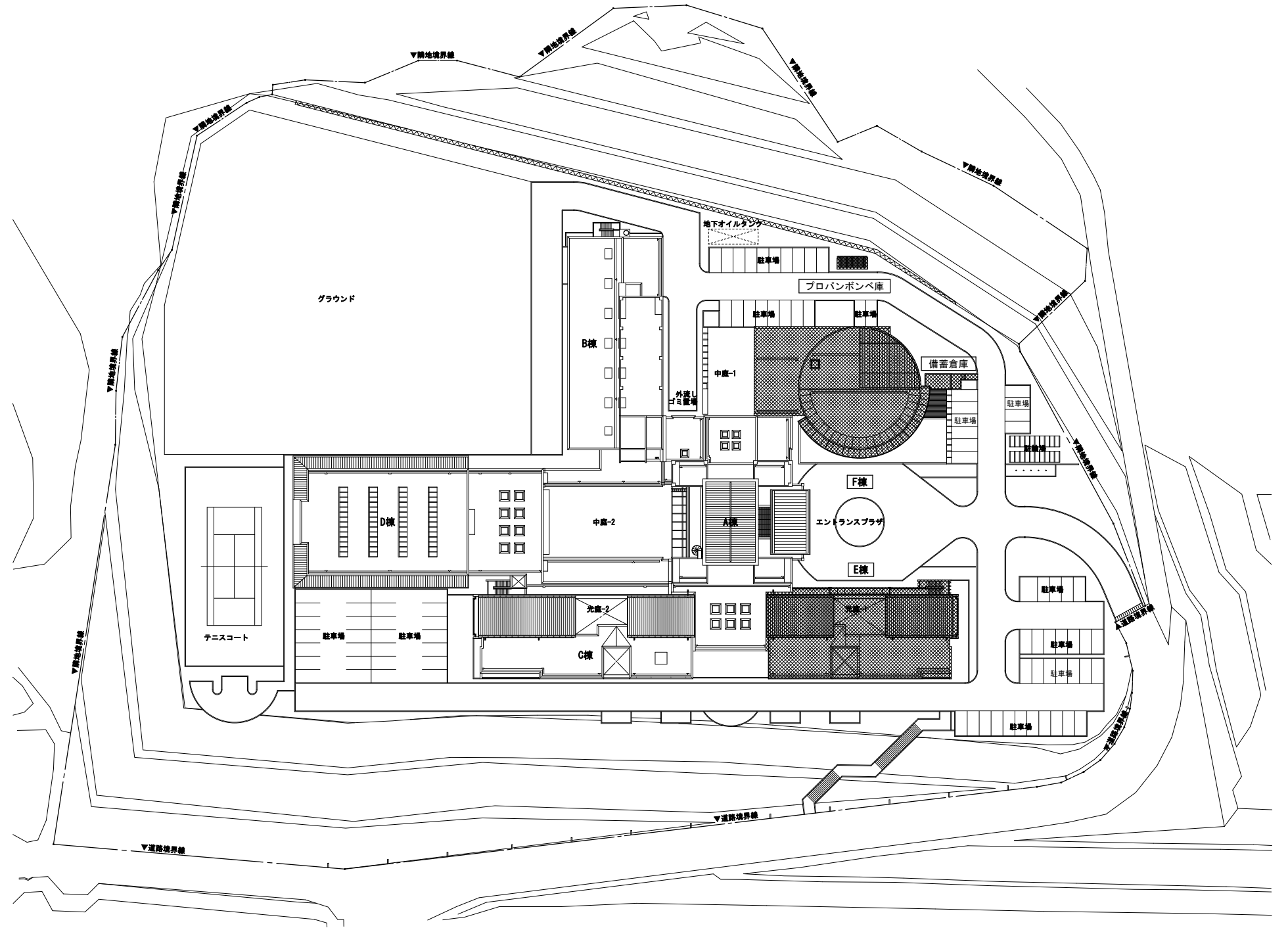
設計者	業務名称	JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務	工事名称	JICA中国 外壁改修工事	設計年月	令和3年 2月
設計者	株式会社 緯企画設計 広島支店	一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士 (大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之	図面名称	外壁改修 詳細図	縮尺	図面番号
設計者						A-05



工事場所：広島県東広島市鏡山3-3-1



付近見取図

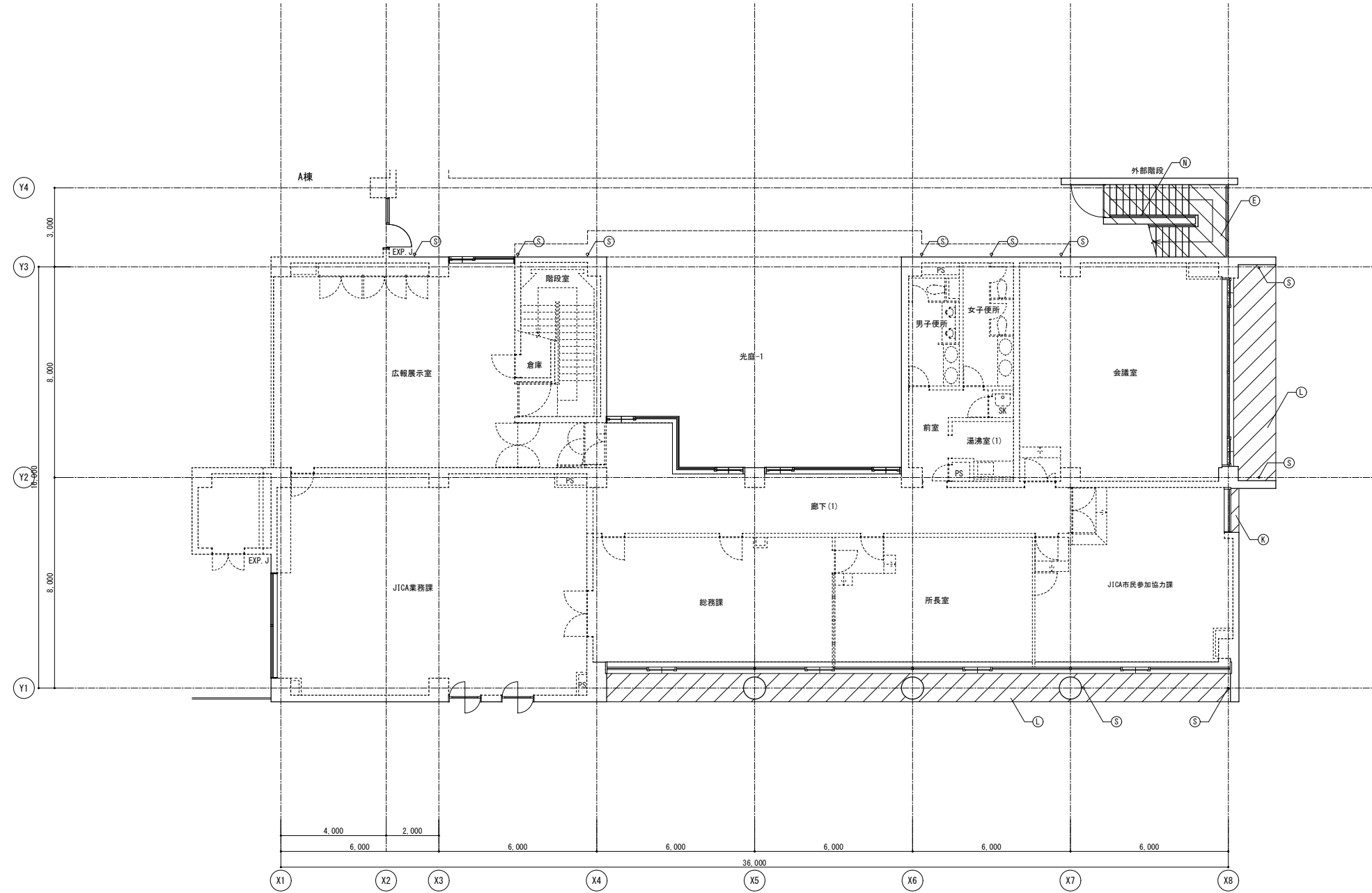


配置図 1/500

工事対象建物を示す

記 事	業務名称	JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務	工事名称	JICA中国 外壁改修工事	設計年月	令和3年 2月
	図面名称	付近見取図・配置図	図面番号	A-06	縮尺	1/500
	株式会社 緯企画設計	広島支店 一級建築士(大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之	一級建築士事務所 広島県知事登録 20(1) 第3396号 印			

部 位		改 修 前	改 修 後	備 考	部 位	改 修 前	改 修 後	備 考	
屋根	屋根	フッ素塗装鋼板パネル、パネル継ぎ目シーリング	下地調整RB種のうえDP、パネル継ぎ目シーリング打ち替え		デッキ	床・排水溝	防水モルタル	清掃のうえ防滑ウレタン塗膜防水	
	内樋	フッ素塗装鋼板パネル、パネル継ぎ目シーリング	清掃のうえウレタン塗膜防水、パネル継ぎ目シーリング打ち替え			巾木	防水モルタルH=100 端部シーリング	清掃のうえウレタン塗膜防水、端部シーリング打ち替え	
	軒先	フッ素塗装鋼板パネル、パネル継ぎ目シーリング	下地調整RB種のうえDP、パネル継ぎ目シーリング打ち替え			立上り	防水モルタルW=100 H=150	清掃のうえウレタン塗膜防水	
	けらば	フッ素塗装鋼板パネル、パネル継ぎ目シーリング	下地調整RB種のうえDP、パネル継ぎ目シーリング打ち替え			鼻先隠し	鋼製 DP	下地調整RB種のうえDP	
	軒天	アルミパネル、パネル継ぎ目シーリング	清掃、パネル継ぎ目シーリング打ち替え			天井	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整RA種のうえ撥水材塗装	
	立上り壁	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整RA種のうえ撥水材塗装			床排水孔	ステンレス製φ50 12か所	撤去のうえアルミ製バルコニー用ドレンφ50 12か所	
	けらば水切	アルミパネル、パネル継ぎ目シーリング	清掃、パネル継ぎ目シーリング打ち替え			縦樋	カラー塩ビ製φ65 1階2か所	撤去のうえアルミ製φ60 1～2階 各6か所	
	笠木	アルミ製、端部シーリング	清掃、端部シーリング打ち替え			手摺	鋼製 DP	下地調整RB種のうえDP	
	けらばルーバー	アルミ製、端部シーリング	清掃、枠廻りシーリング打ち替え						
	EXP.Jカバー	アルミ製	清掃			バルコニー	床・排水溝	防水モルタル ウレタン塗膜防水	清掃のうえ防滑ウレタン塗膜防水
	縦樋	亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装 5か所	下地調整RB種のうえDP			巾木	防水モルタル ウレタン塗膜防水H=100 端部シーリング	清掃のうえウレタン塗膜防水、端部シーリング打ち替え	
	縦樋受け基石	5か所	清掃			立上り	防水モルタル ウレタン塗膜防水W=100 H=150	清掃のうえウレタン塗膜防水	
						鼻先	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整RA種のうえ撥水材塗装	
	屋上	平場	断熱アスファルト防水 保護コンクリートのうえ塩ビシート防水（かぶせ工法、機械固定）	清掃のうえ露出改質アスファルト防水（かぶせ工法）			床排水孔	ステンレス製φ50	撤去のうえアルミ製バルコニー用ドレンφ50 10か所
ルーフドレン		樹脂製φ100（改修防水用） 4か所	アルミダイキャスト製φ100（改修防水用）		縦樋	-	アルミ製φ60 1～R階2か所、1～2階2か所、2階2か所		
脱気筒		ステンレス製 3か所	既存は清掃、ステンレス製3か所		天井	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整RA種のうえ撥水材塗装		
立上り		塩ビシート防水 端部アルミ金物押えシーリング	撤去のうえ露出改質アスファルト防水（密着工法） 端部アルミ製金物押えシーリング打ち		手摺	鋼製 DP、取付け部シーリング	下地調整RB種のうえDP、取付け部シーリング打ち替え		
笠木		アルミ製	清掃						
EXP.Jカバー		アルミ製	清掃		バルコニー屋根	屋根・排水溝	防水モルタル ウレタン塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水	
丸理		ステンレス製 18か所、取付け部シーリング	清掃、取付け部シーリング打ち替え		巾木	防水モルタル ウレタン塗膜防水H=100 端部シーリング	清掃のうえウレタン塗膜防水、端部シーリング打ち替え		
設備基礎		塩ビシート防水（1500×900×150）	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水		立上り	防水モルタル ウレタン塗膜防水W=100 H=150	清掃のうえウレタン塗膜防水		
ソーラパネル架台		亜鉛メッキ型鋼	下地調整RB種のうえ常温亜鉛メッキ塗装（補修、糸幅300程度50m程度）		外壁面立上り	コンクリート打放し 撥水材塗装 端部シーリング	下地調整RA種のうえ撥水材塗装、端部シーリング打ち替え		
同上支柱立上り		亜鉛メッキ鋼管φ70 塩ビシート防水巻きH=200	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水		鼻先	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整RA種のうえ撥水材塗装		
					床排水孔	ステンレスφ50 2か所	撤去のうえアルミ製バルコニー用ドレンφ50 2か所		
外壁・梁型・円柱		50角磁器モザイクタイル	浮き部 アンカーピンニング樹脂注入のうえタイル保護塗装		外部階段	床・排水溝	防水モルタル 階段ノンスリップタイル	清掃のうえ防滑ウレタン塗膜防水、階段ノンスリップタイル清掃	
			ひび割れ部・爆裂部 タイル張り替えのうえタイル保護塗装			巾木	防水モルタル 端部シーリング	清掃のうえウレタン塗膜防水、端部シーリング打ち替え	
			コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整RA種のうえ撥水材塗装		立上り	防水モルタルW=100 H=150	清掃のうえウレタン塗膜防水	
		補修 ひび割れ1mm以下 エポキシ樹脂注入	補修 ひび割れ1mm以下 エポキシ樹脂注入	鼻先隠し		鋼製 DP	下地調整RB種のうえDP		
		補修 ひび割れ1mm以上 Uカット可とう性エポキシ樹脂シーリング打ち	補修 ひび割れ1mm以上 Uカット可とう性エポキシ樹脂シーリング打ち	壁		50角磁器モザイクタイル	浮き部 アンカーピンニング樹脂注入のうえタイル保護塗料		
		爆裂部（錆鉄筋） 錆処理後ポリマーセメントモルタル充填	爆裂部（錆鉄筋） 錆処理後ポリマーセメントモルタル充填				ひび割れ部・爆裂部 タイル張り替えのうえタイル保護塗料		
床	磁器質100角タイル	清掃		天井		コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整RA種のうえ撥水材塗装		
				踊り場天井		1階：下地調整材 撥水材塗装	撤去のうえ下地調整材塗り 撥水材塗装		
光庭	砂利敷き 低木植栽	-		2階：コンクリート打放し 撥水材塗装		下地調整RA種のうえ撥水材塗装			
				手摺		鋼製 DP	下地調整RB種のうえDP		
天井	ケイカル板 EP	下地調整RC種のうえEP							
				建具		アルミ	ステンカラー	清掃、開閉調整、排煙装置調整、戸車交換、丁番交換	
2階テラス	平場・排水溝	断熱アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水（かぶせ工法）	スチール		DP	下地調整RB種のうえDP、開閉調整		
	伸縮目地	合成樹脂製（既製品）	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15						
	排水溝フタ	亜鉛メッキグレーチング	清掃	補込み		低木植栽	-		
	ルーフドレン	鋼鉄製φ75 2か所	アルミダイキャスト製φ75（改修防水用）						
	立上り	アスファルト防水 保護コンクリート 端部シーリング	撤去のうえ露出改質アスファルト防水（密着工法） 端部アルミ製金物押えシーリング打ち						
	笠木	アルミ	清掃				一部取替え 外壁水切175型 L=2200		
	縦樋	-	アルミ製φ60 2か所						
	手摺	鋼製 DP、取付け部シーリング	下地調整RB種のうえDP、取付け部シーリング打ち替え						
ブリッジ	床	亜鉛メッキグレーチング	清掃						
	鉄骨	亜鉛メッキ DP	下地調整RB種のうえDP						
	受け梁	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整RA種のうえ撥水材塗装						
	手摺	鋼製 DP	下地調整RB種のうえDP						
記 事	業務名称				工事名称			設計年月	
	JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務				JICA中国 外壁改修工事			令和3年 2月	
	株式会社 緯企画設計 広島支店				E棟 仕上表			図面番号	
	一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士（大臣）第336527号 管理建築士 東條 忠之				縮尺			A - 07	

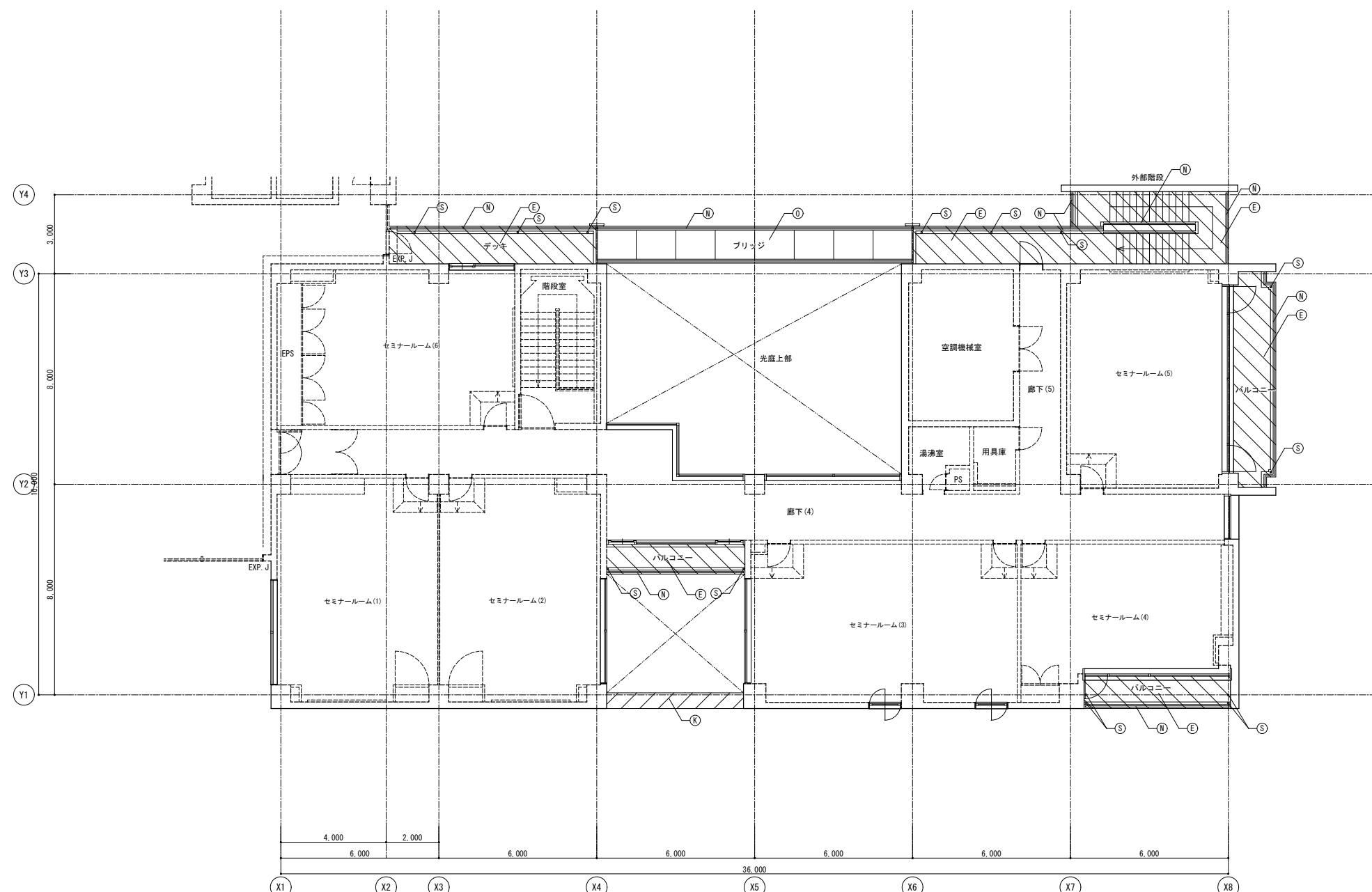


凡例	リスト	備考
-----	非改修範囲	
▨	タイル範囲を示す	
▩	モルタル範囲を示す	

符号	凡例	
	改修前	改修後
Ⓐ	屋根: フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種) のうえDP
Ⓑ	平場: 保護シートの上へ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
Ⓒ	立上り: 塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
Ⓓ	窓木: アルミ製	清掃
Ⓔ	防水モルタル	清掃のうえ防湿ウレタン塗膜防水
Ⓕ	雨受石	清掃
Ⓖ	壁種: 亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種) のうえDP
Ⓗ	ソラバ 14 支柱立上り 亜鉛メッキ鋼管 φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
①	ソラバ 14 架台 亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、余幅300程度)
②	内種: フッ素塗装鋼板パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓚ	50 角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
Ⓛ	磁器質100 角タイル	清掃
Ⓛ	階段ノンスリップタイル	清掃
Ⓜ	設備基礎: 塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
Ⓝ	手摺: 鋼製 DP	下地調整 (RB種) のうえDP
Ⓞ	亜鉛メッキグレーチング	清掃
Ⓟ	平場: アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
Ⓠ	立上り: アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
Ⓡ	伸縮目地: 合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シーリング打ち25×15
③	床排水孔 SUS φ50 コア抜き撤去	アルミ製バルコニー用ドレン φ50 のうえアルミ製壁種 φ60
④	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
⑤	ケイカル板EP	下地調整 (RC種) のうえEP
⑥	アルミパネル	清掃
⑦	欠番	-
⑧	丸環: ステンレス	清掃、取付け部シーリング打替え
⑨	化粧目地 20×15 : シーリング	シーリング打替え
⑩	鉄骨: 亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種) のうえDP

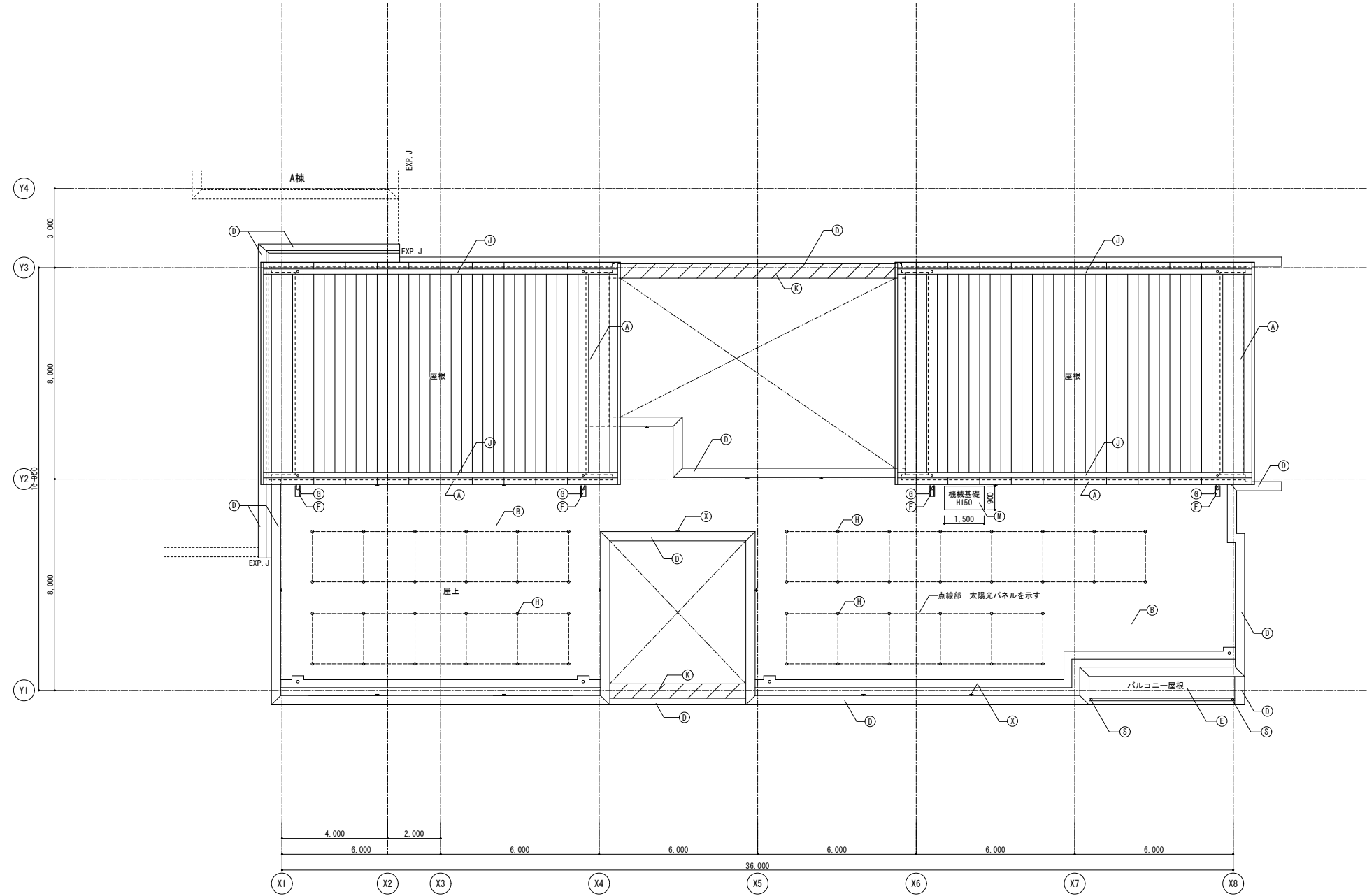




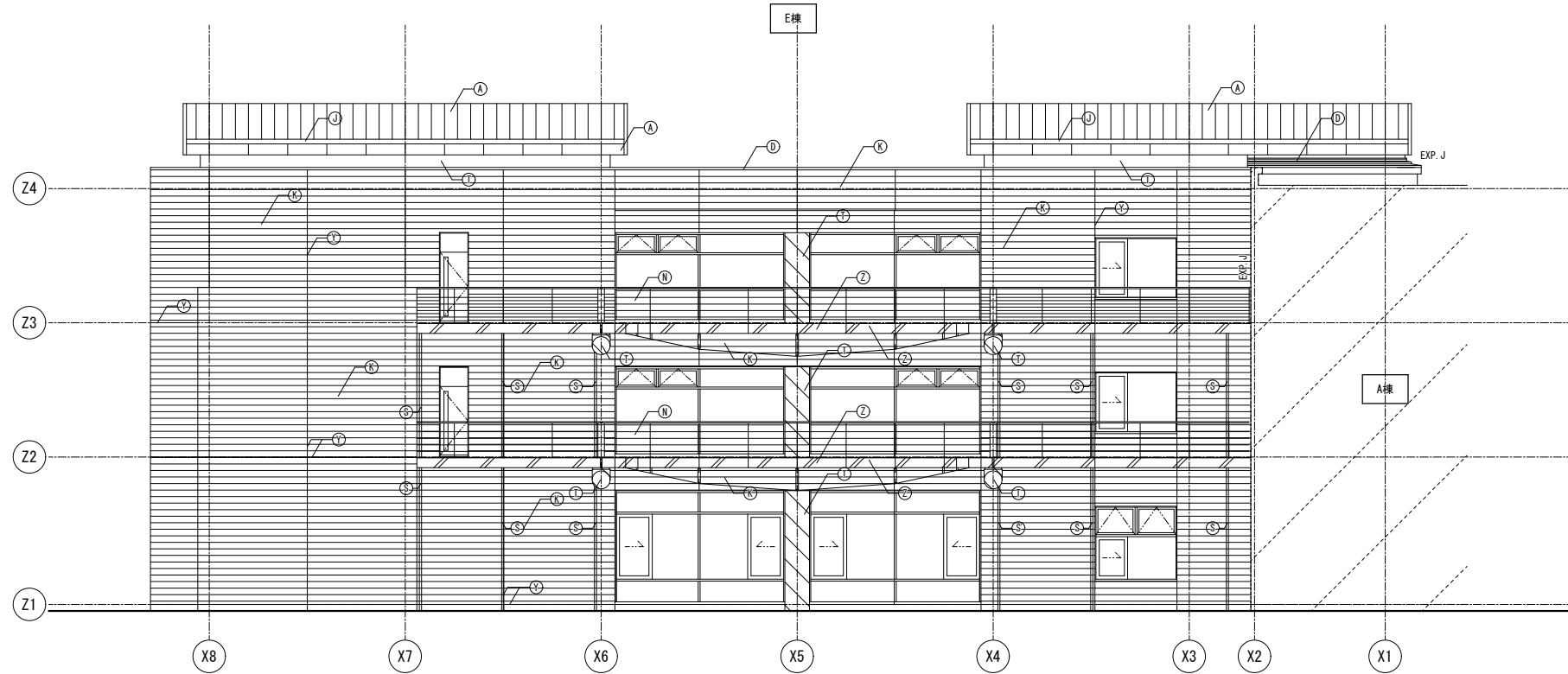
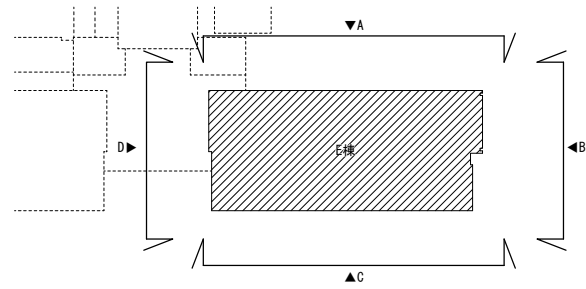


凡例	リスト	備考
-----	非改修範囲	
▨	タイル範囲を示す	
▩	モルタル範囲を示す	

符号	改修前	改修後
(A)	屋根: フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種) のうえDP
(B)	平場: 保護コンクリートのうえ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
(C)	立上り: 塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
(D)	窓木: アルミ製	清掃
(E)	防水モルタル	清掃のうえ防湿ウレタン塗膜防水
(F)	雨受け	清掃
(G)	壁種: 亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種) のうえDP
(H)	ソラバ 18 支柱立上り: 亜鉛メッキ鋼管 φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
(I)	ソラバ 18 梁台: 亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、余裕300程度)
(J)	内種: フッ素塗装鋼板パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
(K)	50 角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
(L)	磁器質100 角タイル	清掃
(M)	設備基礎: 塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
(N)	手摺: 鋼製 DP	下地調整 (RB種) のうえDP
(O)	亜鉛メッキグレーチング	清掃
(P)	平場: アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
(Q)	立上り: アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
(R)	伸縮目地: 合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シーリング打ち25×15
(S)	床排水孔 SUS φ50 コア抜き撤去	アルミ製バルコニー用ドレン φ50 のうえアルミ製壁種 φ60
(T)	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
(U)	ケイカル板EP	下地調整 (RC種) のうえEP
(V)	アルミパネル	清掃
(W)	欠番	-
(X)	丸環: ステンレス	清掃、取付け部シーリング打替え
(Y)	化粧目地 20×15 : シーリング	シーリング打替え
(Z)	鉄骨: 亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種) のうえDP



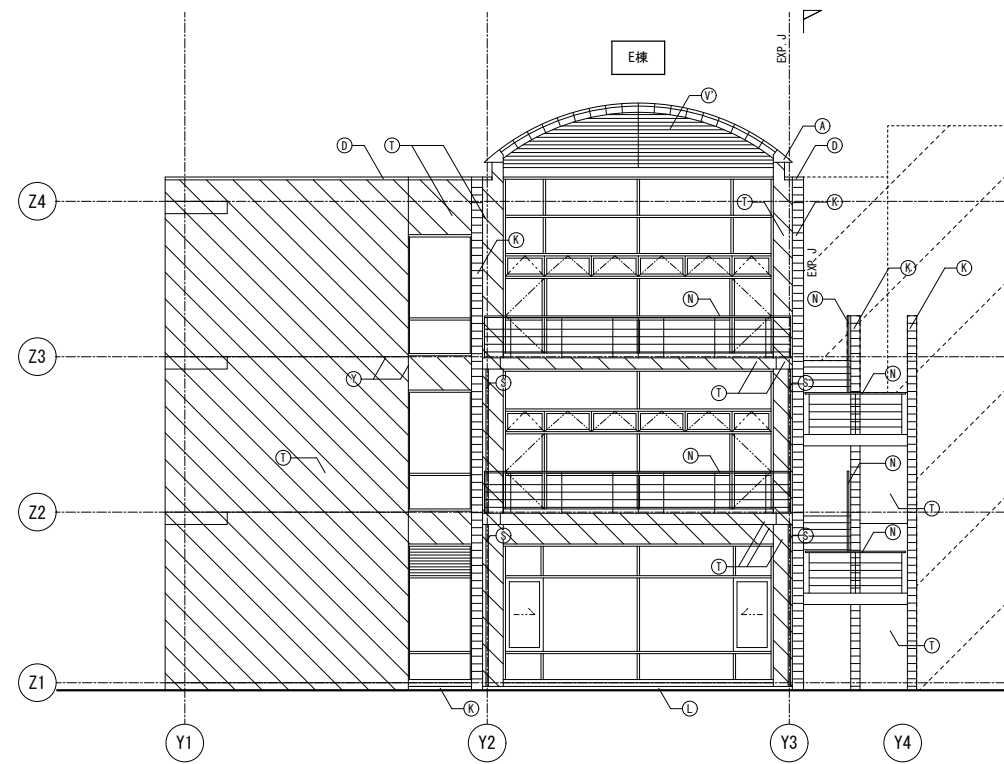
符号	改修前	改修後
(A)	屋根: フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種) のうえDP
(B)	平場: 保護コンクリートのうえ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
(C)	立上り: 塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
(D)	窓木: アルミ製	清掃
(E)	防水モルタル	清掃のうえ防湿ウレタン塗膜防水
(F)	雨受石	清掃
(G)	壁柱: 亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種) のうえDP
(H)	ソラバ 18 支柱立上り: 亜鉛メッキ鋼管 φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
(I)	ソラバ 18 架台: 亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、余幅300程度)
(J)	内蔵: フッ素塗装鋼板パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
(K)	50 角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
(L)	磁器質100 角タイル	清掃
(M)	設備基礎: 塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
(N)	手摺: 鋼製 DP	下地調整 (RB種) のうえDP
(O)	亜鉛メッキグレーチング	清掃
(P)	平場: アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
(Q)	立上り: アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
(R)	伸縮目地: 合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シーリング打ち25×15
(S)	床排水孔 SUS φ50 コア抜き撤去	アルミ製バルコニー用ドレン φ50 のうえアルミ製壁柱 φ60
(T)	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
(U)	ケイカル板EP	下地調整 (RC種) のうえEP
(V)	アルミパネル	清掃
(W)	欠番	-
(X)	丸環: ステンレス	清掃、取付け部シーリング打替え
(Y)	化粧目地 20×15 : シーリング	シーリング打替え
(Z)	鉄骨: 亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種) のうえDP



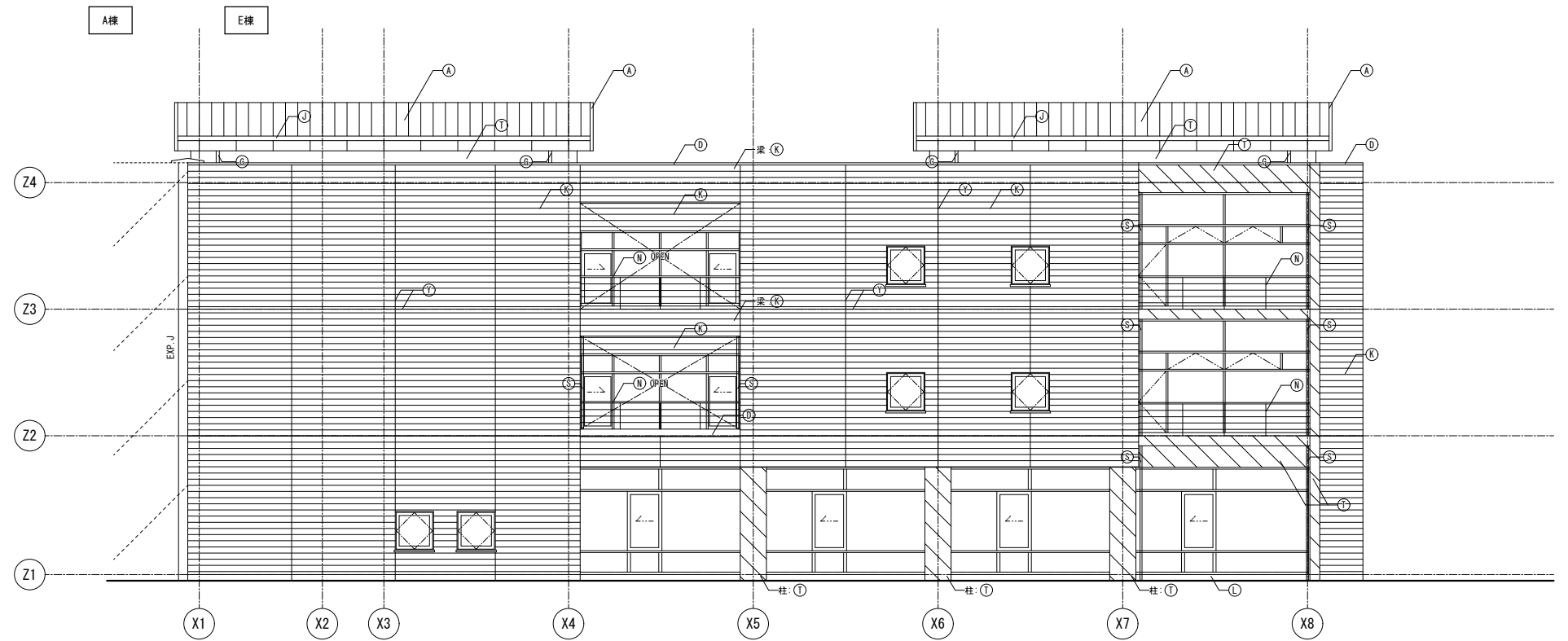
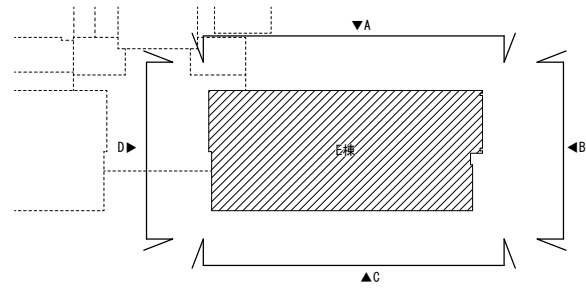
A面 E棟 北立面図

凡例	リスト	備考
	非改修範囲	
	コンクリート範囲を示す	
	鉄骨範囲を示す	

符号	凡例	
	改修前	改修後
Ⓐ	屋根: フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種) のうえDP
Ⓑ	平場: 保護シートの上へ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
Ⓒ	立上り: 塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
Ⓓ	笠木: アルミ製	清掃
Ⓔ	防水モルタル	清掃のうえ防汚ウレタン塗膜防水
Ⓕ	雨受石	清掃
Ⓖ	壁礎: 亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種) のうえDP
Ⓗ	テーパー 1/4 支柱立上り: 亜鉛メッキ鋼管 φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
Ⓘ	テーパー 1/4 架台: 亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、糸幅300程度)
Ⓙ	内樋: フッ素塗装鋼パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓚ	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
Ⓛ	磁器質100角タイル (C): 階段ノンスリップタイル	清掃
Ⓜ	設備基礎: 塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
Ⓝ	手摺: 鋼製 DP	下地調整 (RB種) のうえDP
Ⓟ	亜鉛メッキグレーチング	清掃
Ⓠ	平場: アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
Ⓡ	立上り: アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
Ⓢ	伸縮目地: 合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
Ⓣ	床排水孔 SUS φ50コア抜き撤去 (S)のみ: 壁礎 φ65撤去	アルミ製バルコニー用ドレンφ50のうえアルミ製壁礎 φ60
Ⓤ	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
ⓖ	ケイカル板EP	下地調整 (RC種) のうえEP
ⓗ	アルミパネル (V): アルミルーバー	清掃
Ⓢ	欠番	-
Ⓣ	丸環: ステンレス	清掃、取付け部シーリング打替え
Ⓤ	化粧目地 20×15 : シーリング	シーリング打替え
Ⓡ	鉄骨: 亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種) のうえDP

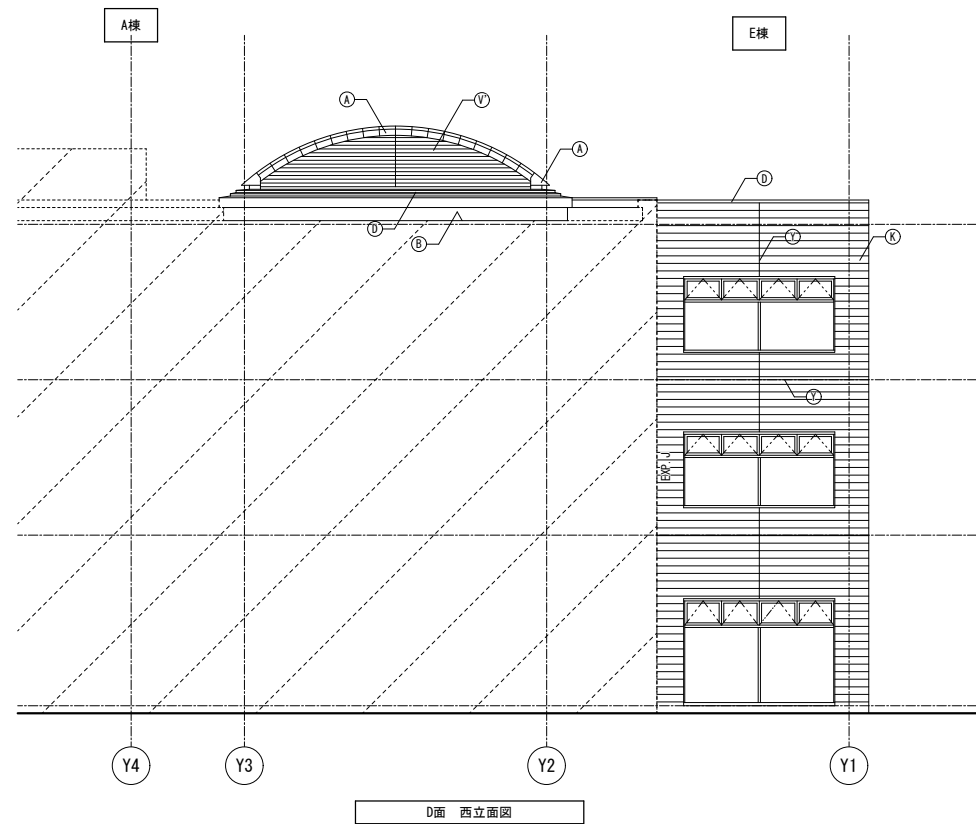


B面 東立面図

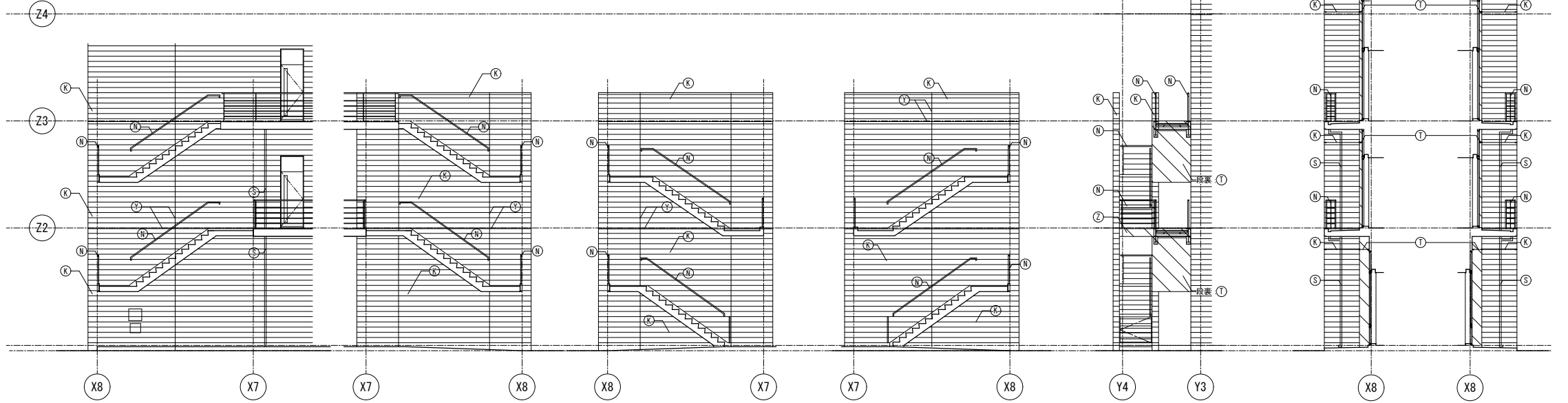
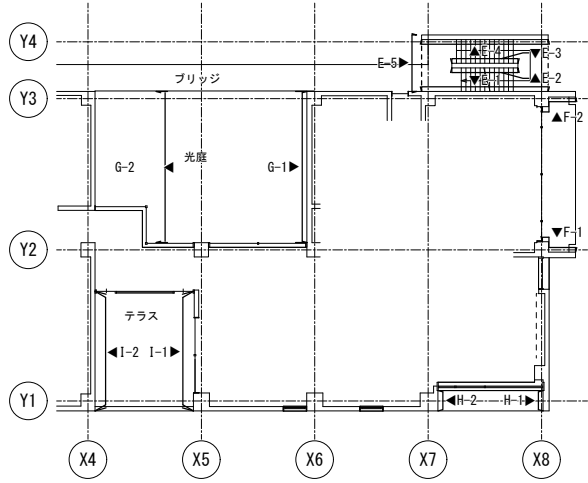


凡例	リスト	備考
	非改修範囲	
	コンクリート範囲を示す	
	鉄骨範囲を示す	

符号	凡例	
	改修前	改修後
Ⓐ	屋根:フッ素塗装鋼パネル	下地調整(RB種)のうえDP
Ⓑ	平場:保護シートの上へ塩ビシート防水(かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
Ⓒ	立上り:塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
Ⓓ	窓木:アルミ製	清掃
Ⓔ	防水モルタル	清掃のうえ防汚ウレタン塗膜防水
Ⓕ	雨受石	清掃
Ⓖ	壁樋:亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整(RB種)のうえDP
Ⓗ	テーパー 14支柱立上り:亜鉛メッキ鋼管φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
Ⓘ	テーパー 14支柱台:亜鉛メッキ鋼	下地調整(RB種)のうえ常温亜鉛メッキ塗装(補修、系幅300程度)
Ⓙ	内樋:フッ素塗装鋼パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓚ	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
Ⓛ	磁器質100角タイル ①:階段ノンスリップタイル	清掃
Ⓜ	設備基礎:塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
Ⓝ	手摺:鋼製 DP	下地調整(RB種)のうえDP
Ⓟ	亜鉛メッキグレーチング	清掃
Ⓠ	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
Ⓡ	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
Ⓢ	伸縮目地:合成樹脂製(既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
Ⓣ	床排水孔 SUSφ50コア抜き撤去 ⑤のみ:壁樋 φ65撤去	アルミ製バルコニー用ドレンφ50のうえアルミ製壁樋 φ60
Ⓤ	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整(RA種)のうえ撥水材塗装
ⓖ	ケイカル板EP	下地調整(RC種)のうえEP
ⓗ	アルミパネル ⑥:アルミルーバー	清掃
Ⓣ	欠番	-
Ⓤ	丸環:ステンレス	清掃、取付部シーリング打替え
ⓗ	化粧目地 20×15 :シーリング	シーリング打替え
Ⓣ	鉄骨:亜鉛メッキ DP	下地調整(RB種)のうえDP

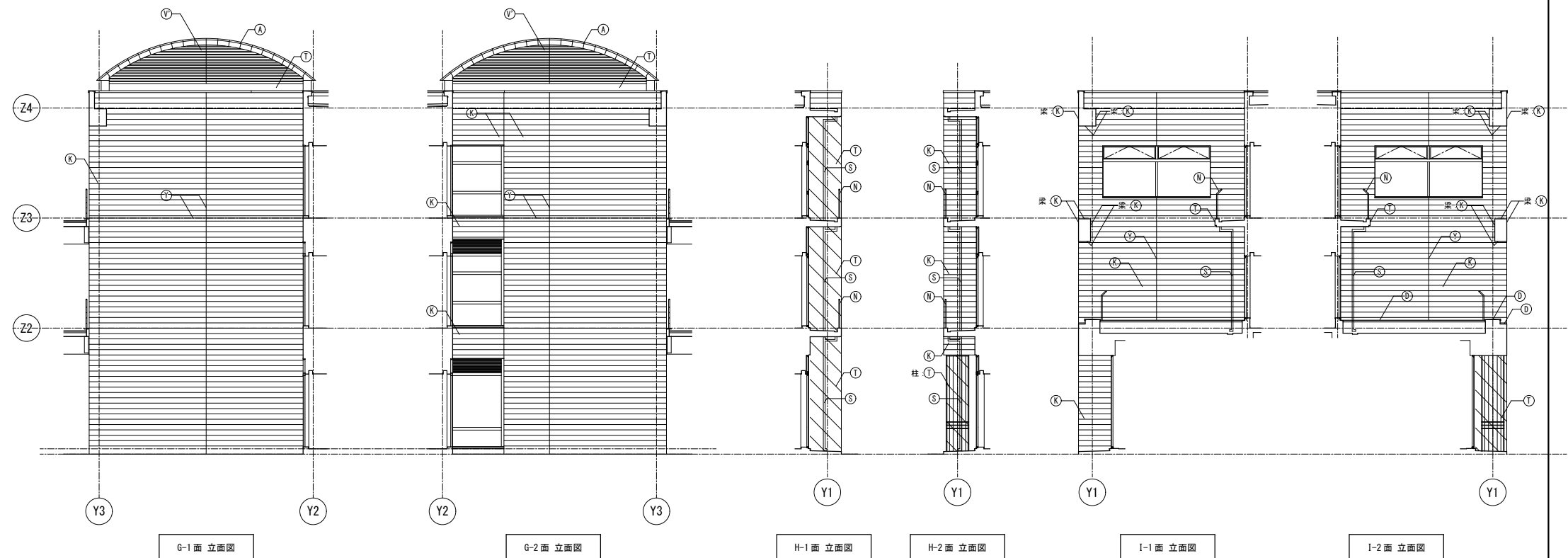


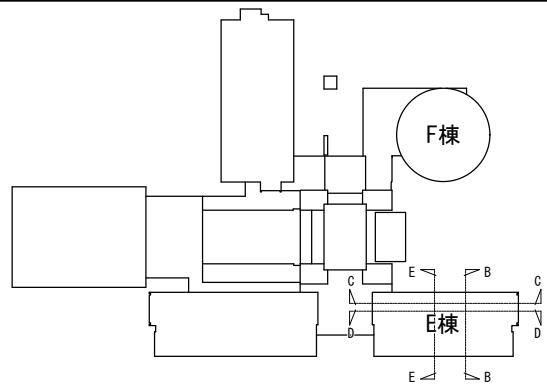
記	業務名称	JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務	工事名称	JICA中国 外壁改修工事	設計年月	令和3年 2月
	事務	株式会社 練企画設計 広島支店 一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士 (大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之	図面名称 E棟 立面図2	縮尺	1/100	図面番号



凡例	リスト	備考
	非改修範囲	
	コンクリート範囲を示す	
	鉄骨範囲を示す	

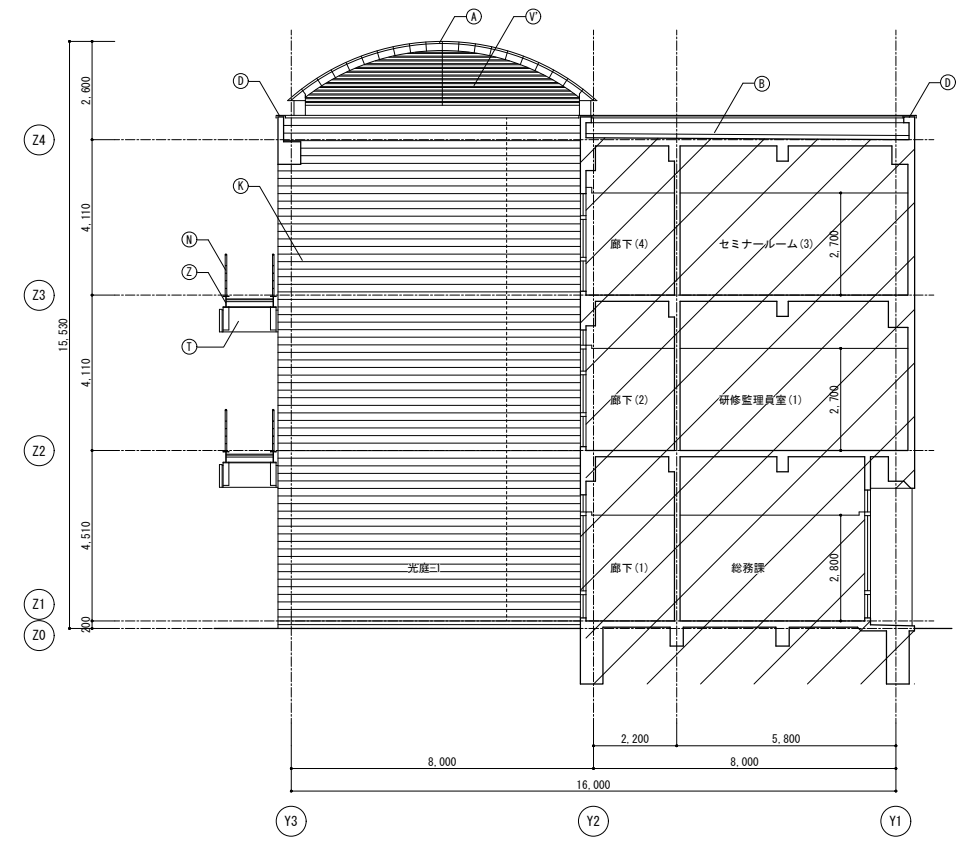
符号	改修前	改修後
A	屋根: フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種) のうえDP
B	平場: 保護コートのうえ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
C	立上り: 塩ビシート防水	撤去のうえ改質アスファルト防水 (密着工法)
D	塗木: アルミ製	清掃
E	防水モルタル	清掃のうえ防汚ウレタン塗膜防水
F	雨除石	清掃
G	壁礎: 亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種) のうえDP
H	テーパー 1/4 支立上り: 亜鉛メッキ鋼管φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
I	テーパー 1/4 架台: 亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛めっき塗装 (補修、系幅300程度)
J	内礎: フッ素塗装鋼パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
K	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
L	磁器質100角タイル	清掃
M	階段: 磁器質100角タイル	清掃
N	設備基礎: 塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
O	手摺: 鋼製 DP	下地調整 (RB種) のうえDP
P	亜鉛メッキグレーチング	清掃
Q	平場: アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
R	立上り: アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ改質アスファルト防水 (密着工法)
S	伸縮目地: 合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
T	床排水孔 SUSφ50コア抜き撤去	アルミ製バルコニー用ドレンφ50のうえアルミ製壁礎 φ60
U	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
V	ケイカル板EP	下地調整 (RC種) のうえEP
W	アルミパネル	清掃
X	アルミルーバー	清掃
Y	欠番	-
Z	丸礎: ステンレス	清掃、取付け部シーリング打替え
1	化粧目地 20×15: シーリング	シーリング打替え
2	鉄骨: 亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種) のうえDP



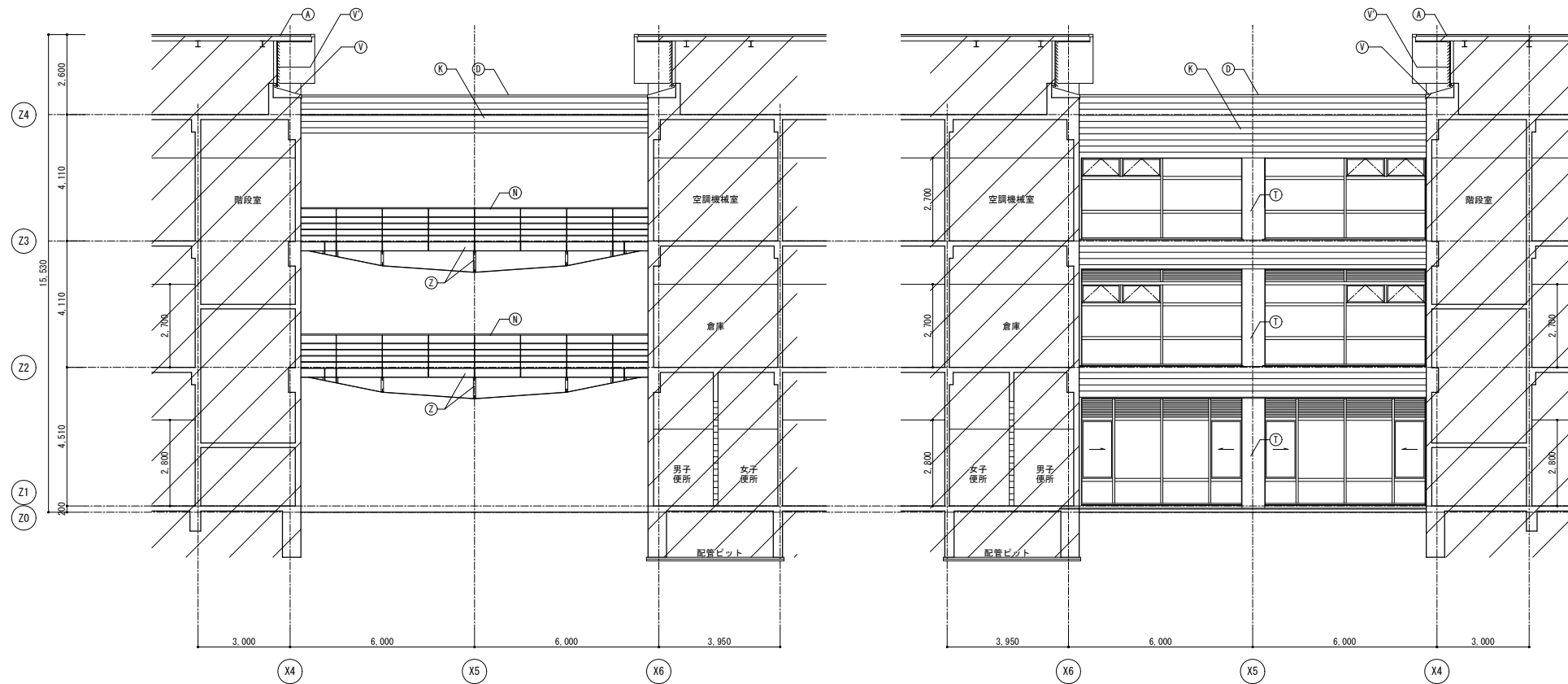


凡例	リスト	備考
	非改修範囲を示す	

符号	改修前	改修後
A	屋根:フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種) のうえDP
B	平場:保護コートのうえ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
C	立上り:塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
D	笠木:アルミ製	清掃
E	防水モルタル	清掃のうえ防滑ウレタン塗膜防水
F	雨受石	清掃
G	壁組:亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種) のうえDP
H	ソーパ:柱支立上り:亜鉛メッキ鋼管φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
I	ソーパ:柱架台:亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、糸幅300程度)
J	内組:フッ素塗装鋼パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
K	50角鋸器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
L	磁器質100角タイル	清掃
M	設備基礎:塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
N	手摺:鋼製 DP	下地調整 (RB種) のうえDP
O	亜鉛メッキグレーチング	清掃
P	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
Q	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
R	伸縮目地:合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
S	床排水孔 SUSφ50コア抜き撤去	アルミ製バルコニー用ドレンφ50のうえアルミ製壁樋 φ60
T	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
U	ケイカル板EP	下地調整 (RC種) のうえEP
V	アルミパネル	清掃
W	欠番	-
X	丸環:ステンレス	清掃、取付部シーリング打替え
Y	化粧目地 20×15:シーリング	シーリング打替え
Z	鉄骨:亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種) のうえDP

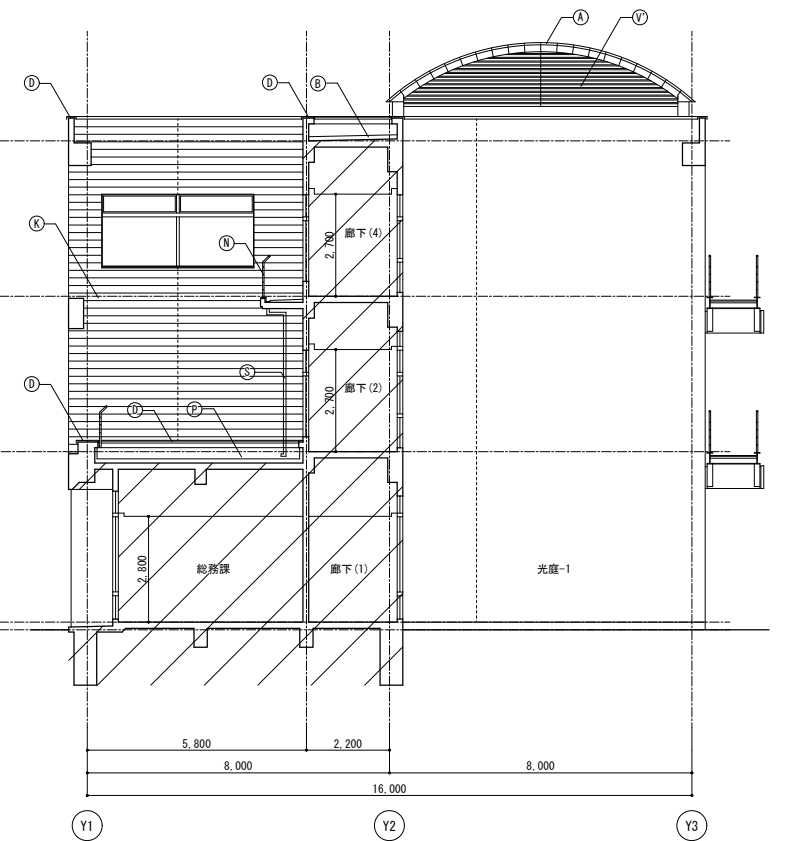


B - B断面図 1/100

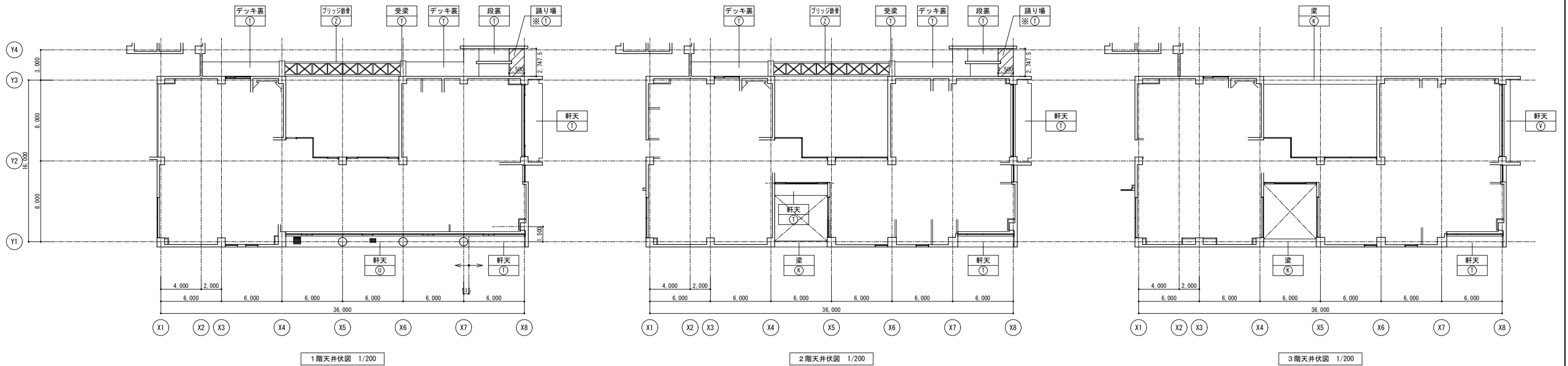


C - C断面図 1/100

D - D断面図 1/100



E - E断面図 1/100



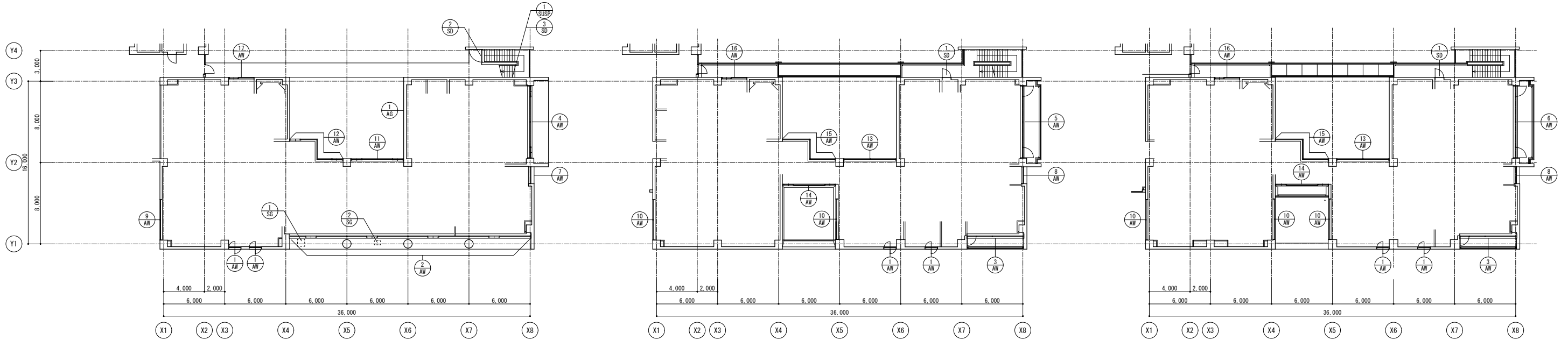
※及び□部アスベスト含有（下地調整材共撤去を示す。）

符号	凡例	
	改修前	改修後
Ⓐ	屋根：フッ素塗装鋼パネル	下地調整（R種）のうえDP
Ⓑ	平場：保護シートのうえ塩ビシート防水（かぶせ工法、機械固定）	清掃のうえ露出改質アスファルト防水（かぶせ工法）
Ⓒ	立上り：塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水（密着工法）
Ⓓ	笠木：アルミ製	清掃
Ⓔ	防水モルタル	清掃のうえ防汚ウレタン塗膜防水
Ⓕ	雨受石	清掃
Ⓖ	壁：垂鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整（R種）のうえDP
Ⓗ	ソーパ 柱立上り：垂鉛メッキ鋼管φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
Ⓘ	ソーパ 柱架台：垂鉛メッキ鋼	下地調整（R種）のうえ常温垂鉛メッキ塗装（補修、糸幅300程度）
Ⓚ	内蔵：フッ素塗装鋼板パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓛ	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
Ⓜ	磁器質100角タイル	清掃
Ⓝ	設備基礎：塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
Ⓟ	手摺：鋼製 DP	下地調整（R種）のうえDP
Ⓠ	垂鉛メッキグレーチング	清掃
Ⓡ	平場：アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水（かぶせ工法）
Ⓢ	立上り：アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水（密着工法）
Ⓣ	伸縮目地：合成樹脂製（既製品）	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シーリング打ち25×15
Ⓤ	床排水孔 SUSφ50コア抜き撤去	アルミ製バルコニー用ドレンφ50のうえアルミ製壁種 φ60
ⓗ	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整（R種）のうえ撥水材塗装
Ⓣ	ケイカル板EP	下地調整（R種）のうえEP
Ⓤ	アルミパネル	清掃
Ⓡ	欠番	-
Ⓢ	丸環：ステンレス	清掃、取付け部シーリング打替え
Ⓣ	化粧目地 20×15 シーリング	シーリング打替え
Ⓤ	鉄骨：垂鉛メッキ DP	下地調整（R種）のうえDP

符号	凡例	備考
■	ガラリ	



E棟



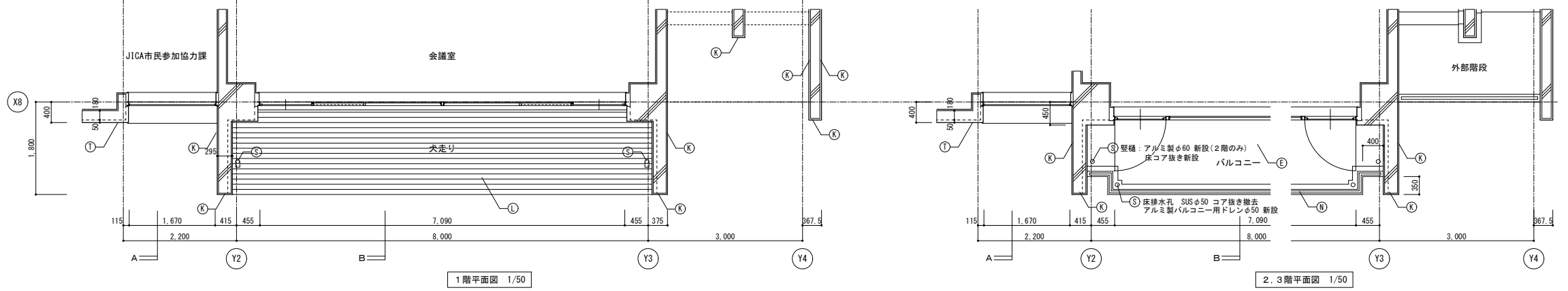
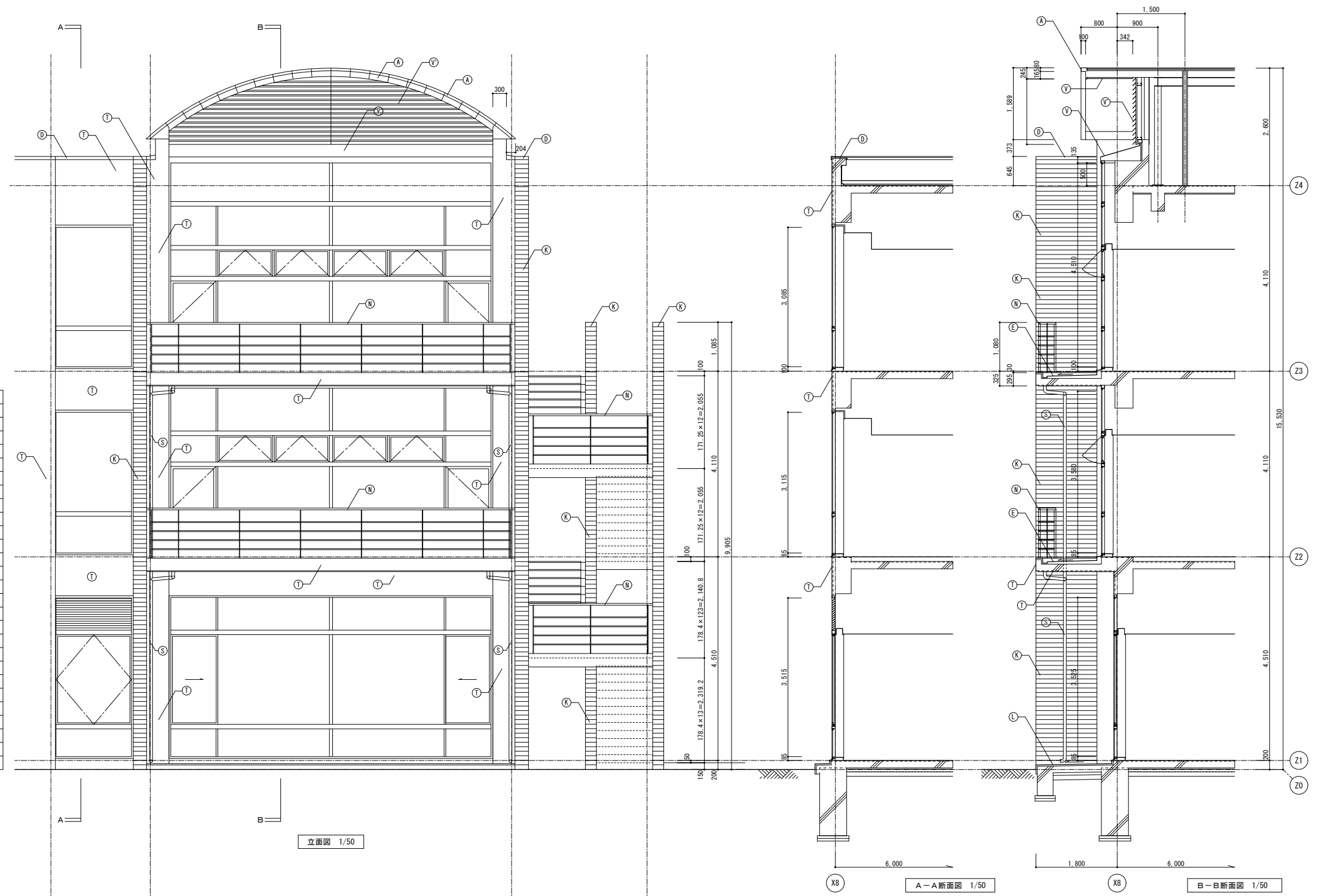
1階建具配置図 1/200

2階建具配置図 1/200

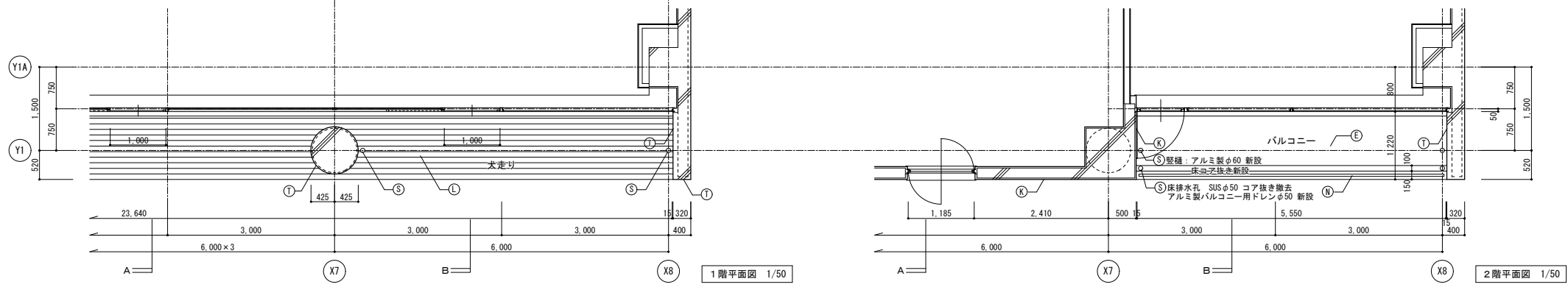
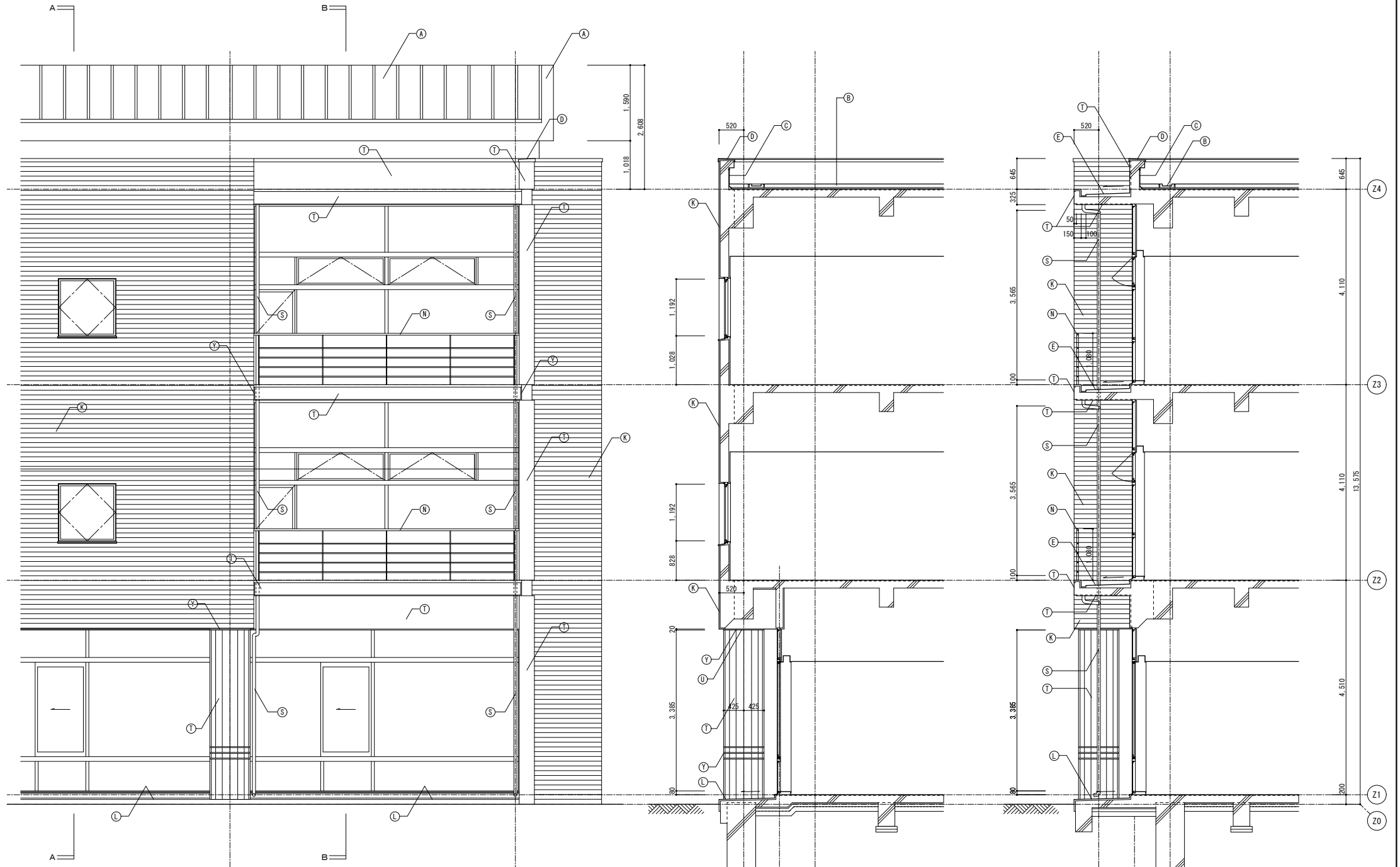
3階建具配置図 1/200

符号 (材質)	使用 箇所数	使用場所	形式 機構 ※F: 嵌殺し窓 P: パネルを示す	見込寸法 程度 板厚	内法寸法(W×H)	ガラス	材質程度・仕上	特殊金物・付属品	備考	符号 (材質)	使用 箇所数	使用場所	形式 機構 ※F: 嵌殺し窓 P: パネルを示す	見込寸法 程度 板厚	内法寸法(W×H)	ガラス	材質程度・仕上	特殊金物・付属品	備考	
1 AW	6	E棟 1階 JICA業務課 2階 研修管理員室(1)、(2) 3階 セミナールーム(3)	縦軸回転窓		1,200×1,200	フロート 6	アルミ電解着色			15 AW	2	E棟 2階 廊下(2) 3階 廊下(4)	嵌殺し窓 ランマ排煙窓 (両面タイプ)		7,100×2,600	フロート 6 フロート 8 (障子)	アルミ電解着色	オペレータ機構付		
2 AW	1	E棟 1階 所長室等	嵌殺し窓 片引き窓付		23,720×3,400	フロート 8 フロート 6 (ランマ)	アルミ電解着色			16 AW	2	E棟 2階 コンピュータ室 3階 研修室(6)	片引き窓 嵌殺し窓		2,450×1,800	フロート 6	アルミ電解着色			
3 AW	2	E棟 2階 コピー室 E棟 3階 研修室(4)	嵌殺し窓ランマ排煙窓付 片開き隠し扉付		5,570×3,650	高性能熱反 8	アルミ電解着色	オペレータ機構付		17 AW	1	E棟 1階 広報展示室	片引き窓 嵌殺し窓 ランマ突き出し排煙パネル付		2,450×2,200	和紙調合わせ 6.5	アルミ電解着色	オペレータ機構付		
4 AW	1	E棟 1階 会議室	嵌殺し窓片引き窓付		7,150×3,515	フロート 8 フロート 6 (ランマ)	アルミ電解着色													
5 AW	1	E棟 2階 倉庫(1)	嵌殺し窓ランマ排煙窓付 片開き隠し扉付		7,150×3,650	高性能熱反 8	アルミ電解着色	オペレータ機構付		1 SD	2	E棟 2階 廊下(3) 3階 廊下(5)	片開きフラッシュ扉 小窓付 ランマパネル付		850×2,685	透明 6.8	スチール SOP			
6 AW	1	E棟 3階 研修室(5)	嵌殺し窓ランマ排煙窓付 片開き隠し扉付		7,150×4,465	高性能熱反 8	アルミ電解着色	オペレータ機構付		2 SD	1	E棟 1階 外部階段	片開き格子扉		1,200×1,000	-	40角、25A鋼管 溶融亜鉛メッキの上 フッ素樹脂塗装	丁番、掛け金、南京錠		
7 AW	1	E棟 1階 JICA市民参加協力課	嵌殺し窓 ランマガラリ付		1,670×3,515	フロート 8	アルミ電解着色			3 SD	1	E棟 1階 屋外階段下	片開きフラッシュ扉		450×500	-	スチールSOP			
8 AW	2	E棟 2階 廊下(2) 3階 廊下(4)	嵌殺し窓		1,670×3,515	フロート 8	アルミ電解着色													
9 AW	1	E棟 1階 JICA業務課	嵌殺し窓 ランマ排煙窓		4,000×2,700	フロート 8 フロート 5 (ランマ)	アルミ電解着色	オペレータ機構付		1 AG	1	E棟 1階 男子便所	アルミガラリ		600×300	-	アルミ電解着色	ステンレス防虫ネット		
10 AW	5	E棟 2階 研修管理員室(1) 2階 研修管理員室(1) 3階 研修室(1)~(3)	嵌殺し窓 ランマ排煙窓		4,000×1,885	フロート 6 フロート 5 (ランマ)	アルミ電解着色	オペレータ機構付												
11 AW	1	E棟 1階 廊下(1)	嵌殺し窓 片引き窓付 ランマガラリ付(両面タイプ)		5,200×3,400	フロート 6 フロート 8 (障子)	アルミ電解着色			1 SG	1	E棟 1階 軒天	鋼製ルーバー換気口		700×700	-	焼付塗装	ステンレス防虫ネット		
12 AW	1	E棟 1階 廊下(1)	嵌殺し窓 片引き窓付 ランマガラリ付(両面タイプ)		7,300×3,400	フロート 6 フロート 8 (障子)	アルミ電解着色			2 SG	1	E棟 1階 軒天	鋼製ルーバー換気口		600×400	-	焼付塗装	ステンレス防虫ネット		
13 AW	2	E棟 2階 廊下(2) 3階 廊下(4)	嵌殺し窓 ランマ排煙窓 (両面タイプ)		5,200×2,600	フロート 6 フロート 8 (障子)	アルミ電解着色	オペレータ機構付												
14 AW	2	E棟 2階 廊下(2) 3階 廊下(4)	嵌殺し窓 ランマ排煙窓 片引き窓付		5,180×2,485	フロート 8 フロート 5 (ランマ)	アルミ電解着色	オペレータ機構付		1 SUSP	1	E棟 1階 屋外階段下	連結送水口 壁埋込型双口		400×350	-	ステンレスプレート			

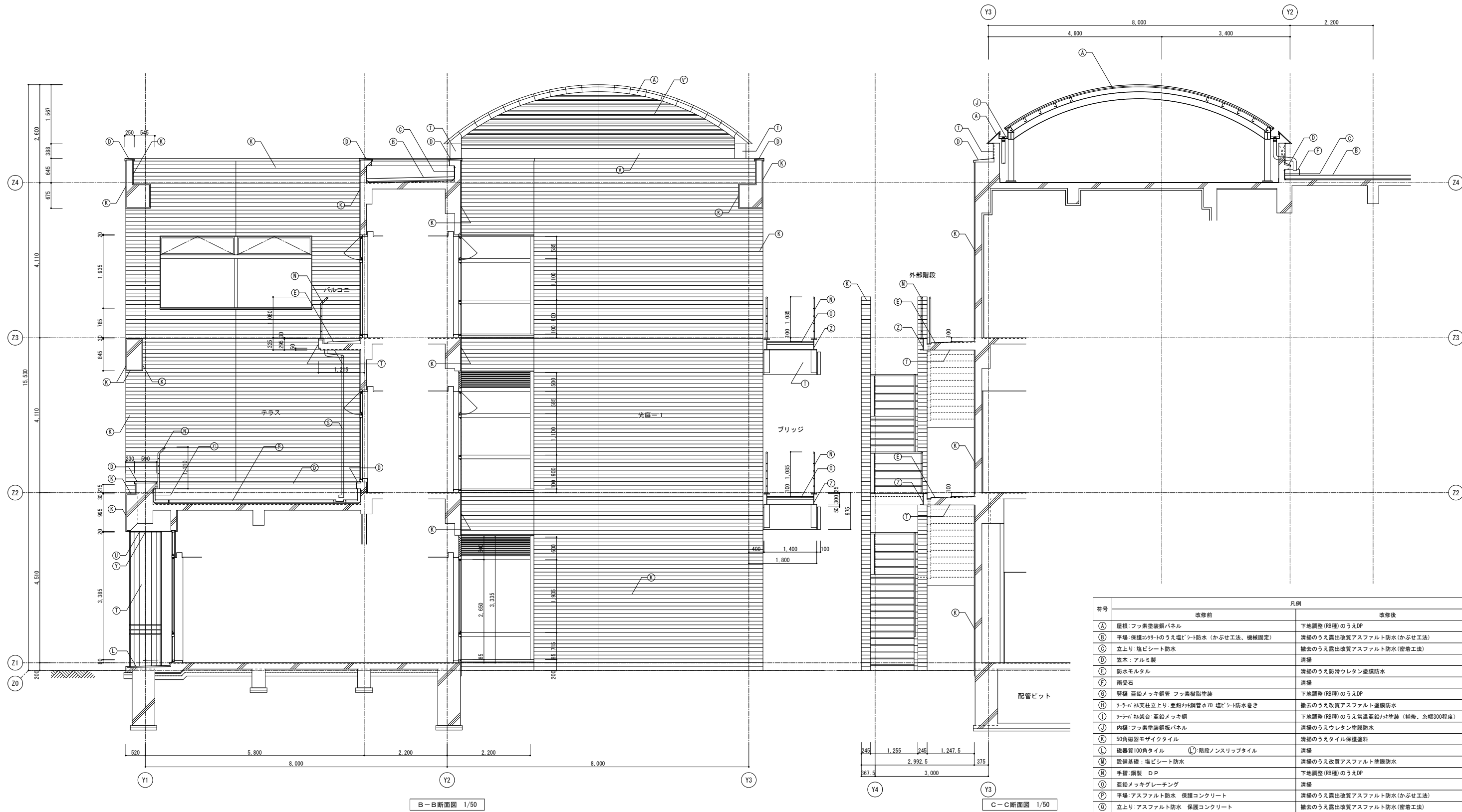
符号	改修前	改修後
①	屋根: フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種) のうえDP
②	平場: 保護コートのうえ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
③	立上り: 塩ビシート防水	撤去のうえ改質アスファルト防水 (密着工法)
④	葺木: アルミ製	清掃
⑤	防水モルタル	清掃のうえ防汚ウレタン塗膜防水
⑥	雨受石	清掃
⑦	縦樋: 亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種) のうえDP
⑧	テーパー 1/4 支柱立上り: 亜鉛メッキ鋼管 φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
⑨	テーパー 1/4 架台: 亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、糸幅300程度)
⑩	内樋: フッ素塗装鋼パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
⑪	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
⑫	磁器質100角タイル	清掃
⑬	設備基礎: 塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
⑭	手摺: 鋼製 DP	下地調整 (RB種) のうえDP
⑮	亜鉛メッキグレーチング	清掃
⑯	平場: アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
⑰	立上り: アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ改質アスファルト防水 (密着工法)
⑱	伸縮目地: 合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
⑲	床排水孔 SUS φ50 コア抜き撤去	アルミ製バルコニー用ドレンφ50のうえアルミ製縦樋 φ60
㉑	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
㉒	ケイカル板EP	下地調整 (RC種) のうえEP
㉓	アルミパネル	清掃
㉔	欠番	-
㉕	丸環: ステンレス	清掃、取付け部シーリング打替え
㉖	化粧目地 20×15 : シーリング	シーリング打替え
㉗	鉄骨: 亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種) のうえDP



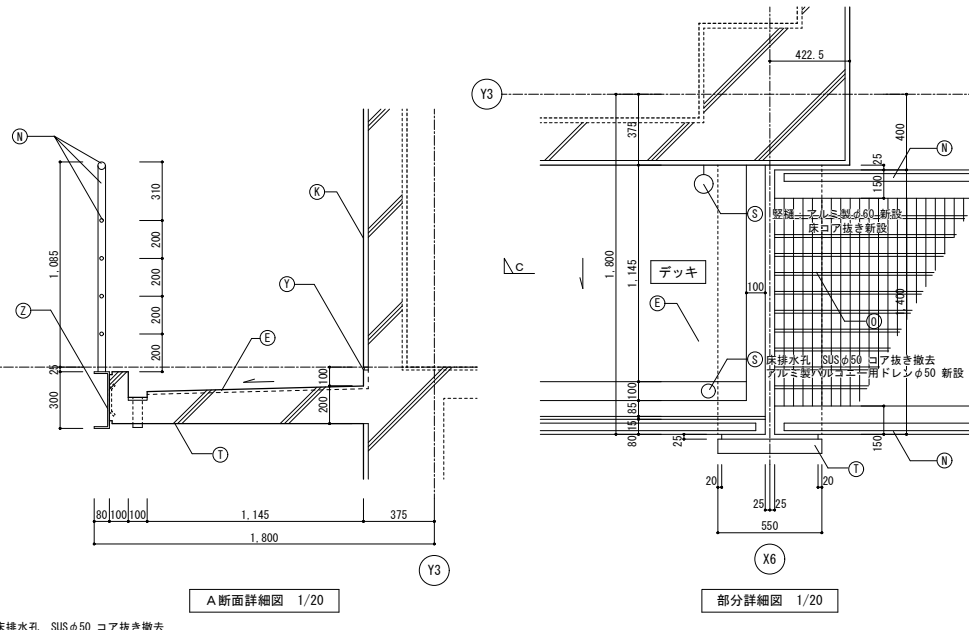
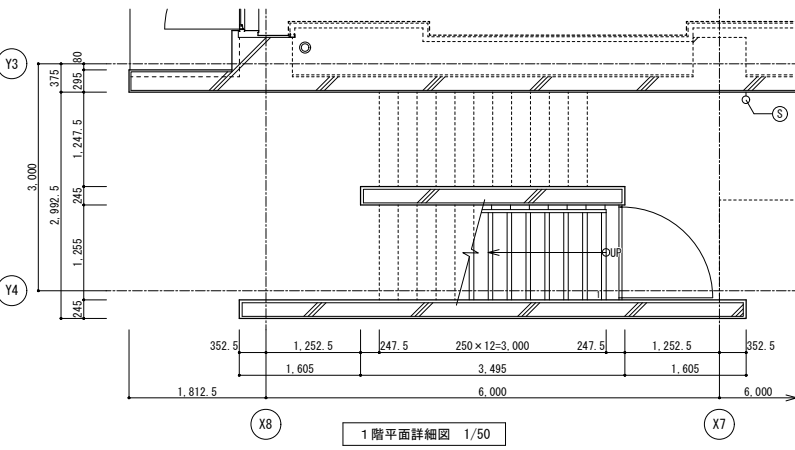
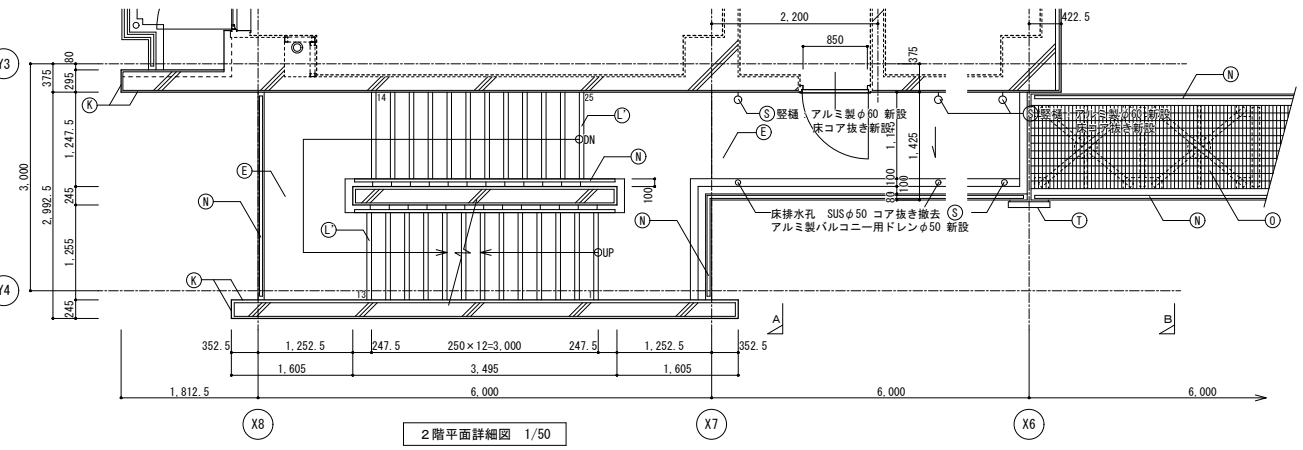
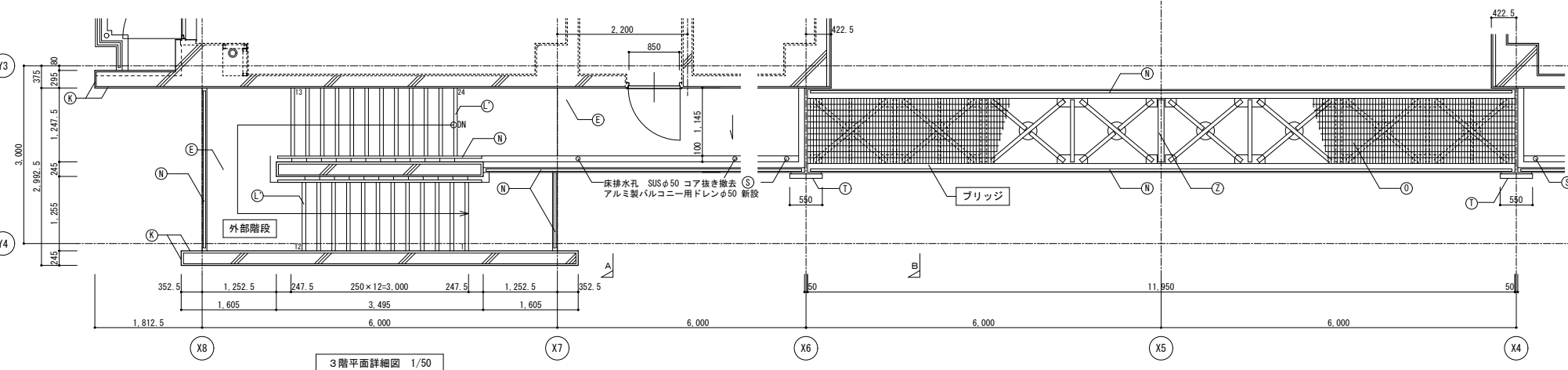
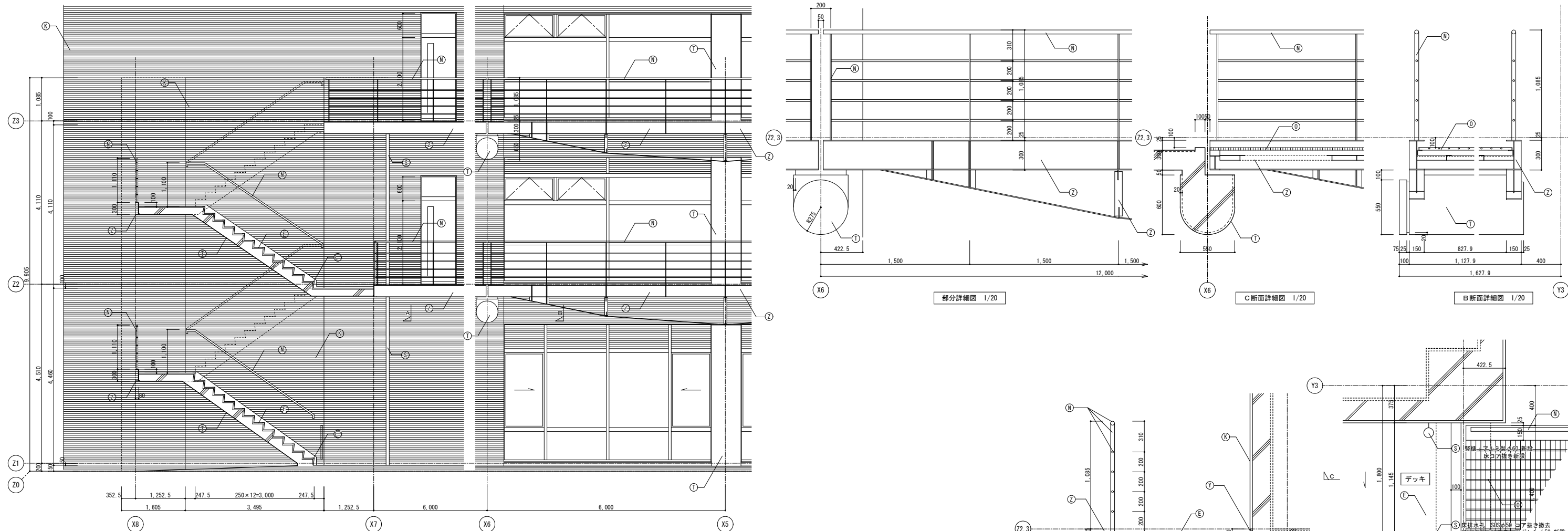
符号	改修前	改修後
㉑	屋根: フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種) のうえDP
㉒	平場: 保護シートの上へ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
㉓	立上り: 塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
㉔	葦木: アルミ製	清掃
㉕	防水モルタル	清掃のうえ防汚ウレタン塗膜防水
㉖	雨受石	清掃
㉗	縦樋: 亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種) のうえDP
㉘	テーパー 1/4 支柱立上り: 亜鉛メッキ鋼管φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
㉙	テーパー 1/4 架台: 亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛めっき塗装 (補修、糸幅300程度)
㉚	内樋: フッ素塗装鋼パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
㉛	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
㉜	磁器質100角タイル ㉝:階段ノンスリップタイル	清掃
㉞	設備基礎: 塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
㉟	手摺: 鋼製 DP	下地調整 (RB種) のうえDP
㊱	亜鉛メッキグレーチング	清掃
㊲	平場: アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
㊳	立上り: アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
㊴	伸縮目地: 合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
㊵	床排水孔 SUSφ50コア抜き撤去 ㊶のみ: 縦樋 φ65撤去	アルミ製バルコニー用ドレンφ50のうえアルミ製縦樋 φ60
㊷	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
㊸	ケイカル板EP	下地調整 (RC種) のうえEP
㊹	アルミパネル ㊺:アルミルーバー	清掃
㊻	欠番	-
㊼	丸環: ステンレス	清掃、取付け部シーリング打替え
㊽	化粧目地 20×15: シーリング	シーリング打替え
㊾	鉄骨: 亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種) のうえDP



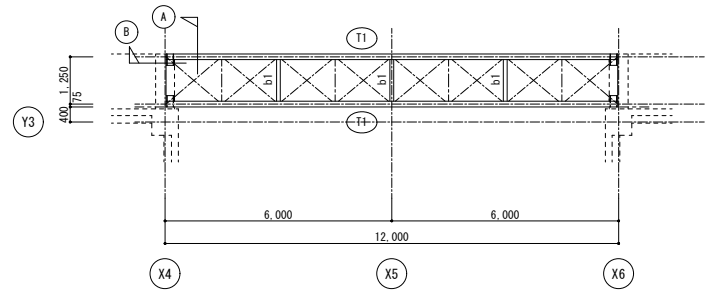




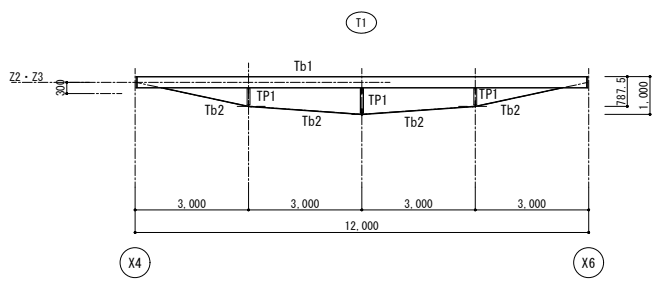
符号	凡例	
	改修前	改修後
A	屋根:フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種) のうえDP
B	平場:保護コクリートのうえ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
C	立上り:塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
D	笠木:アルミ製	清掃
E	防水モルタル	清掃のうえ防滑ウレタン塗膜防水
F	雨受石	清掃
G	堅礎:亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種) のうえDP
H	ソナーバ 柱支柱立上り:亜鉛メッキ鋼管φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
I	ソナーバ 柱架台:亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、糸幅300程度)
J	内樋:フッ素塗装鋼板パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
K	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
L	磁器質100角タイル	清掃
M	設備基礎:塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
N	手摺:鋼製 DP	下地調整 (RB種) のうえDP
O	亜鉛メッキグレーチング	清掃
P	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
Q	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
R	伸縮目地:合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
S	床排水孔 SUSφ50コア抜き撤去	アルミ製バルコニー用ドレンφ50のうえアルミ製堅礎 φ60
T	コンクリート打放の上、撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
U	ケイカル板EP	下地調整 (RC種) のうえEP
V	アルミパネル	清掃
W	欠番	-
X	丸環:ステンレス	清掃、取付け部シーリング打替え
Y	化粧目地 20×15:シーリング	シーリング打替え
Z	鉄骨:亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種) のうえDP



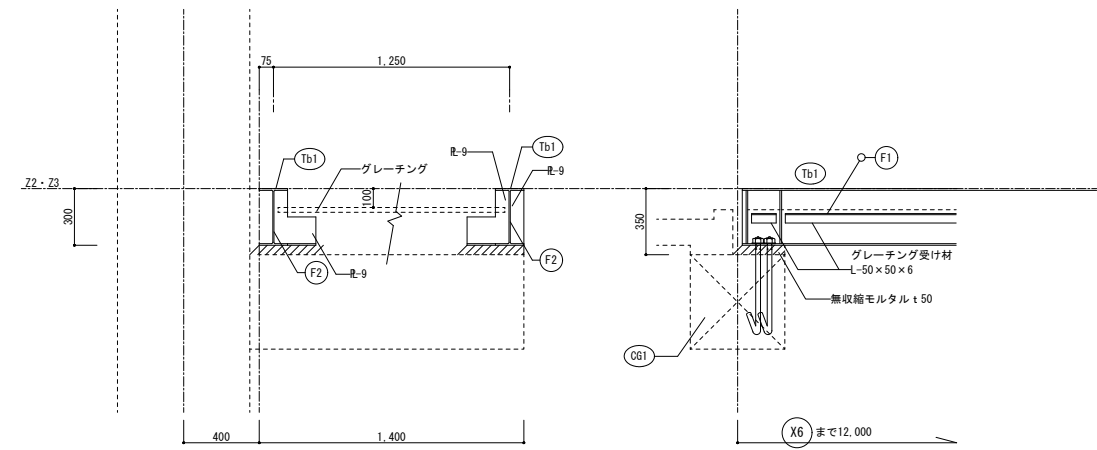
符号	改修前	改修後
Ⓐ	屋根:フッ素塗装鋼パネル	下地調整 (RB種)のうえDP
Ⓑ	平場:保護コンクリートのうえ塩ビシート防水 (かぶせ工法、機械固定)	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
Ⓒ	立上り:塩ビシート防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
Ⓓ	笠木:アルミ製	清掃
Ⓔ	防水モルタル	清掃のうえ防滑ウレタン塗膜防水
Ⓕ	雨受石	清掃
Ⓖ	壁柱:亜鉛メッキ鋼管 フッ素樹脂塗装	下地調整 (RB種)のうえDP
Ⓗ	ツラハ 44支柱立上り:亜鉛メッキ鋼管φ70 塩ビシート防水巻き	撤去のうえ改質アスファルト塗膜防水
Ⓙ	ツラハ 44架台:亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種)のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、系種300程度)
Ⓛ	内樋:フッ素塗装鋼板パネル	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓚ	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗料
Ⓛ	磁器質100角タイル	清掃
Ⓛ	階段:ノンスリップタイル	清掃
Ⓜ	設備基礎:塩ビシート防水	清掃のうえ改質アスファルト塗膜防水
Ⓝ	手摺:鋼製 DP	下地調整 (RB種)のうえDP
Ⓟ	亜鉛メッキグレーチング	清掃
Ⓟ	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水 (かぶせ工法)
Ⓡ	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水 (密着工法)
Ⓢ	伸縮目地:合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
Ⓣ	床排水孔 SUSφ50コア抜き撤去	アルミ製バルコニー用ドレンφ50のうえアルミ製壁樋φ60
Ⓣ	コンクリート打放のうえ、撥水材塗装	下地調整 (RA種)のうえ撥水材塗装
Ⓤ	ケイカル板EP	下地調整 (RC種)のうえEP
Ⓥ	アルミパネル	清掃
Ⓡ	欠番	-
Ⓣ	丸環:ステンレス	清掃、取付部シーリング打替え
Ⓣ	化粧目地 20×15:シーリング	シーリング打替え
Ⓣ	鉄骨:亜鉛メッキ DP	下地調整 (RB種)のうえDP



キープラン 1/100  
※  $\nabla$ は、水平ブレースV1

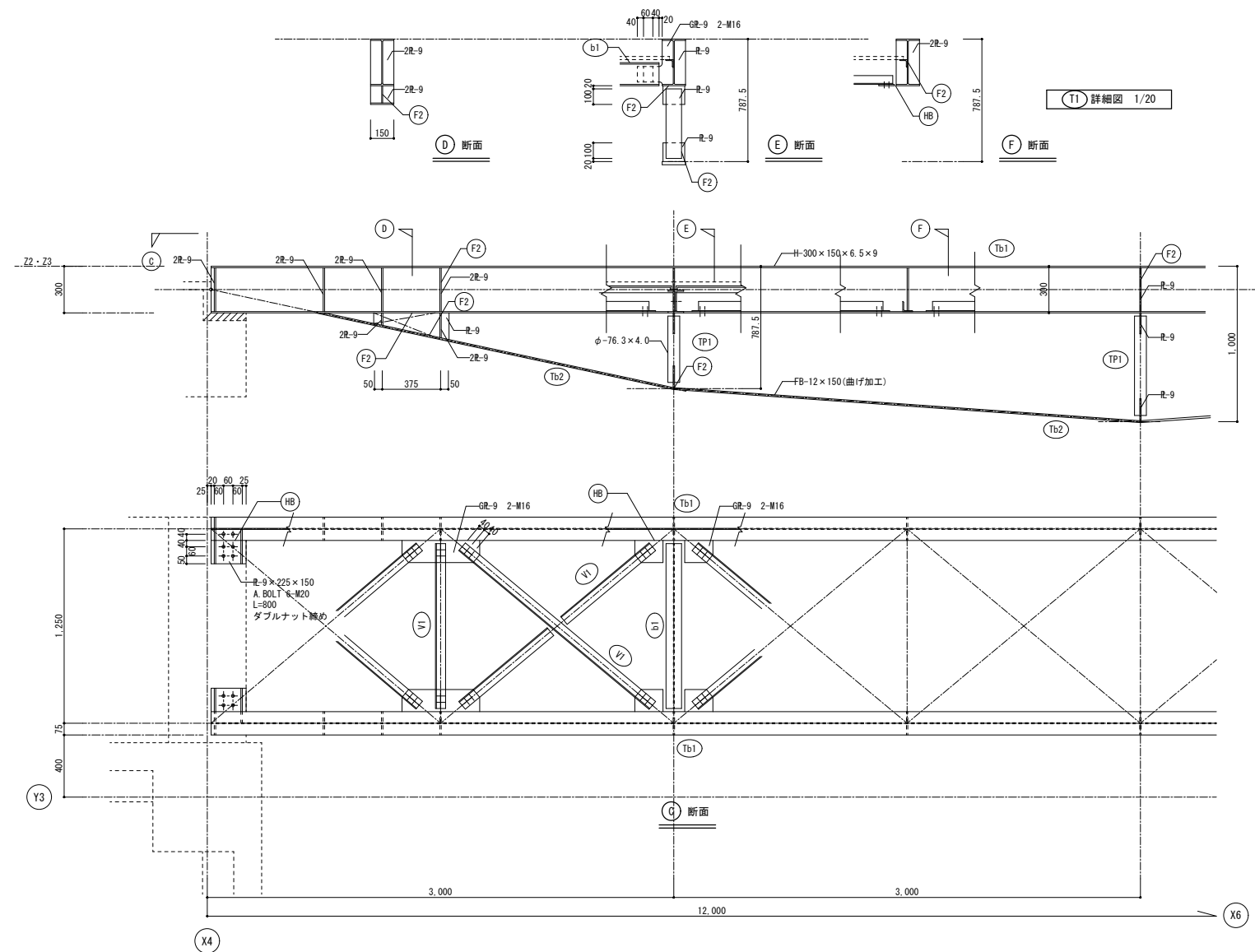


鉄骨軸組図 1/100



A 断面

B 断面



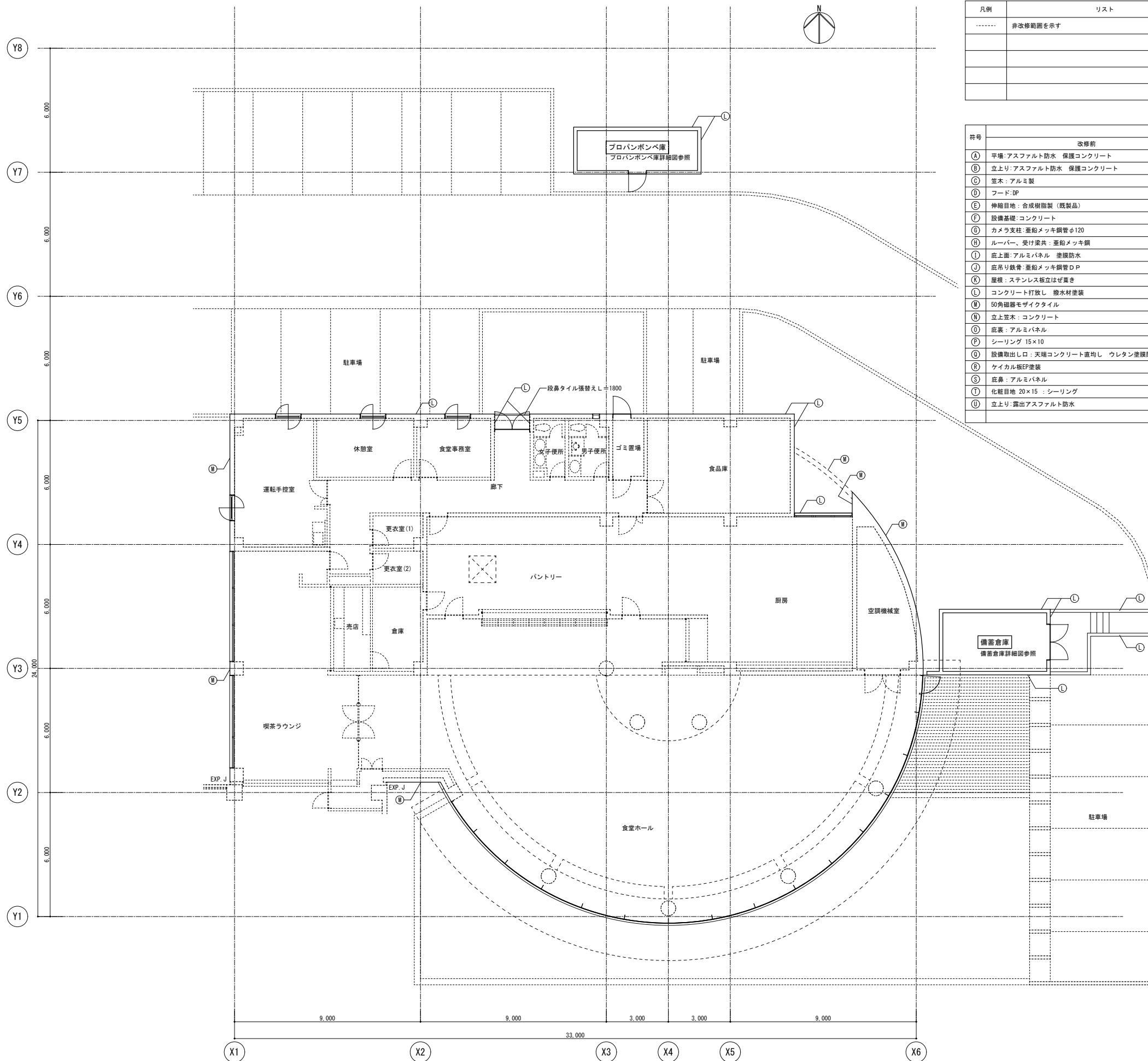
C 断面

T1 詳細図 1/20

符号	部材断面	材質	備考
Tb1	H-300×150×6.5×9	SS400	
Tb2	FB-12×150	SS400	
TP1	φ-76.3×4.0	STK400	
b1	H-148×100×6×9	SS400	
V1	L-65×65×6	SS400	
グレーチング受け材	L-50×50×6	SS400	

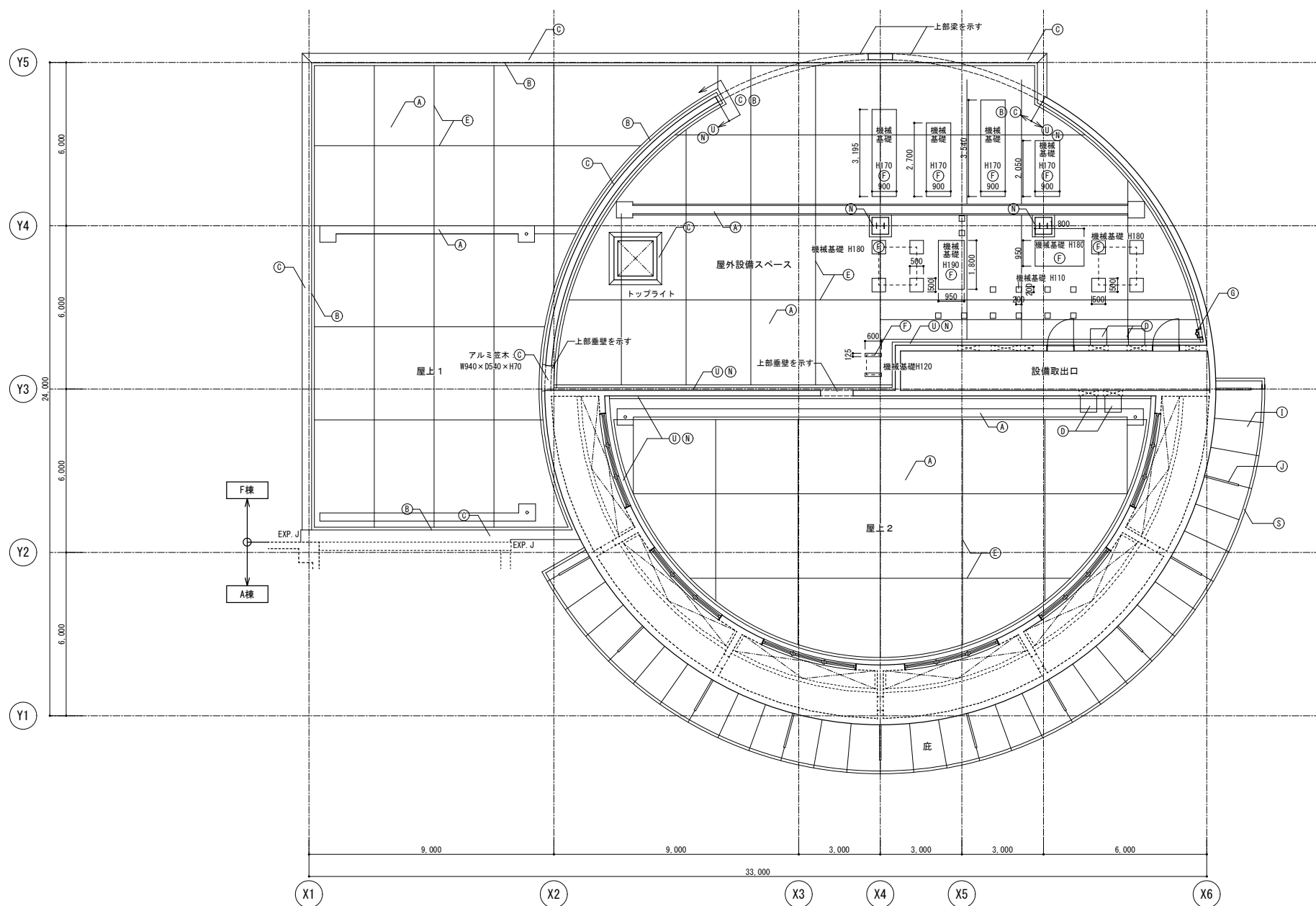
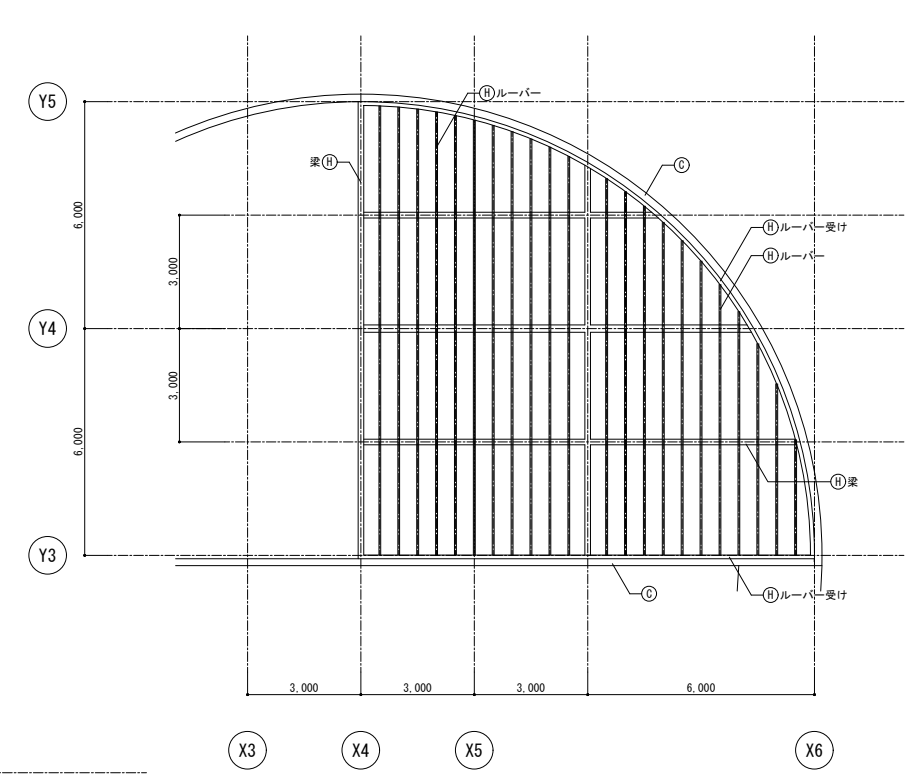
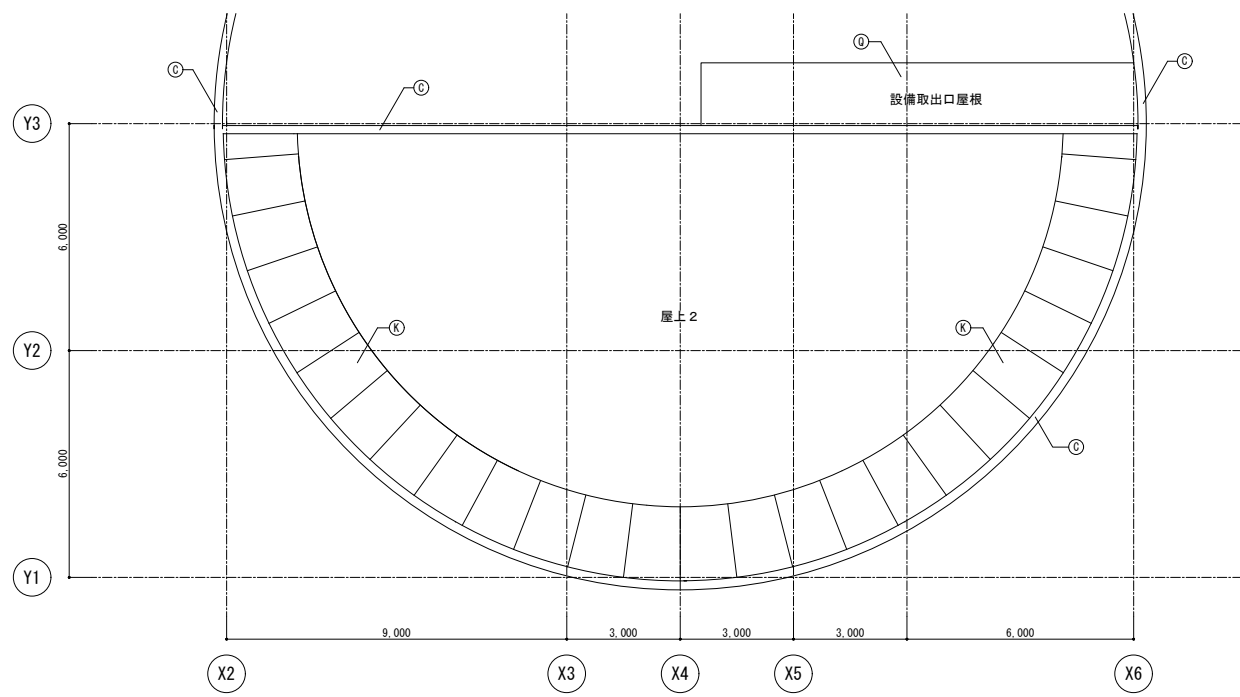






凡例	リスト	備考
-----	非改修範囲を示す	

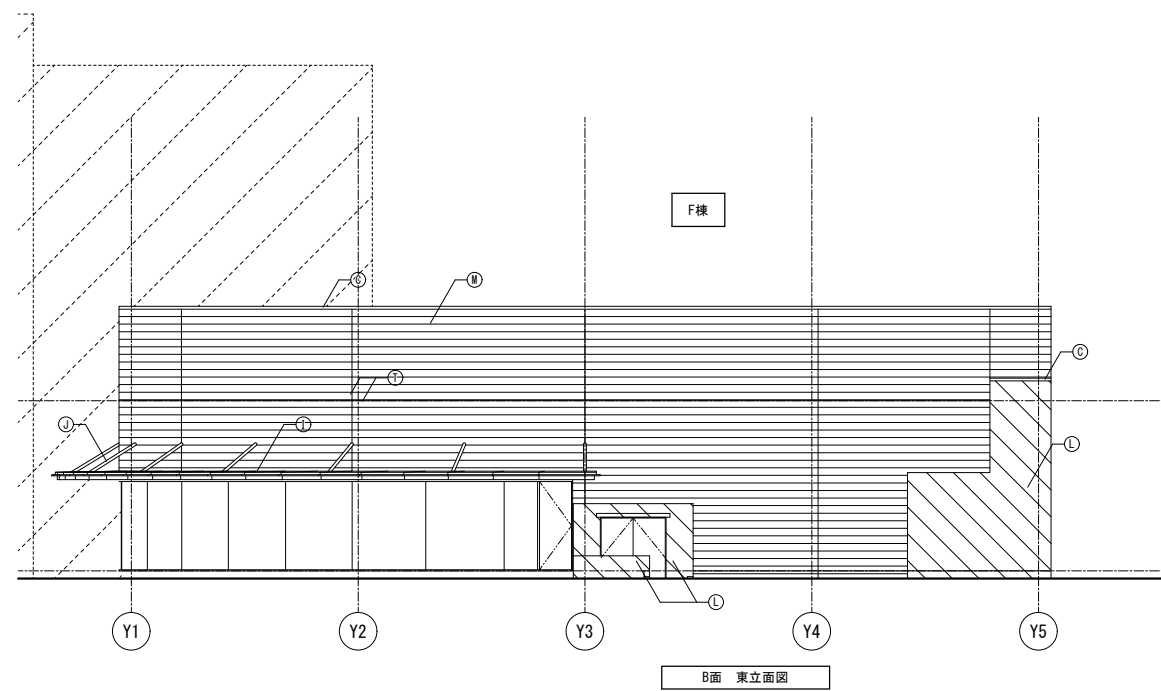
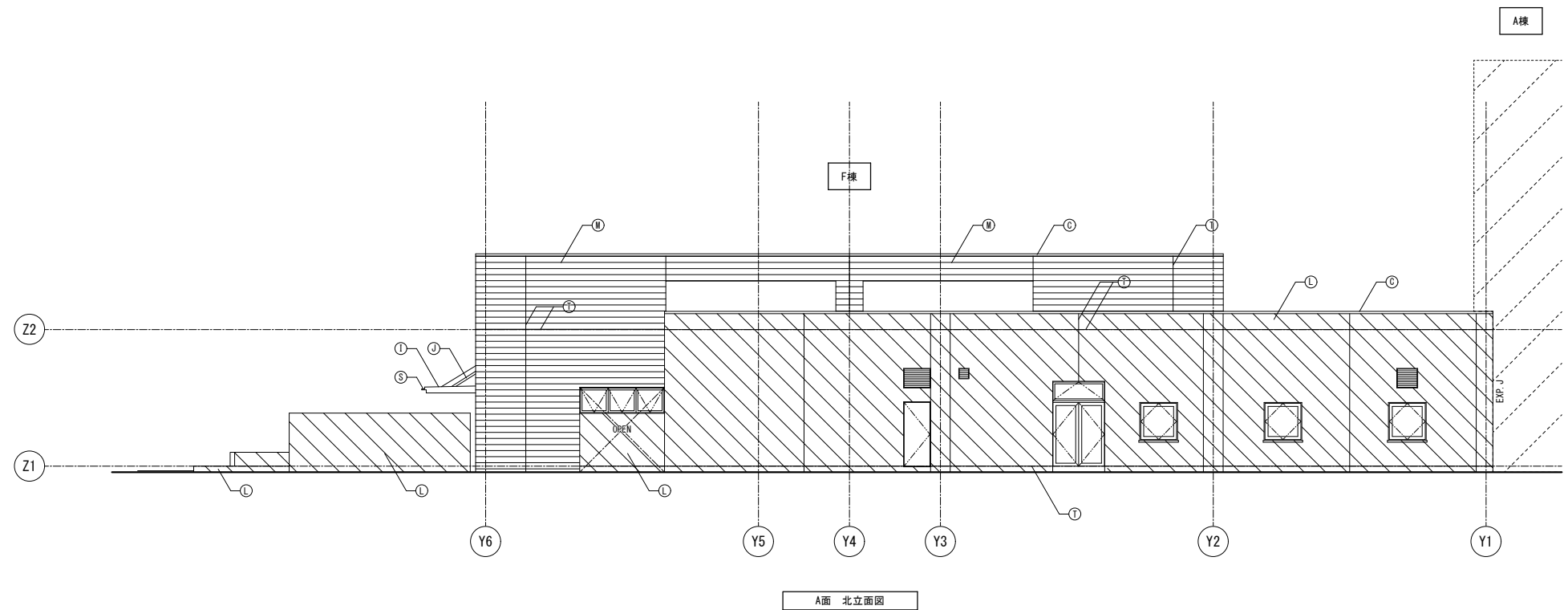
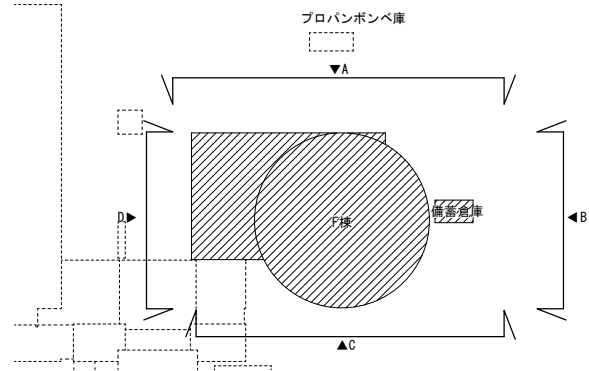
符号	凡例	
	改修前	改修後
Ⓐ	平場: アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
Ⓑ	立上り: アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
Ⓒ	笠木: アルミ製	清掃
Ⓓ	フード: DP	下地調整 (R8種) のうえDP
Ⓔ	伸縮目地: 合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
Ⓕ	設備基礎: コンクリート	清掃のうえ、改質アスファルト塗膜防水
Ⓖ	カメラ支柱: 亜鉛メッキ鋼管φ120	下地調整 (R8種) のうえDP
Ⓗ	ルーバー、受け梁共: 亜鉛メッキ鋼	下地調整 (R8種) のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、糸幅400程度)
Ⓙ	応上面: アルミパネル 塗膜防水	清掃のうえ、ウレタン塗膜防水
Ⓝ	応吊り鉄骨: 亜鉛メッキ鋼管DP	下地調整 (R8種) のうえDP
Ⓚ	屋根: ステンレス板立はげ置き	清掃
Ⓛ	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
Ⓜ	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗装
Ⓝ	立上り笠木: コンクリート	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓞ	応裏: アルミパネル	清掃
Ⓟ	シーリング 15×10	シーリング打替え
Ⓡ	設備取出口: 天端コンクリート置均し ウレタン塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓢ	ケイカル板EP塗装	下地調整 (RC種) のうえEP
Ⓣ	応鼻: アルミパネル	清掃
Ⓤ	化粧目地 20×15 : シーリング	シーリング打替え
Ⓡ	立上り: 露出アスファルト防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)



ルーバー伏図

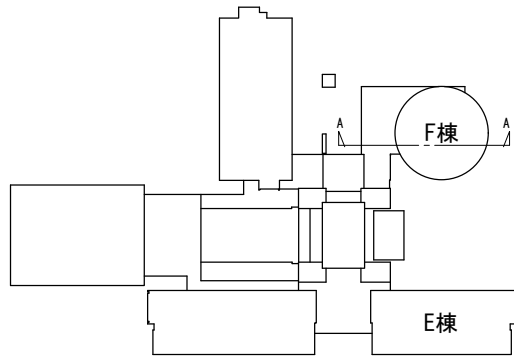
凡例	リスト	備考
-----	非改修範囲を示す	

符号	凡例	
	改修前	改修後
(A)	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
(B)	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
(C)	笠木:アルミ製	清掃
(D)	フード:DP	下地調整(RB種)のうえDP
(E)	伸縮目地:合成樹脂製(既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
(F)	設備基礎:コンクリート	清掃のうえ、改質アスファルト塗膜防水
(G)	カメラ支柱:垂鉛メッキ鋼管φ120	下地調整(RB種)のうえDP
(H)	ルーバー、受け梁共:垂鉛メッキ鋼	下地調整(RB種)のうえ常温垂鉛メッキ塗装(補修、系幅400程度)
(I)	応上面:アルミパネル 塗膜防水	清掃のうえ、ウレタン塗膜防水
(J)	応吊り鉄骨:垂鉛メッキ鋼管DP	下地調整(RB種)のうえDP
(K)	屋根:ステンレス板立はげ葺き	清掃
(L)	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整(RA種)のうえ撥水材塗装
(M)	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗装
(N)	立上り笠木:コンクリート	清掃のうえウレタン塗膜防水
(O)	応裏:アルミパネル	清掃
(P)	シーリング 15×10	シーリング打替え
(Q)	設備取出口:天端コンクリート直均し ウレタン塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水
(R)	ケイカル板EP塗装	下地調整(RC種)のうえEP
(S)	庇鼻:アルミパネル	清掃
(T)	化粧目地 20×15 :シーリング	シーリング打替え
(U)	立上り:露出アスファルト防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)

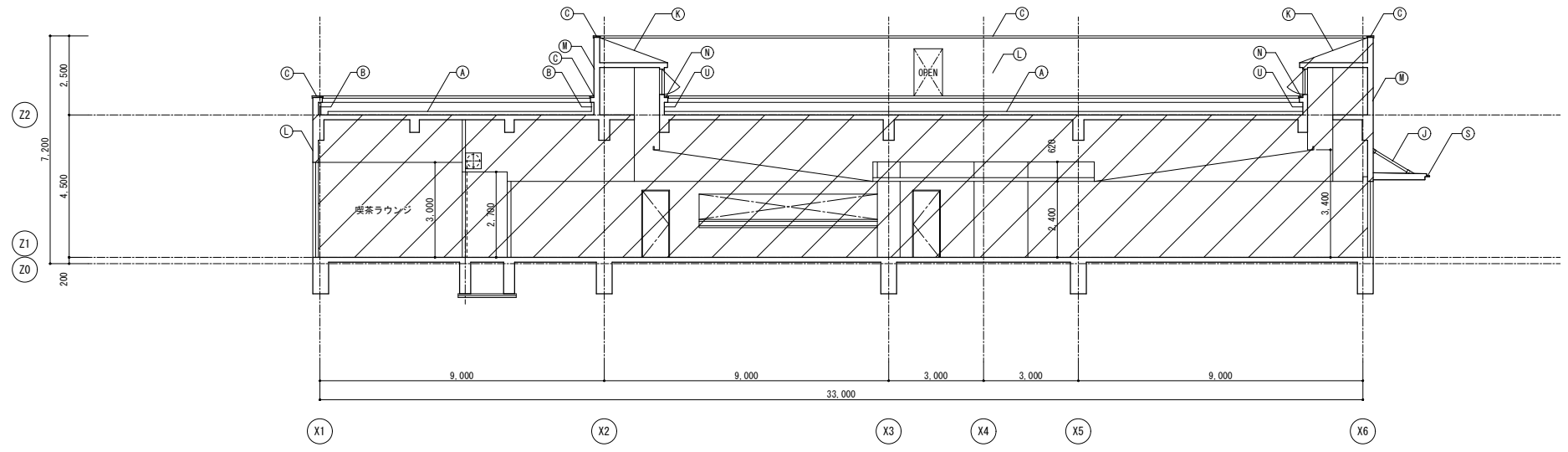


凡例	リスト	備考
	非改修範囲	
	コンクリート範囲を示す	
	鉄骨範囲を示す	

符号	凡例	
	改修前	改修後
Ⓐ	平場: アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
Ⓑ	立上り: アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
Ⓒ	窓木: アルミ製	清掃
Ⓓ	フード: DP	下地調整 (RB種) のうえDP
Ⓔ	伸縮目地: 合成樹脂製 (既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
Ⓕ	設備基礎: コンクリート	清掃のうえ、改質アスファルト塗膜防水
Ⓖ	カメラ支柱: 亜鉛メッキ鋼管φ120	下地調整 (RB種) のうえDP
Ⓗ	ルーバー、受け梁共: 亜鉛メッキ鋼	下地調整 (RB種) のうえ常温亜鉛メッキ塗装 (補修、永幅400程度)
Ⓙ	庇上面: アルミパネル 塗膜防水	清掃のうえ、ウレタン塗膜防水
Ⓚ	応吊り鉄骨: 亜鉛メッキ鋼管DP	下地調整 (RB種) のうえDP
Ⓛ	屋根: ステンレス板立はげ置き	清掃
Ⓜ	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
Ⓝ	50角鋸歯モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗装
Ⓟ	立上窓木: コンクリート	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓠ	庇裏: アルミパネル	清掃
Ⓡ	シーリング 15×10	シーリング打替え
Ⓢ	設備取出口: 天端コンクリート直均し ウレタン塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓣ	ケイカル板EP塗装	下地調整 (RC種) のうえEP
Ⓤ	庇裏: アルミパネル	清掃
ⓖ	化粧目地 20×15 : シーリング	シーリング打替え
ⓗ	立上り: 露出アスファルト防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)



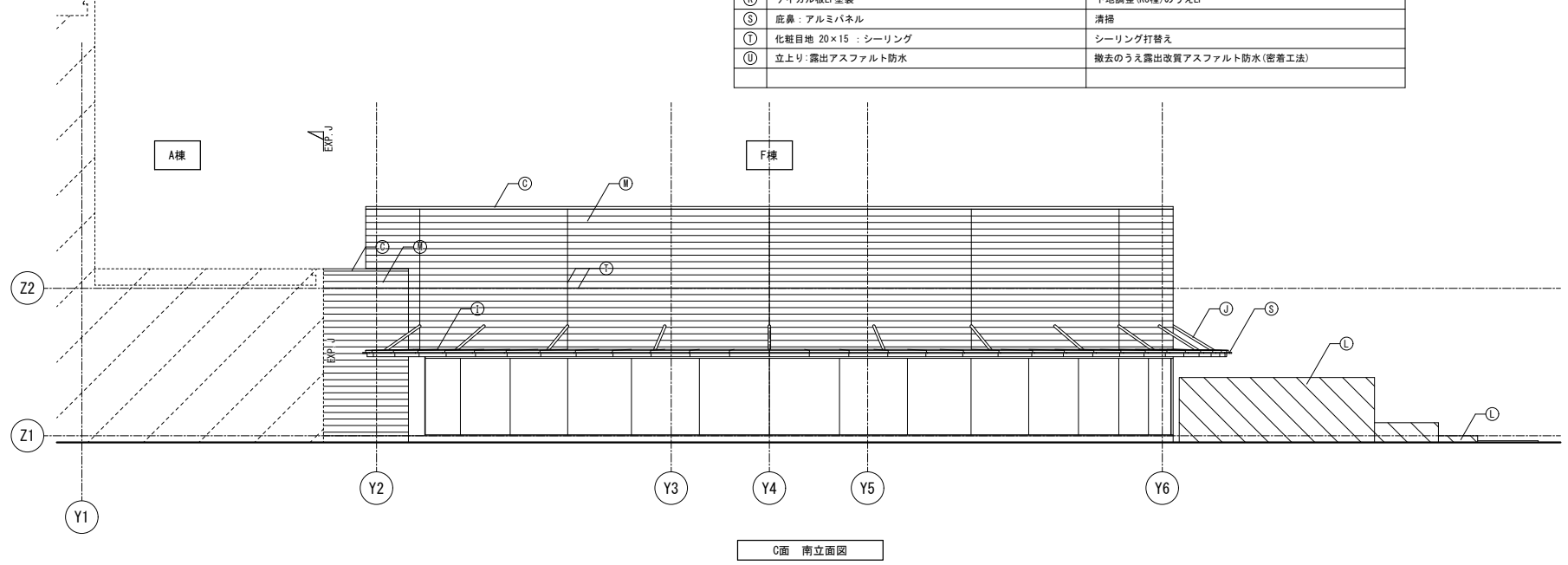
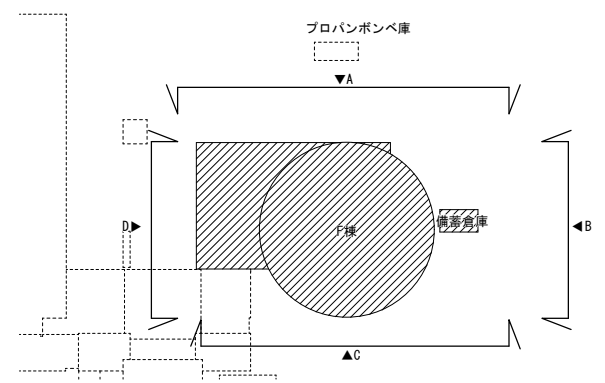
凡例	リスト	備考
	非改修範囲を示す	



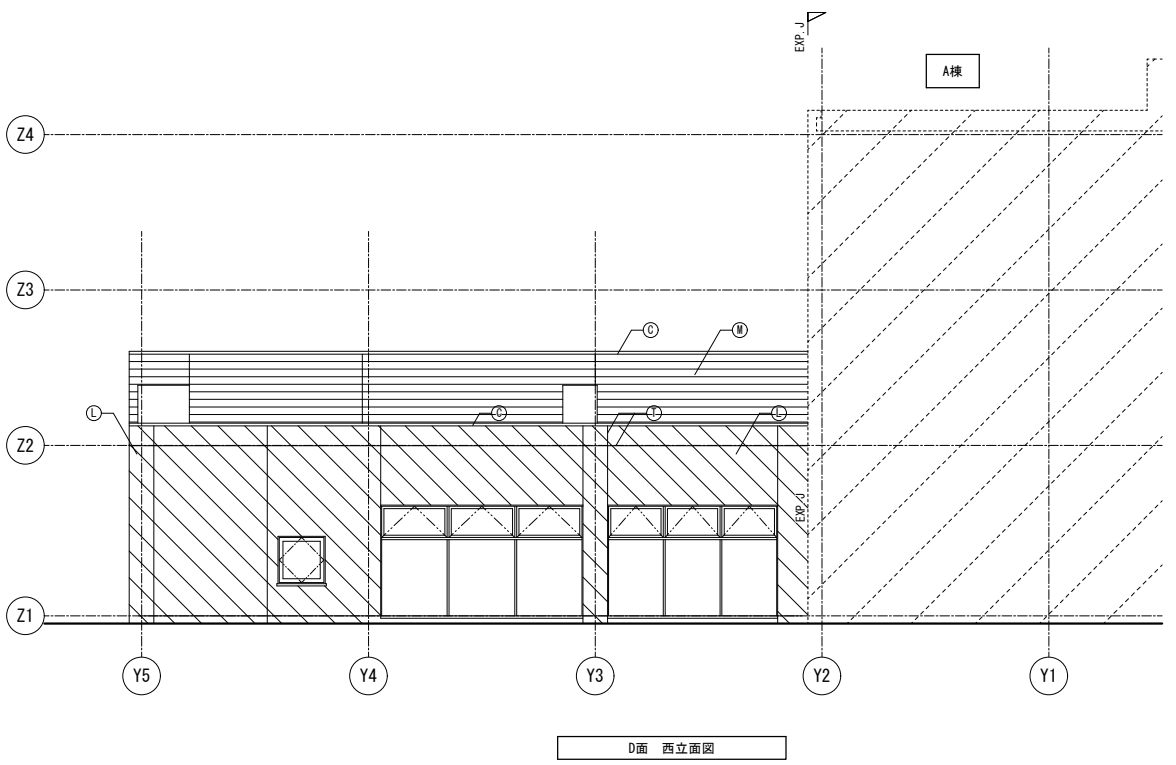
A - A断面図 1/100

符号	凡例	
	改修前	改修後
(A)	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
(B)	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
(C)	笠木:アルミ製	清掃
(D)	フード:DP	下地調整(RB種)のうえDP
(E)	伸縮目地:合成樹脂製(既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
(F)	設備基礎:コンクリート	清掃のうえ、改質アスファルト塗膜防水
(G)	カメラ支柱:亜鉛メッキ鋼管φ120	下地調整(RB種)のうえDP
(H)	ルーバー、受け梁共:亜鉛メッキ鋼	下地調整(RB種)のうえ常温亜鉛メッキ塗装(補修、糸幅400程度)
(I)	庇上面:アルミパネル 塗膜防水	清掃のうえ、ウレタン塗膜防水
(J)	庇吊り鉄骨:亜鉛メッキ鋼管DP	下地調整(RB種)のうえDP
(K)	屋根:ステンレス板立はげ置き	清掃
(L)	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整(RA種)のうえ撥水材塗装
(M)	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗装
(N)	立上笠木:コンクリート	清掃のうえウレタン塗膜防水
(O)	庇裏:アルミパネル	清掃
(P)	シーリング 15×10	シーリング打替え
(Q)	設備取出口:天端コンクリート直均し ウレタン塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水
(R)	ケイカル板EP塗装	下地調整(RC種)のうえEP
(S)	庇鼻:アルミパネル	清掃
(T)	化粧目地 20×15 :シーリング	シーリング打替え
(U)	立上り:露出アスファルト防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)

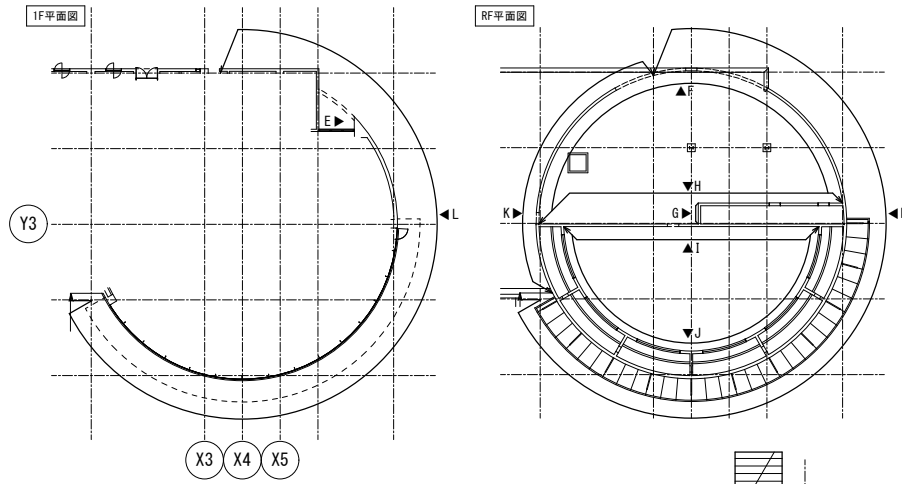
凡例	リスト	備考
	非改修範囲	
	コンクリート範囲を示す	
	鉄骨範囲を示す	



C面 南立面図



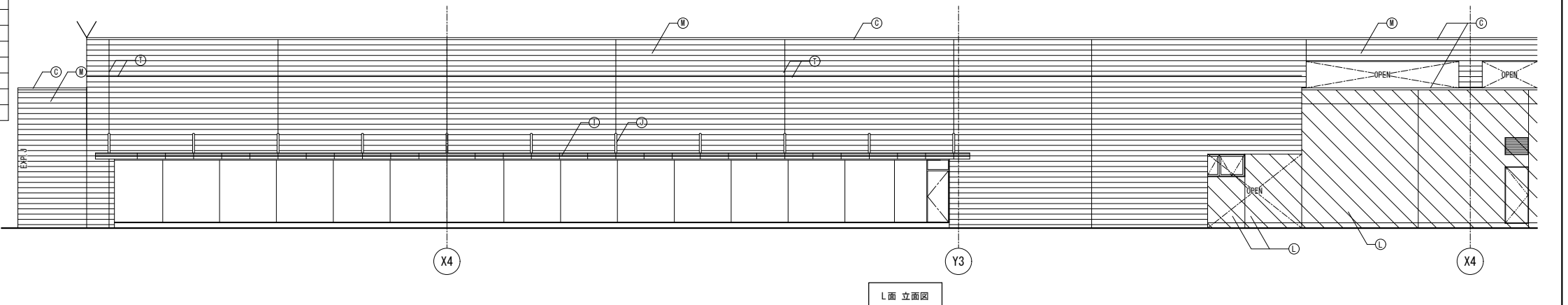
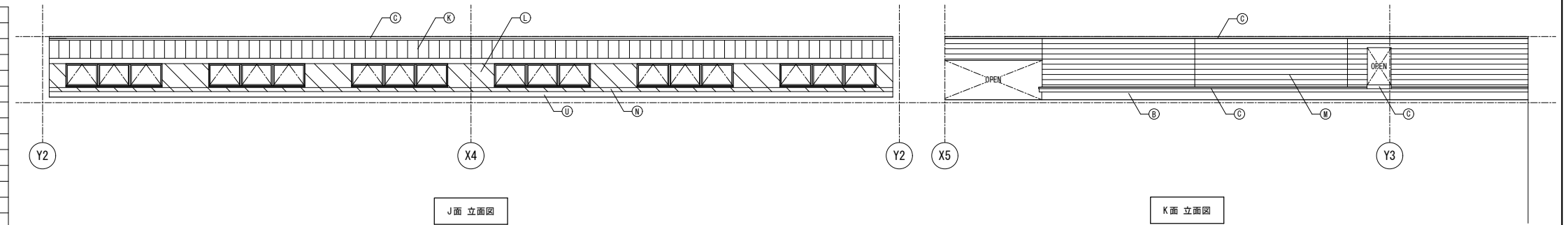
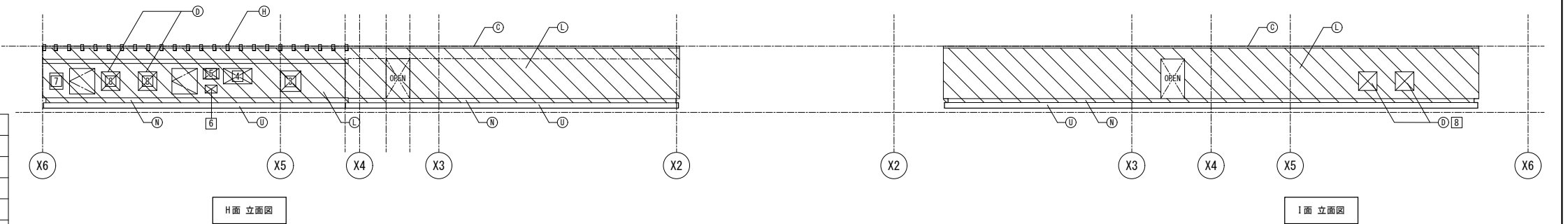
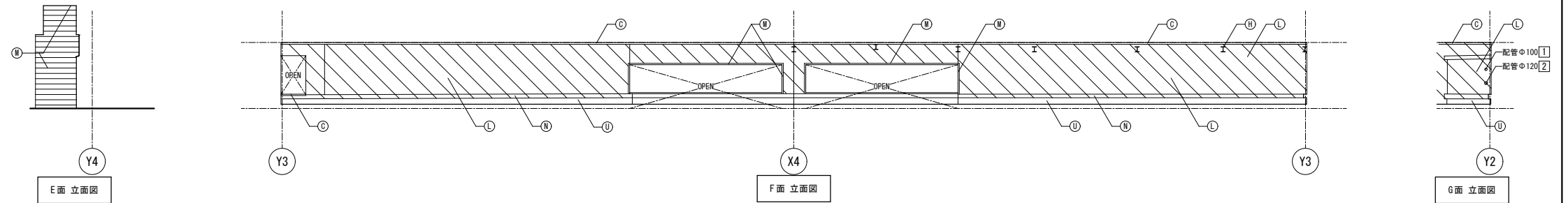
D面 西立面図



シーリング打替え

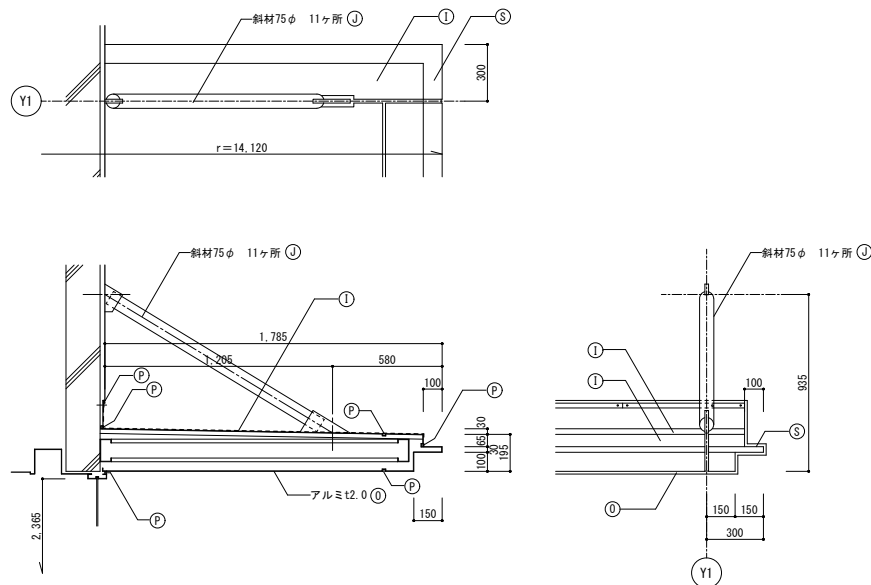
記号	箇所数	サイズ(mm)	備考
1	1	100φ	
2	1	125φ	
3	1	780×780	
4	1	1080×580	
5	1	600×400	
6	1	450×300	
7	1	500×620×D170	電気盤
8	4	700×700	フード

1) 2) J面立面図 3)~7) I面立面図 8) I, K面立面図



凡例	リスト	備考
		非改修範囲
		コンクリート範囲を示す
		鉄骨範囲を示す

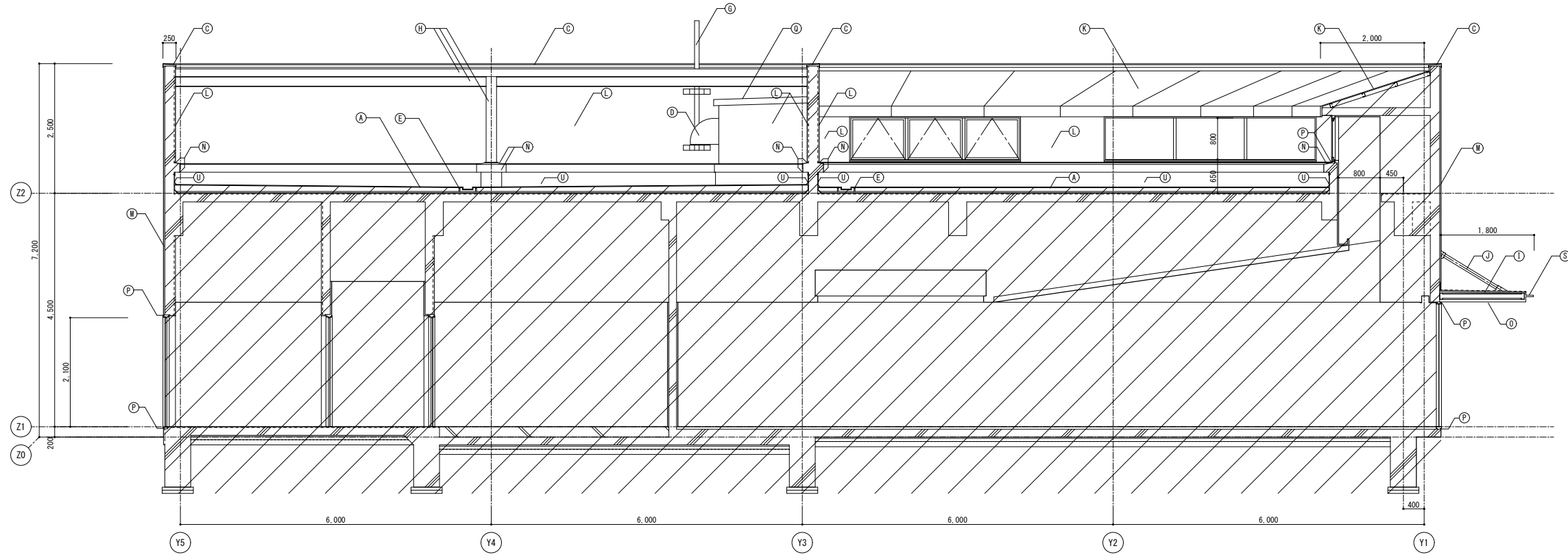
符号	改修前	改修後
Ⓐ	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
Ⓑ	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
Ⓒ	笠木:アルミ製	清掃
Ⓓ	フード:DP	下地調整(RB種)のうえDP
Ⓔ	伸縮目地:合成樹脂製(既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シーリング打ち25×15
Ⓕ	設備基礎:コンクリート	清掃のうえ、改質アスファルト塗膜防水
Ⓖ	カメラ支柱:亜鉛メッキ鋼管φ120	下地調整(RB種)のうえDP
Ⓗ	ルーバー、受け梁共:亜鉛メッキ鋼	下地調整(RB種)のうえ常温亜鉛メッキ塗装(補修、糸幅400程度)
Ⓘ	応上面:アルミパネル 塗膜防水	清掃のうえ、ウレタン塗膜防水
Ⓙ	応吊り鉄骨:亜鉛メッキ鋼管DP	下地調整(RB種)のうえDP
Ⓚ	屋根:ステンレス板立はげ葺き	清掃
Ⓛ	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整(RA種)のうえ撥水材塗装
Ⓜ	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗装
Ⓝ	立上笠木:コンクリート	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓞ	庇裏:アルミパネル	清掃
Ⓟ	シーリング 15×10	シーリング打替え
Ⓠ	設備取出口:天端コンクリート直均し ウレタン塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓡ	ケイカル板EP塗装	下地調整(RC種)のうえEP
Ⓢ	庇裏:アルミパネル	清掃
Ⓣ	化粧目地 20×15:シーリング	シーリング打替え
Ⓤ	立上り:露出アスファルト防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)



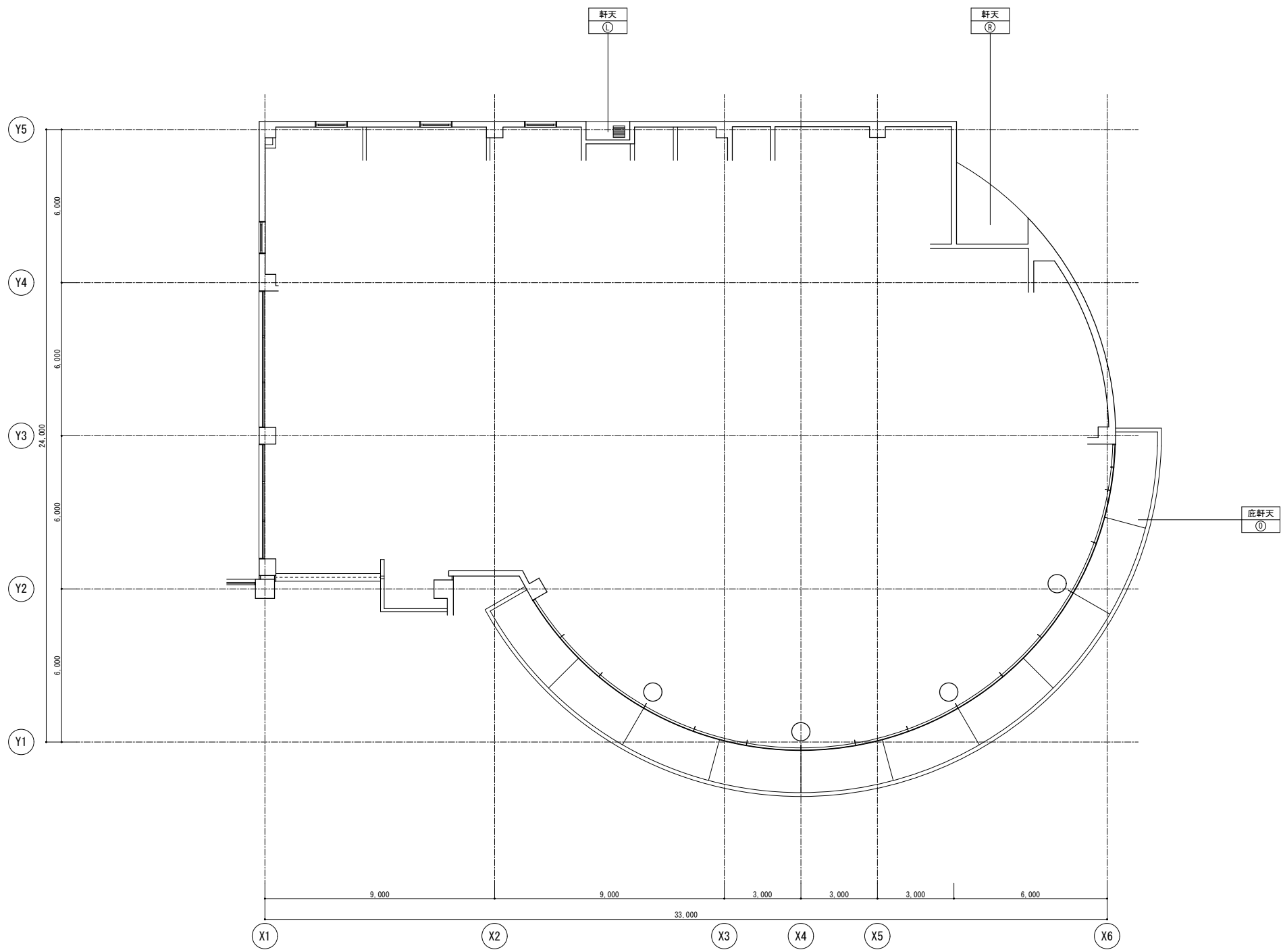
庇詳細図 1/20

凡例	リスト	備考
	非改修範囲を示す	

符号	凡例	
	改修前	改修後
(A)	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
(B)	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
(C)	笠木:アルミ製	清掃
(D)	フード:DP	下地調整(RB種)のうえDP
(E)	伸縮目地:合成樹脂製(既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シーリング打ち25×15
(F)	設備基礎:コンクリート	清掃のうえ、改質アスファルト塗膜防水
(G)	カメラ支柱:亜鉛メッキ鋼管φ120	下地調整(RB種)のうえDP
(H)	ルーバー、受け梁共:亜鉛メッキ鋼	下地調整(RB種)のうえ常温亜鉛メッキ塗装(補修、糸幅400程度)
(I)	庇上面:アルミパネル 塗膜防水	清掃のうえ、ウレタン塗膜防水
(J)	庇吊り鉄骨:亜鉛メッキ鋼管DP	下地調整(RB種)のうえDP
(K)	屋根:ステンレス板立はげ葺き	清掃
(L)	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整(RA種)のうえ撥水材塗装
(M)	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗膜
(N)	立上り笠木:コンクリート	清掃のうえウレタン塗膜防水
(O)	庇裏:アルミパネル	清掃
(P)	シーリング 15×10	シーリング打替え
(Q)	設備取出口:天端コンクリート直均し ウレタン塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水
(R)	ケイカル板EP塗装	下地調整(RC種)のうえEP
(S)	庇裏:アルミパネル	清掃
(T)	化粧目地 20×15:シーリング	シーリング打替え
(U)	立上り:露出アスファルト防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)



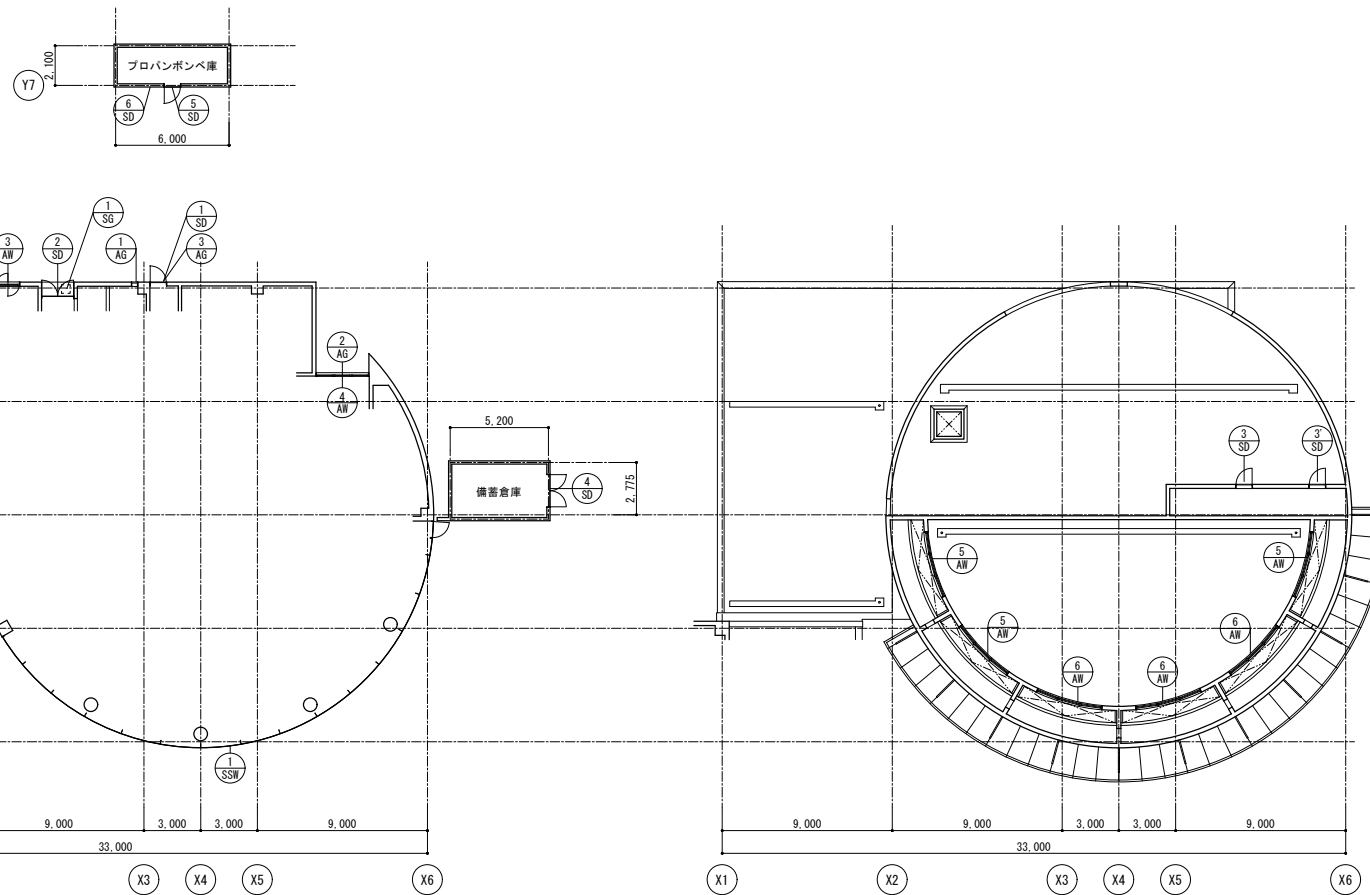
矩計図 1/50



凡例		
符号	改修前	改修後
Ⓐ	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
Ⓑ	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
Ⓒ	笠木:アルミ製	清掃
Ⓓ	フード:DP	下地調整(RB種)のうえDP
Ⓔ	伸縮目地:合成樹脂製(既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
Ⓕ	設備基礎:コンクリート	清掃のうえ、改質アスファルト塗膜防水
Ⓖ	カメラ支柱:亜鉛メッキ鋼管φ120	下地調整(RB種)のうえDP
Ⓗ	ルーバー、受け梁共:亜鉛メッキ鋼	下地調整(RB種)のうえ常温亜鉛メッキ塗装(補修、糸幅400程度)
Ⓙ	応上面:アルミパネル 塗膜防水	清掃のうえ、ウレタン塗膜防水
Ⓚ	応吊り鉄骨:亜鉛メッキ鋼管DP	下地調整(RB種)のうえDP
Ⓛ	屋根:ステンレス板立上げ葺き	清掃
Ⓛ	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整(RA種)のうえ撥水材塗装
Ⓜ	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえタイル保護塗装
Ⓝ	立上り笠木:コンクリート	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓞ	庇裏:アルミパネル	清掃
Ⓟ	シーリング 15×10	シーリング打替え
Ⓠ	設備取出口:天端コンクリート直均し ウレタン塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水
Ⓡ	ケイカル板EP塗装	下地調整(RC種)のうえEP
Ⓢ	庇裏:アルミパネル	清掃
Ⓣ	化粧目地 20×15:シーリング	シーリング打替え
Ⓤ	立上り:露出アスファルト防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)

符号	凡例	備考
■	ガラリ	

F棟、備蓄倉庫、プロパンボンベ庫

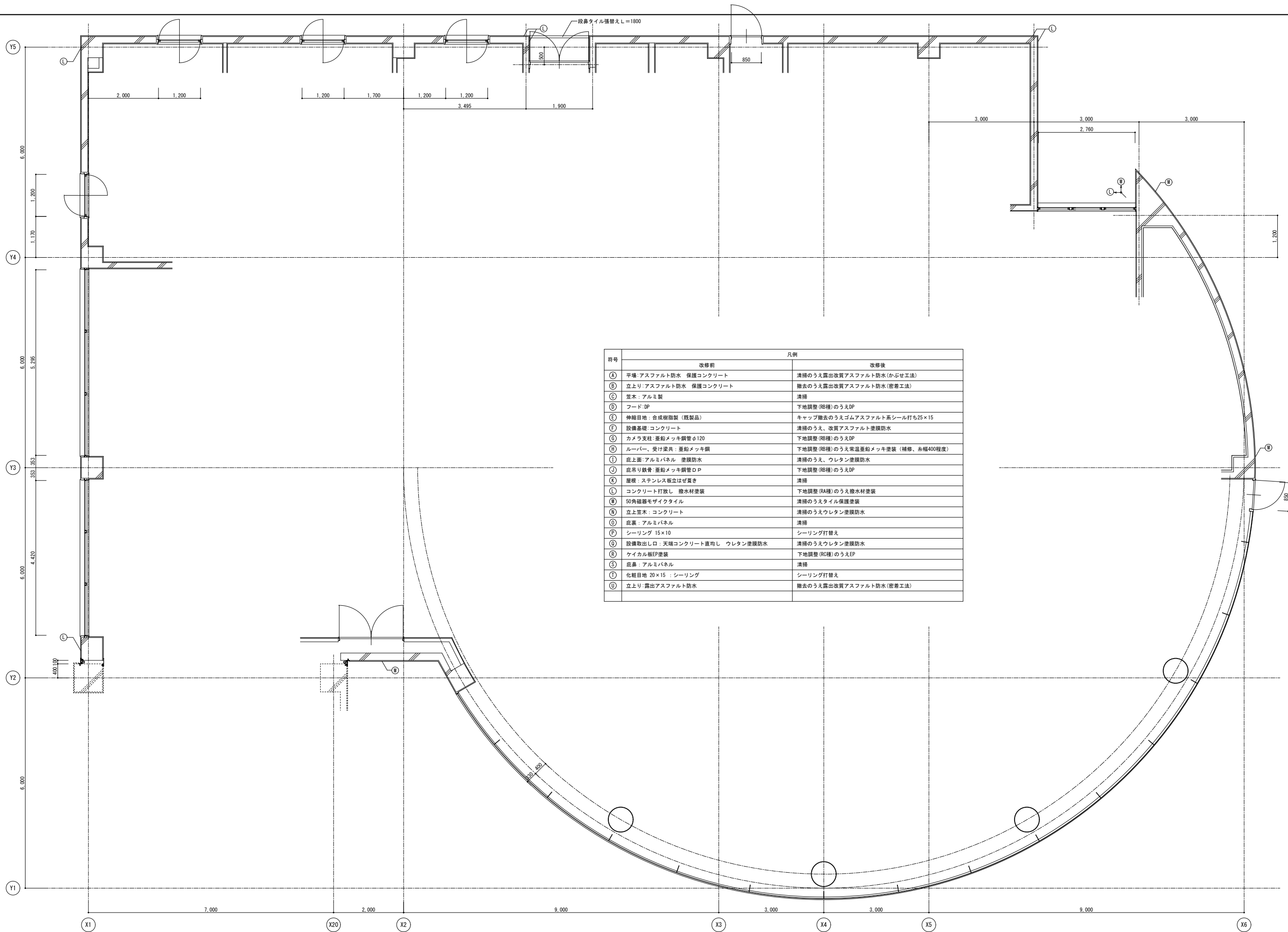


1階建具配置図 1/200

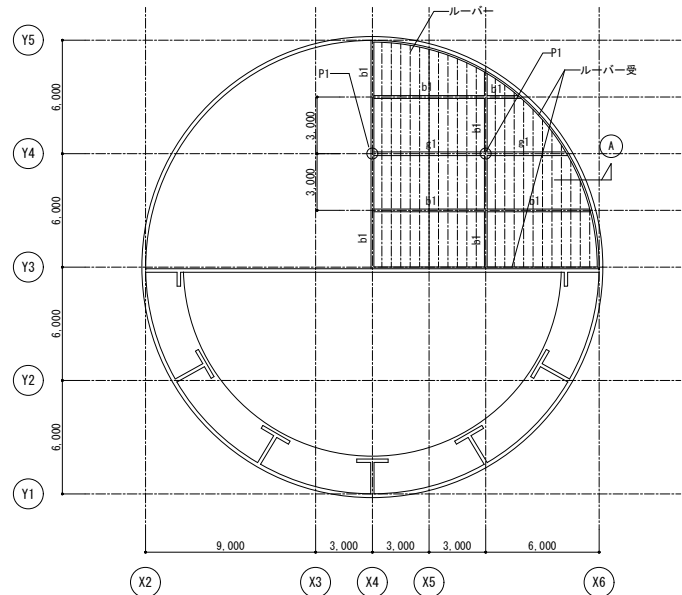
2階建具配置図 1/200

符号 (材質)	使用 箇所数	使用場所	形式機構	見込寸法 程度 板厚	内法寸法(W×H)	ガラス	材質程度・仕上	特殊金物・付属品	備考	符号 (材質)	使用 箇所数	使用場所	形式機構	見込寸法 程度 板厚	内法寸法(W×H)	ガラス	材質程度・仕上	特殊金物・付属品	備考
① AW	1	F棟 1階 喫茶ラウンジ	※F: 嵌殺し窓 P: パネルを示す 嵌殺し窓 ランマ挿煙窓	2,015	5,330×2,900	フロート 8 「フロート」5 (ランマ)	アルミ電解着色	オペレータ機構付		⑥ SD	1	プロパンボンベ庫	消火器ボックス		550×680×D210	-	スチールOP		
② AW	1	F棟 1階 喫茶ラウンジ	嵌殺し窓 ランマ挿煙窓	2,015	4,480×2,900	フロート 8 「フロート」5 (ランマ)	アルミ電解着色	オペレータ機構付											
③ AW	4	F棟 1階 運転手控室等 休憩室 食堂事務室	壁軸回転窓		1,200×1,200	フロート 6	アルミ電解着色		水切り取替え L=1200 1か所	① SSW	1	F棟 1階 食堂ホール	嵌殺しガラススクリーン 片開き扉扉 ランマパネル付		31,850×2,390	フロート 10 「フロート」8 (扉)	ステンレスパフ仕上		
④ AW	1	F棟 1階 厨房	外側し挿煙窓	70	2,760×800	網・透 6.8	アルミ電解着色	オペレータ機構付											
⑤ AW	3	F棟 2階 屋上	突き出し挿煙窓	70	3,600×800	網・透 6.8	アルミ電解着色	オペレータ機構付		① AG	1	F棟 1階 男子便所(2)	アルミガラリ		300×300	-	アルミ電解着色	ステンレス防虫ネット	
⑥ AW	3	F棟 2階 屋上	嵌殺し窓	70	3,600×800	網・透 6.8	アルミ電解着色			② AG	2	F棟 1階 運転手控室 1階 食品庫	アルミガラリ		450×300	-	アルミ電解着色	ステンレス防虫ネット	
										③ AG	1	F棟 1階 ゴミ置場	アルミガラリ		1,000×600	-	アルミ電解着色	ステンレス防虫ネット	
① SD	1	F棟 ゴミ置場	片開きフラッシュ扉		750×2,100	-	スチール SOP												
② SD	1	F棟 廊下	片開き扉 ランマ挿煙窓	2,100	1,700×2,775	透明 6.8	スチール SOP	オペレータ機構付 押引手		① SG	1	F棟 1階 通用口軒天	銅製ルーバー換気口		450×450	-	B-AP	ステンレス防虫ネット	
③ SD	2	F棟 2階 屋上	片開きフラッシュ扉		960×960	-	スチール SOP		SD-3 シリンダー取替え										
④ SD	1	備蓄倉庫	片開きフラッシュ扉		2,200×3,000	-	スチール SOP												
⑤ SD	1	プロパンボンベ庫	片開きフラッシュ扉		850×1,800	-	スチール SOP												



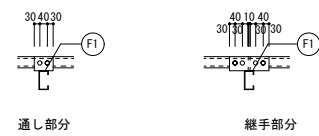


符号	凡例	
	改修前	改修後
A	平場:アスファルト防水 保護コンクリート	清掃のうえ露出改質アスファルト防水(かぶせ工法)
B	立上り:アスファルト防水 保護コンクリート	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)
C	笠木:アルミ製	清掃
D	フード:DP	下地調整(RB種)のうえDP
E	伸縮目地:合成樹脂製(既製品)	キャップ撤去のうえゴムアスファルト系シール打ち25×15
F	設備基礎:コンクリート	清掃のうえ、改質アスファルト塗膜防水
G	カメラ支柱:亜鉛メッキ鋼管φ120	下地調整(RB種)のうえDP
H	ルーバー、受け梁共:亜鉛メッキ鋼	下地調整(RB種)のうえ常温亜鉛メッキ塗装(補修、系幅400程度)
I	庇上面:アルミパネル 塗膜防水	清掃のうえ、ウレタン塗膜防水
J	庇吊り鉄骨:亜鉛メッキ鋼管DP	下地調整(RB種)のうえDP
K	屋根:ステンレス板立はげ葺き	清掃
L	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整(RA種)のうえ撥水材塗装
M	50角磁器モザイクタイル	清掃のうえスタイル保護塗装
N	立上り笠木:コンクリート	清掃のうえウレタン塗膜防水
O	庇裏:アルミパネル	清掃
P	シーリング 15×10	シーリング打替え
Q	設備取出口:天端コンクリート直均し ウレタン塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水
R	ケイカル板EP塗装	下地調整(RC種)のうえEP
S	庇鼻:アルミパネル	清掃
T	化粧目地 20×15 :シーリング	シーリング打替え
U	立上り:露出アスファルト防水	撤去のうえ露出改質アスファルト防水(密着工法)

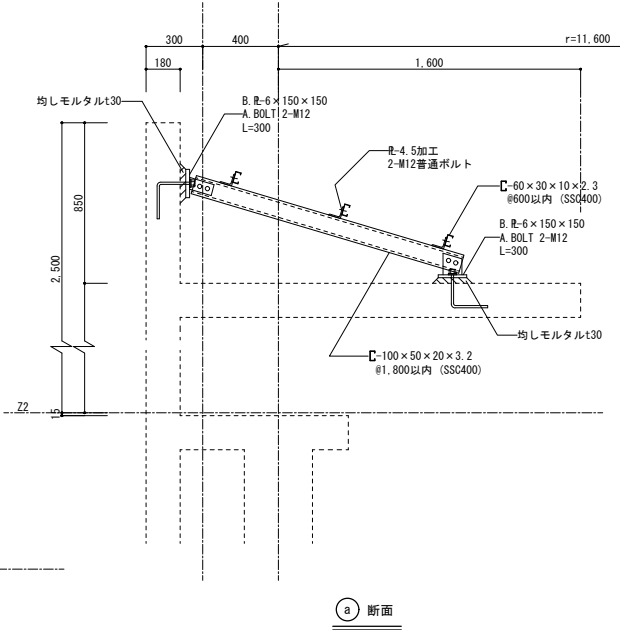


符号	部材断面	材質	備考
P1	H-294×200×8×12	SS400	
g1	H-194×150×6×9	SS400	
b1	H-194×150×6×9	SS400	GR-6 2-M20
ルーバー	□-150×50×3.2 #500	STR400	
ルーバー受	L-100×100×7	SS400	A.BOLT 1-M16 ダブルナット締め

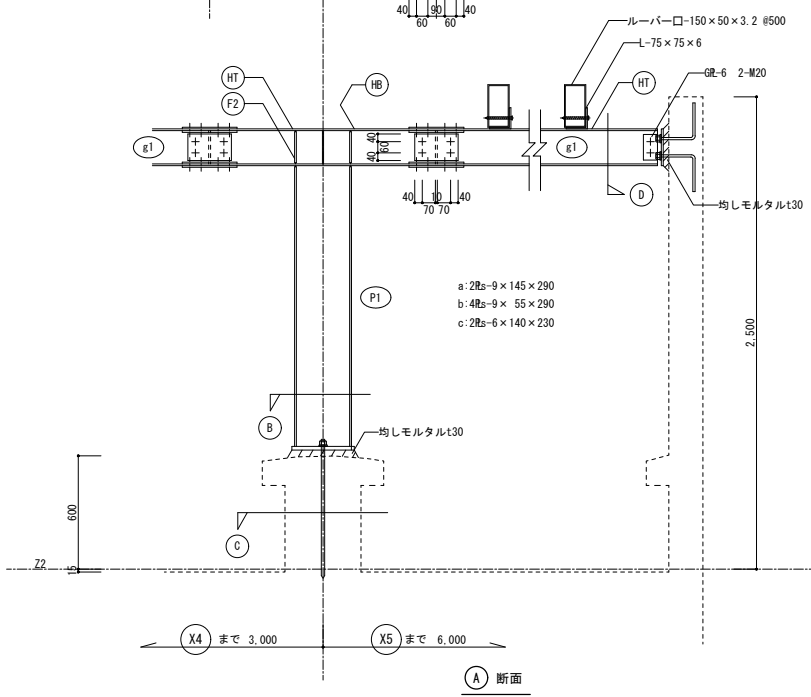
鉄骨継手位置 600 鉄骨継手位置



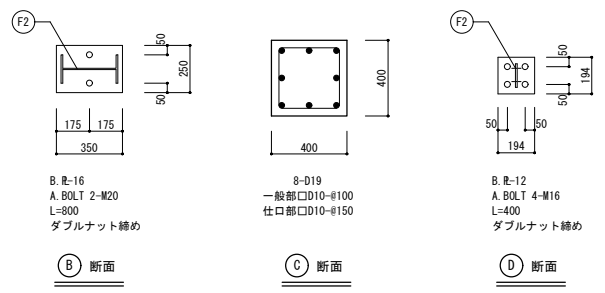
母屋取付詳細図 1/20



A 断面



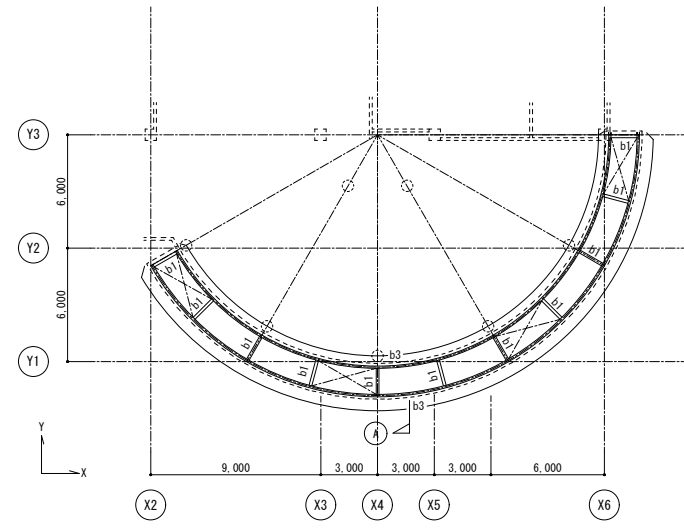
A 断面



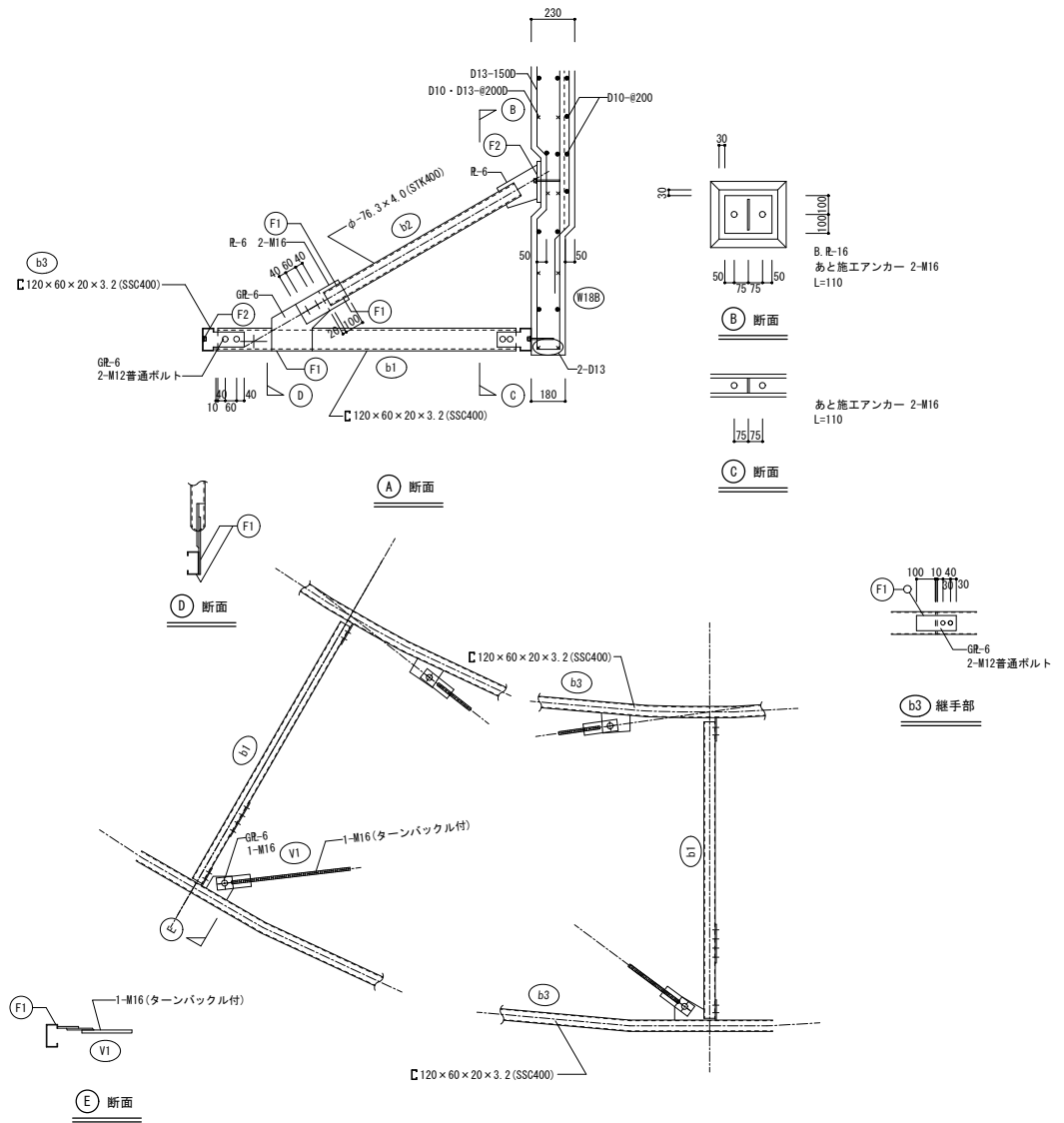
B 断面

C 断面

D 断面



キープラン 1/200 ※△はV1を示す



A 断面

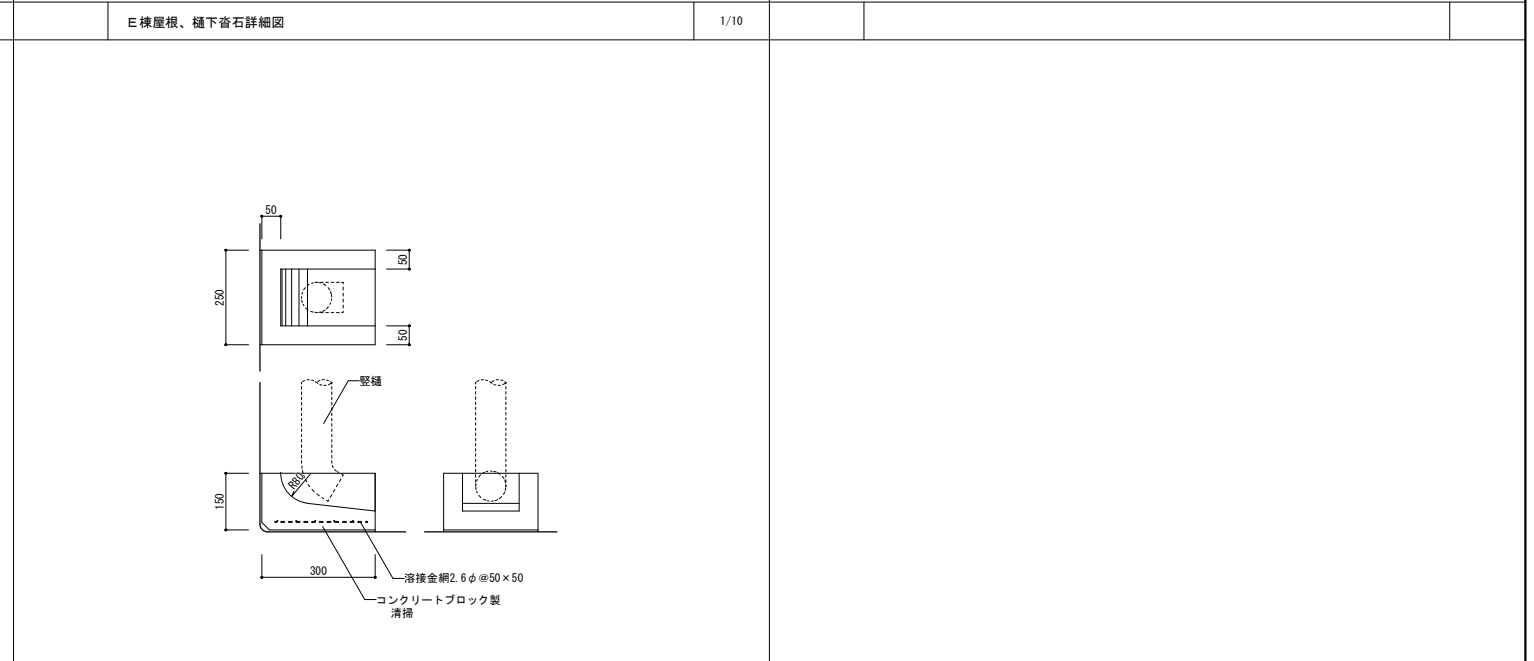
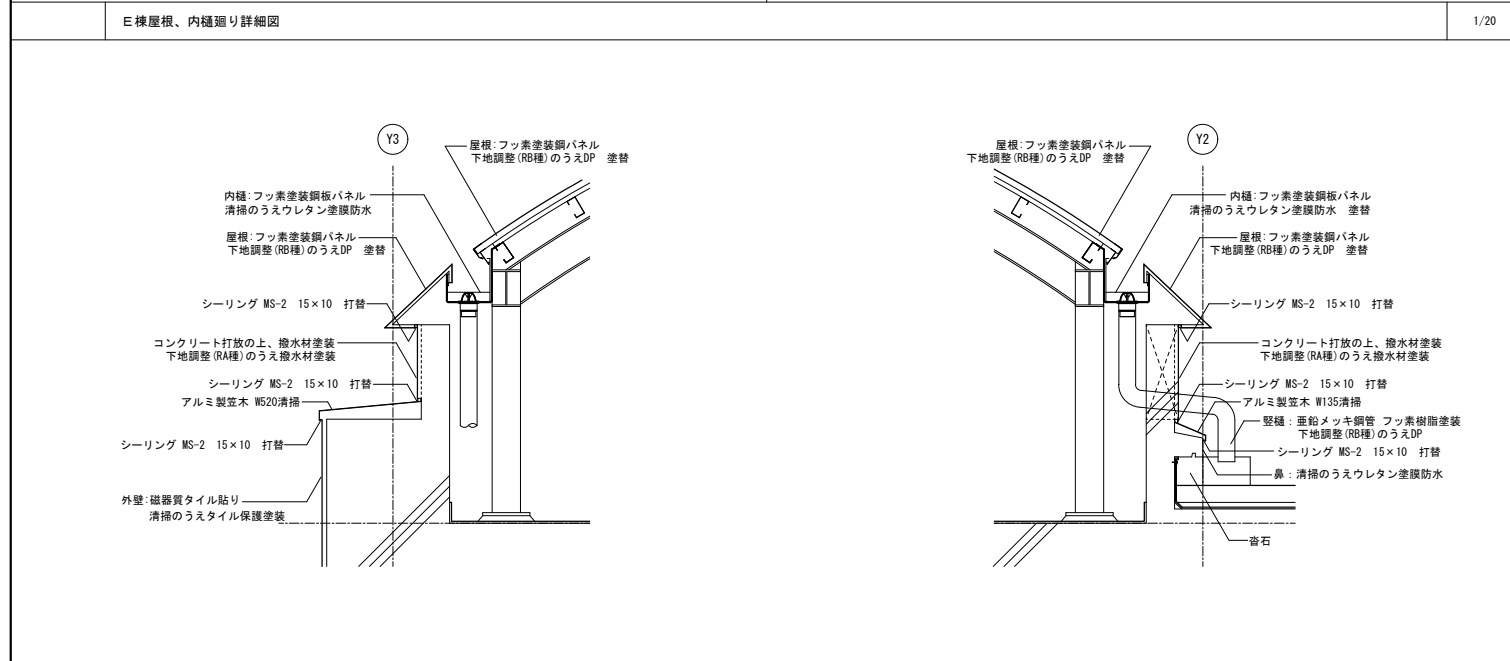
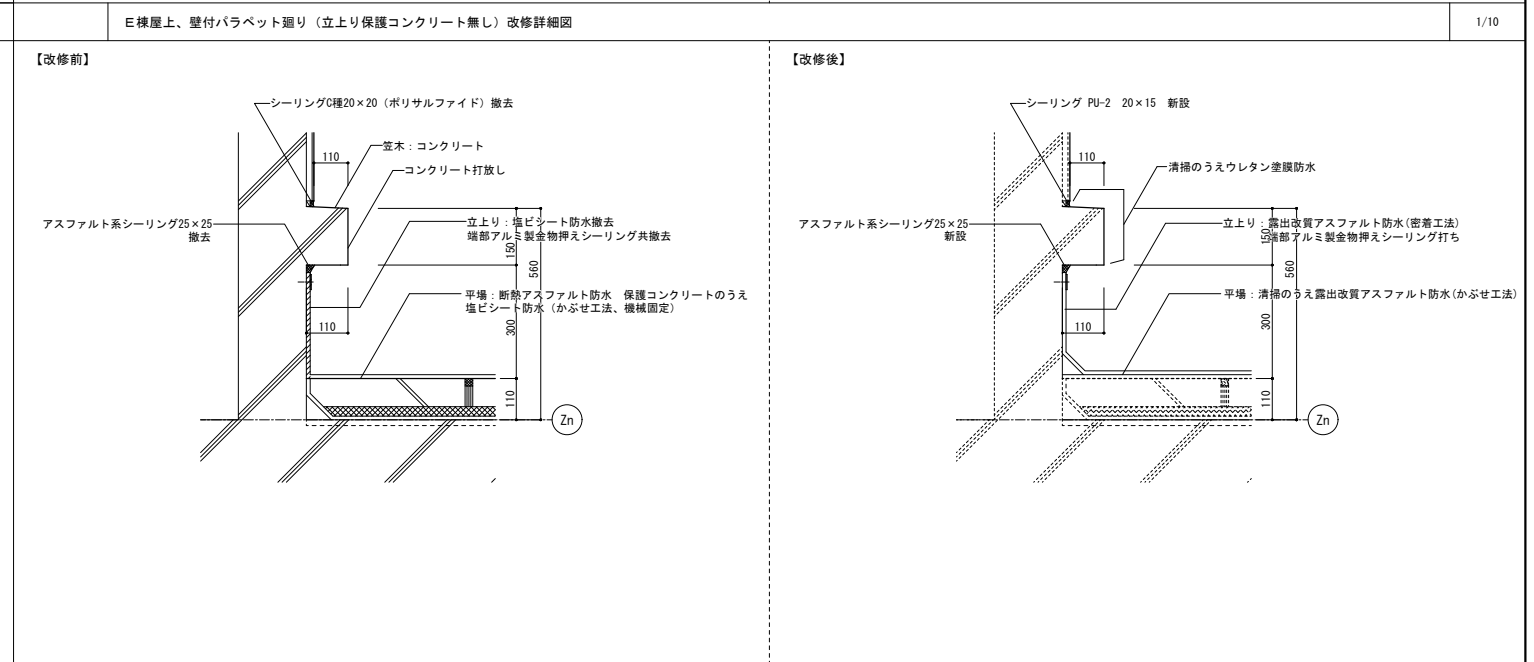
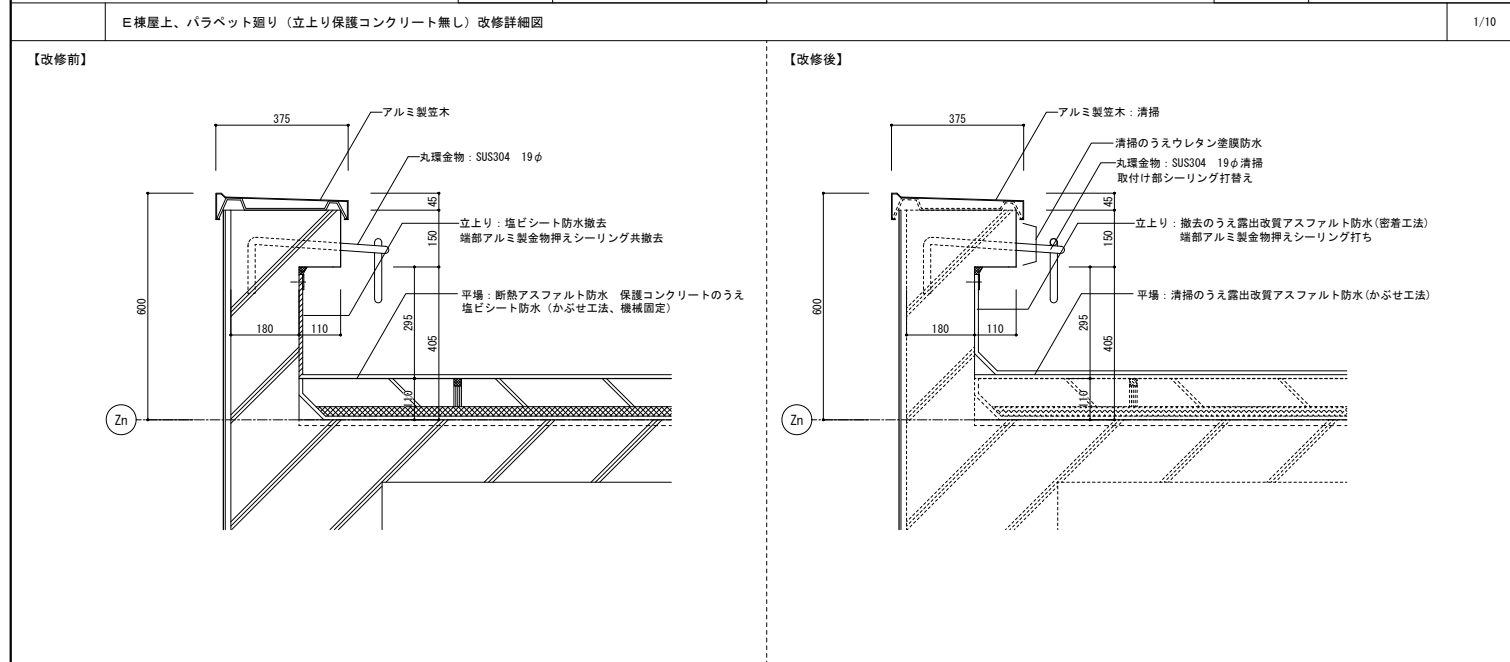
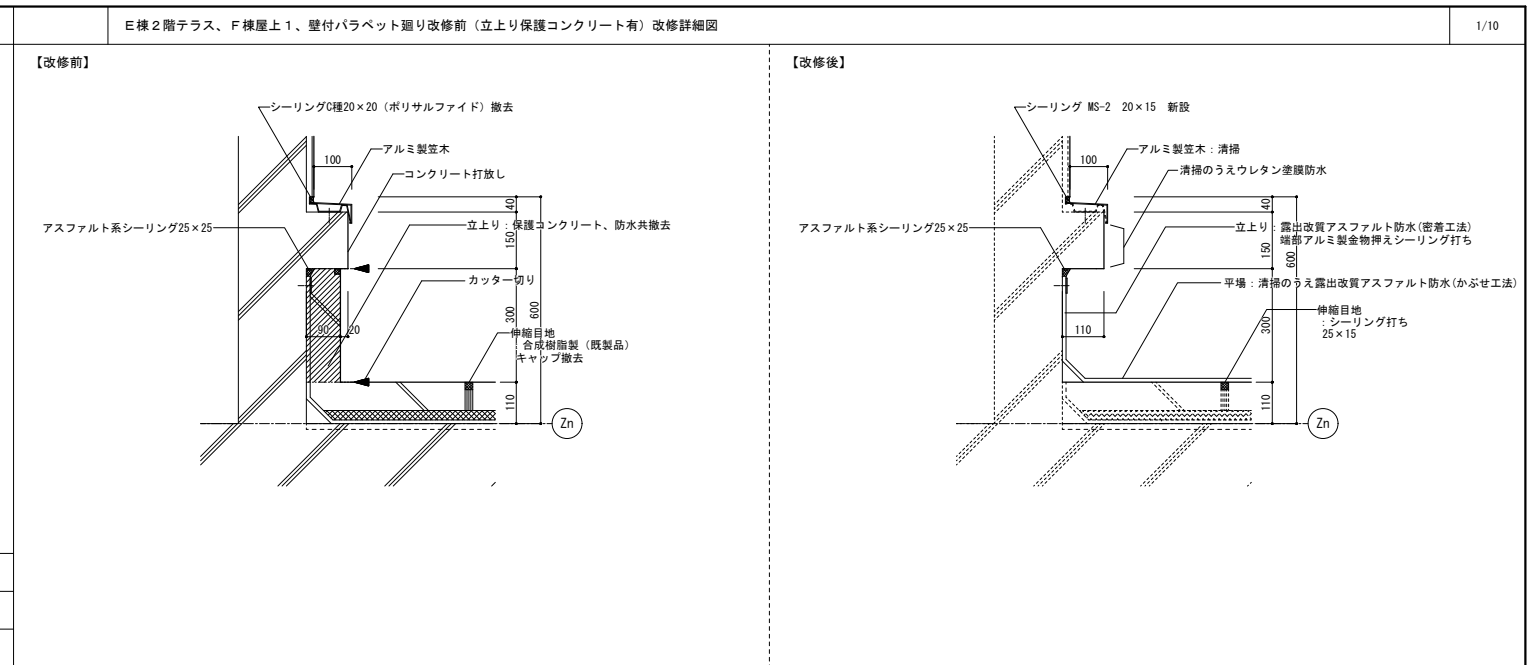
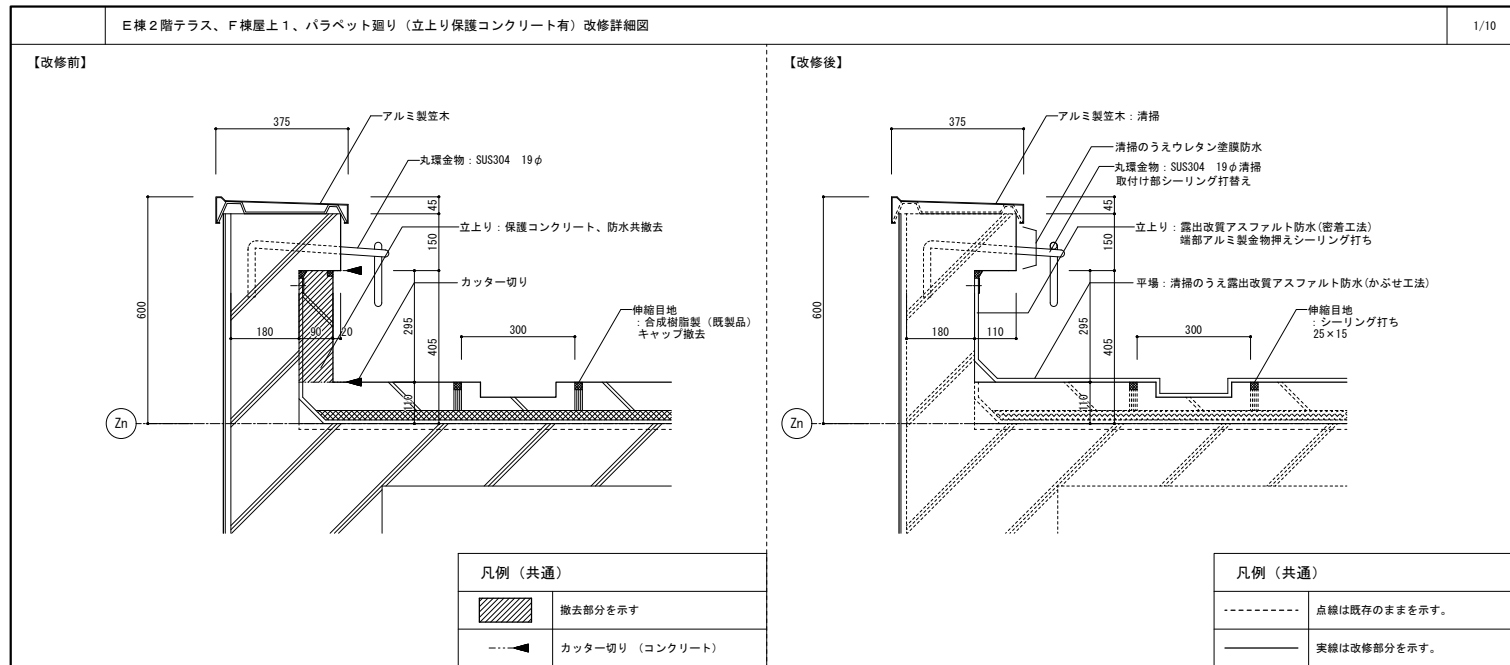
D 断面

E 断面

B 断面

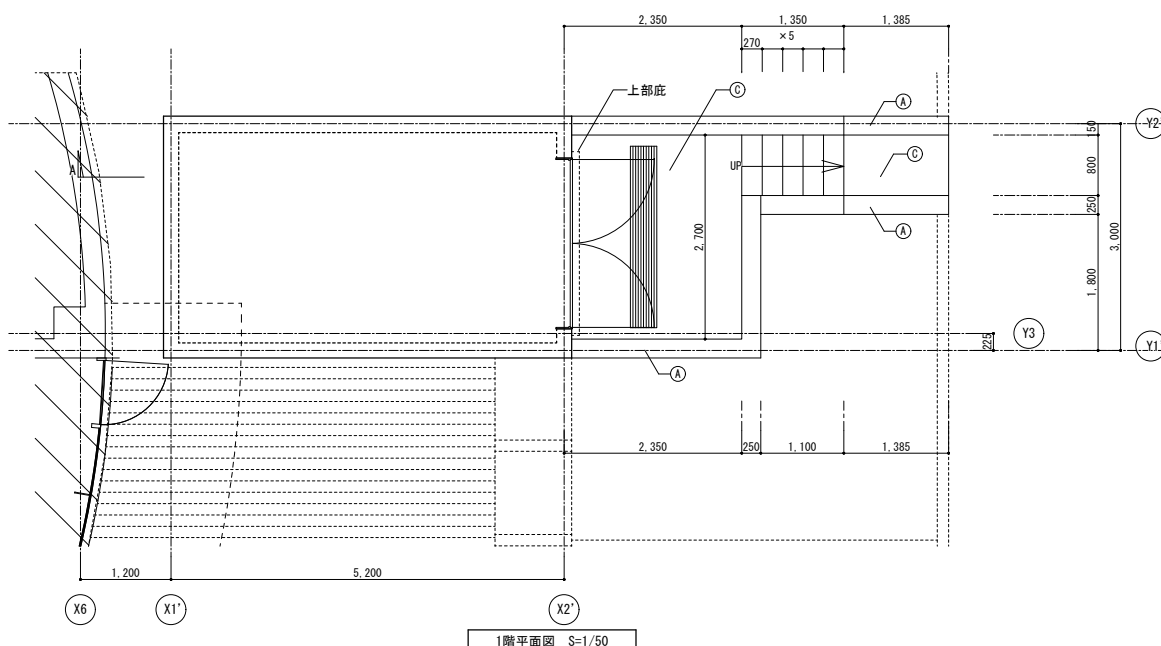
C 断面

b3 継手部

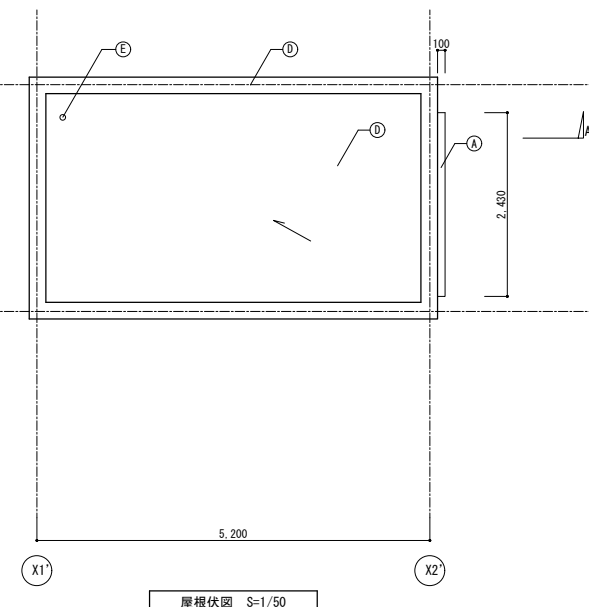


設計者	株式会社 緑企画設計
監理者	株式会社 緑企画設計
製図者	株式会社 緑企画設計
承認者	株式会社 緑企画設計

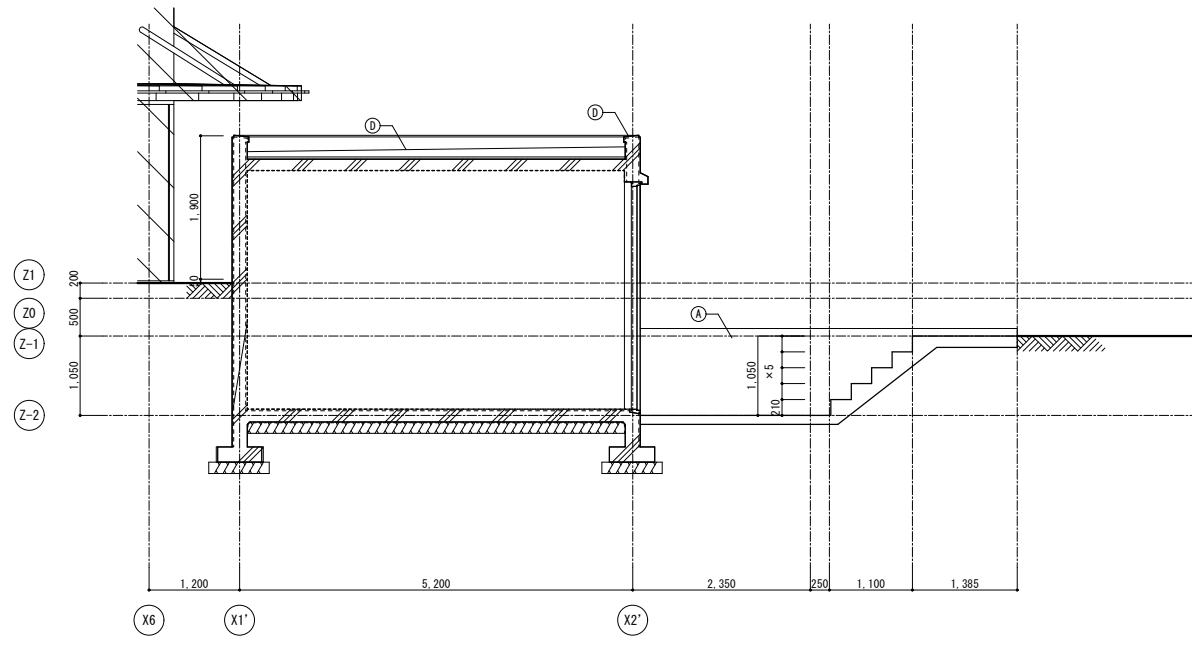
業務名称	JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務	工事名称	JICA中国 外壁改修工事	設計年月	令和3年 2月
図面名称	部分詳細図	図面番号	A-35	縮尺	1/10, 20



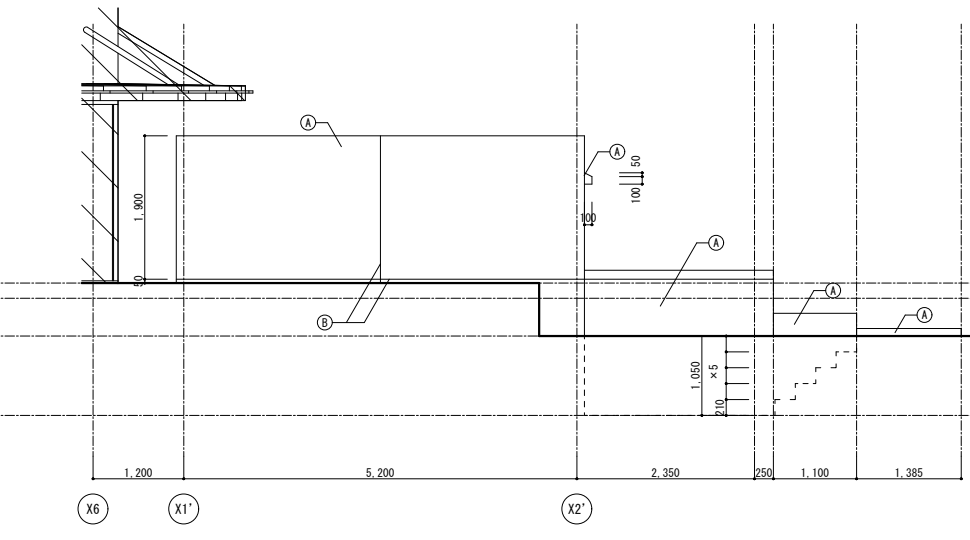
1階平面図 S=1/50



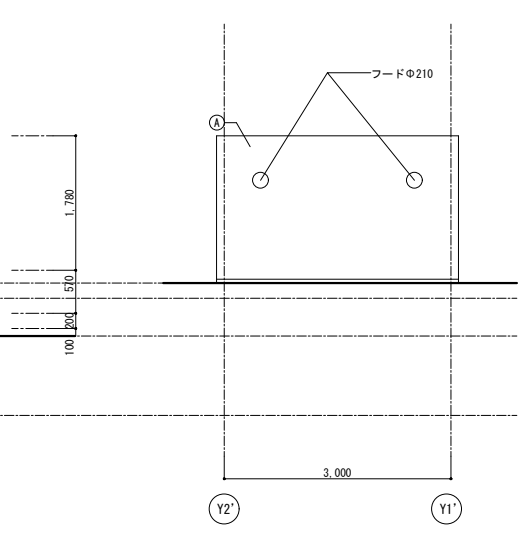
屋根伏図 S=1/50



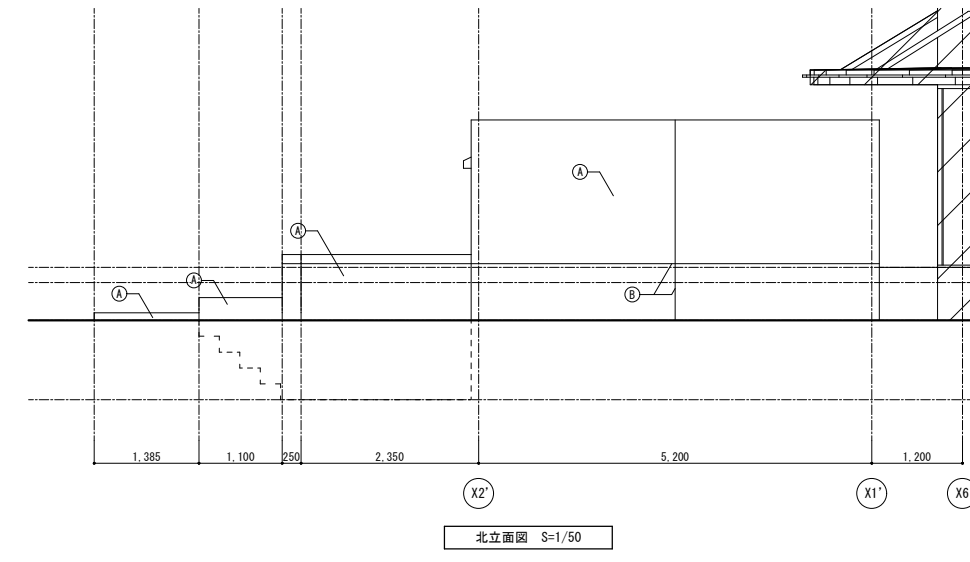
A-A断面図 S=1/50



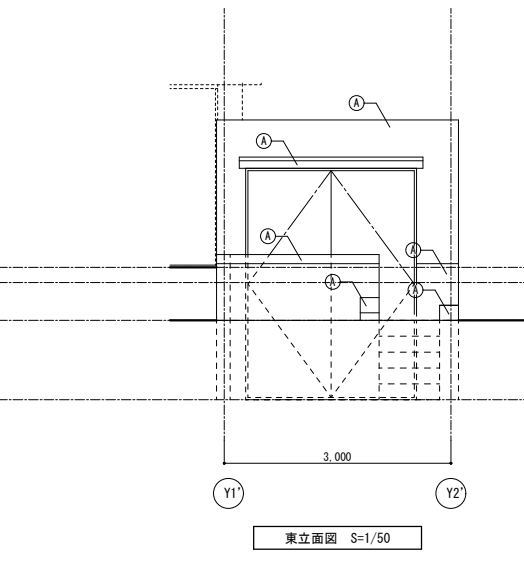
南立面図 S=1/50



西立面図 S=1/50



北立面図 S=1/50



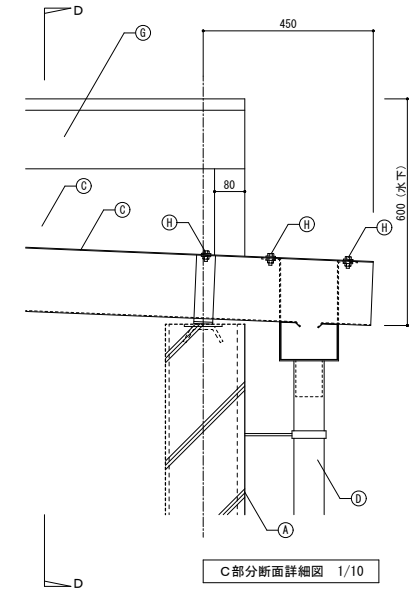
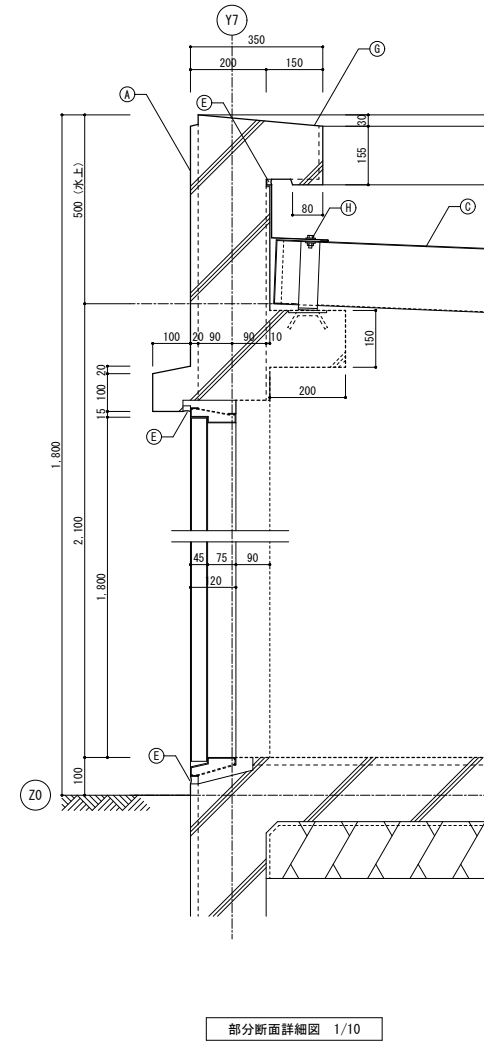
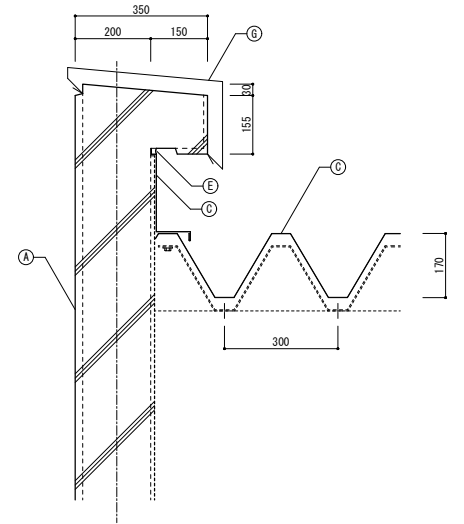
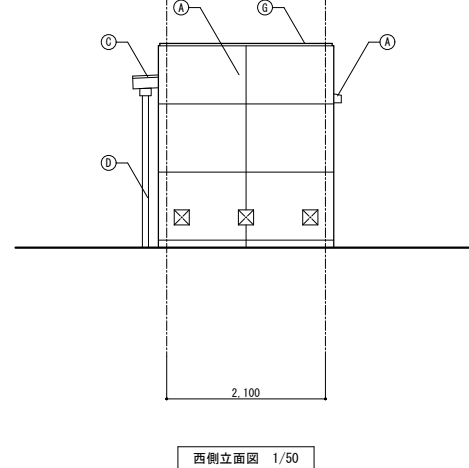
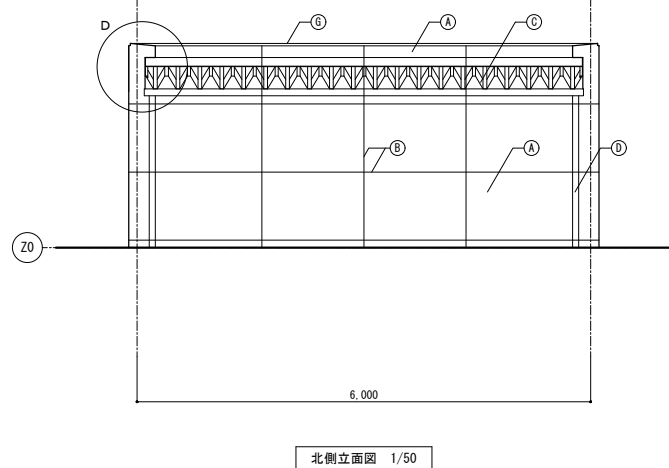
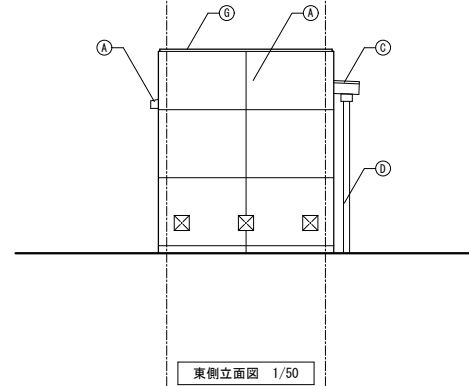
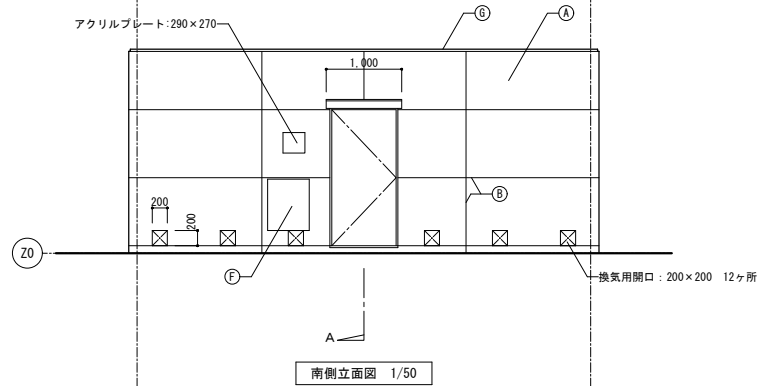
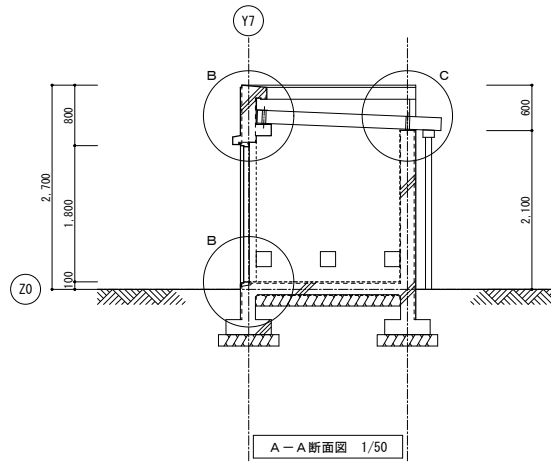
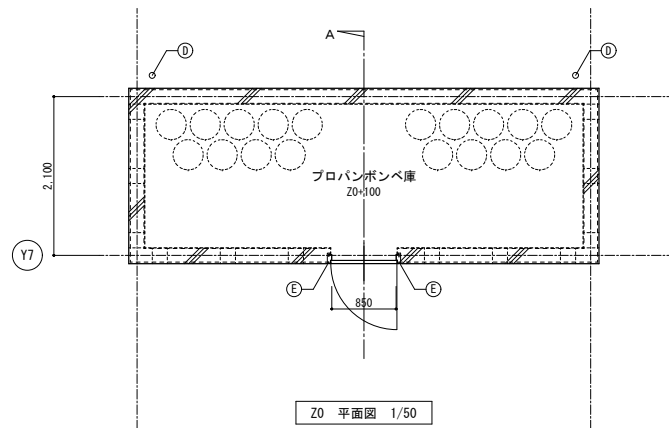
東立面図 S=1/50

記号	改修前	改修方法
(A)	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
(B)	化粧目地 20×15 シーリング	シーリング打替え
(C)	モルタル塗り	清掃
(D)	コンクリート直均し 塗膜防水	清掃のうえウレタン塗膜防水
(E)	排水ドレイン φ75	下地調整 (RB種) のうえDP

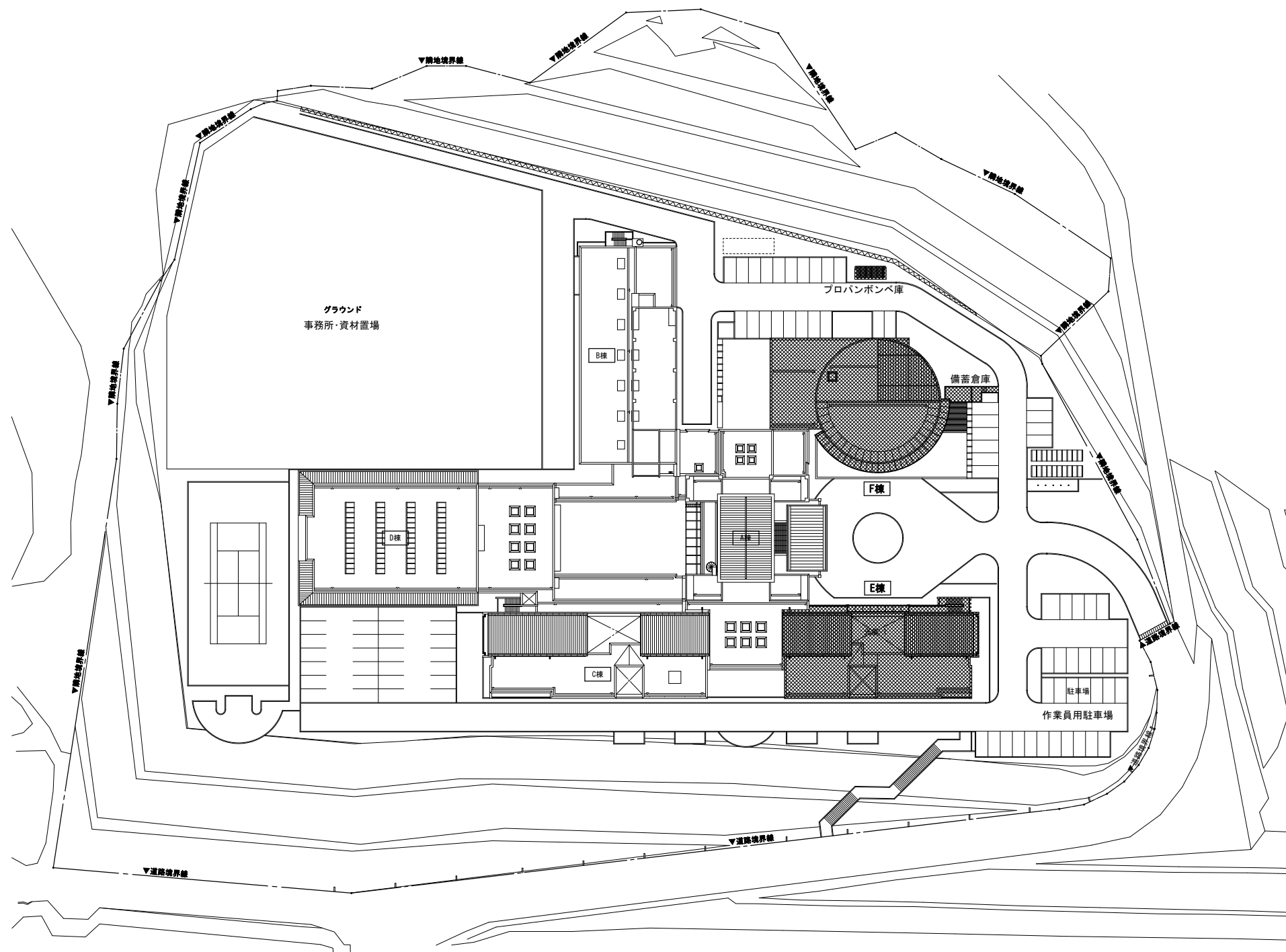
業務名称	JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務
設計年月	令和3年 2月
図面名称	JICA中国 外壁改修工事 備蓄倉庫 詳細図
縮尺	1/50
図面番号	A - 36

株式会社 緑企画設計 広島支店  
 一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号  
 一級建築士 (大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之

記号	凡例	
	改修前	改修方法
(A)	コンクリート打放し 撥水材塗装	下地調整 (RA種) のうえ撥水材塗装
(B)	化粧目地 20×15 : シーリング	シーリング打替え
(C)	フッ素塗装鋼板 折板	下地調整 (RB種) のうえDP
(D)	壁柱 : カラーVPΦ80	撤去のうえカラーVP Φ75
(E)	シーリング 10×10	シーリング打替え
(F)	消火器箱 W50×H680×D210	下地調整 (RB種) のうえDP
(G)	コンクリート打放し 撥水材塗装	清掃のうえウレタン塗膜防水
(H)	折板 留めボルト	清掃のうえ樹脂キャップ (シーリング材充填)



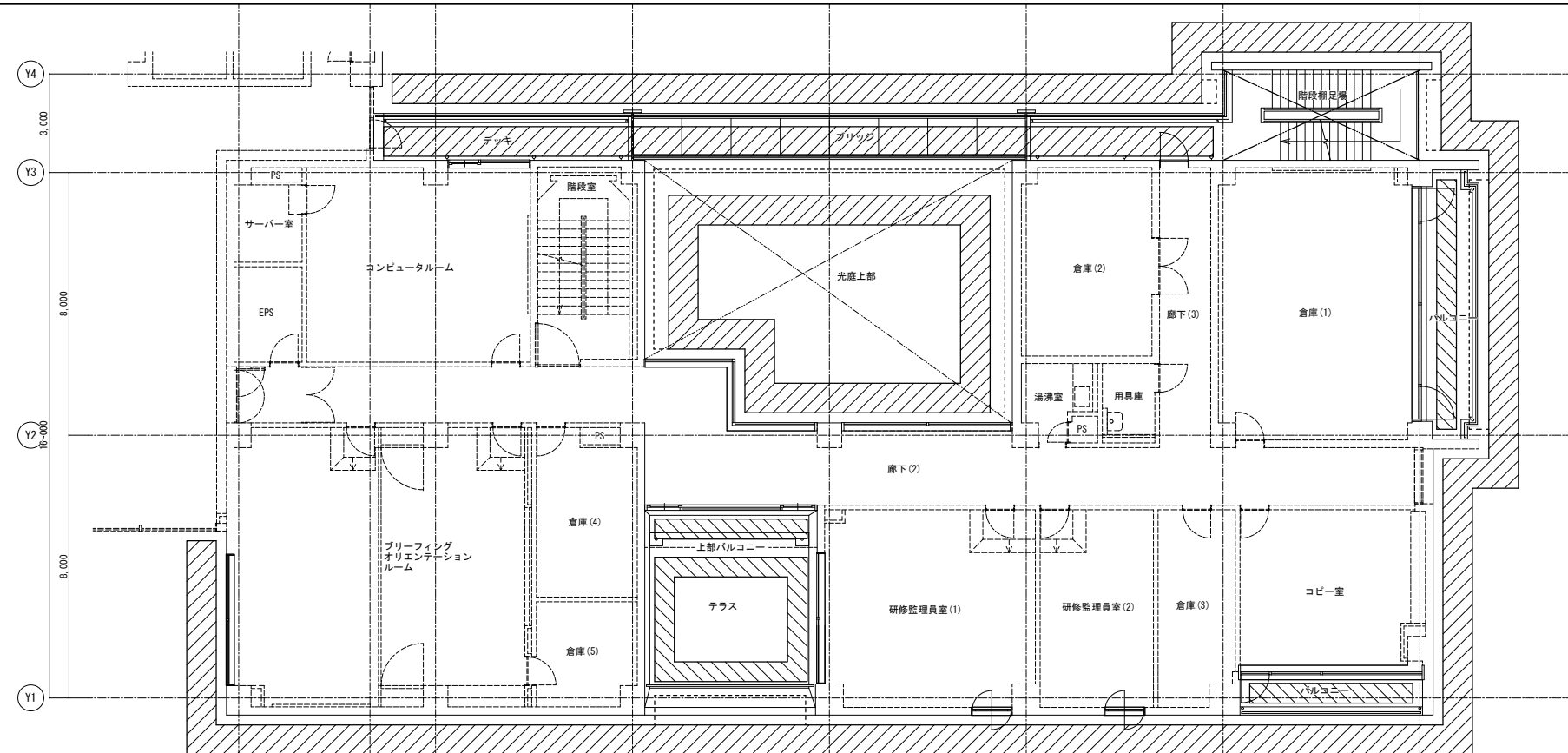
記 事	業務名称	JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務	工事名称	JICA中国 外壁改修工事	設計年月	令和3年 2月
	図面名称	株式会社 緑企画設計 広島支店 一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士 (大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之	図面番号	プロパンボンベ庫 詳細図	縮尺	1/50, 10
					図面番号	A - 37



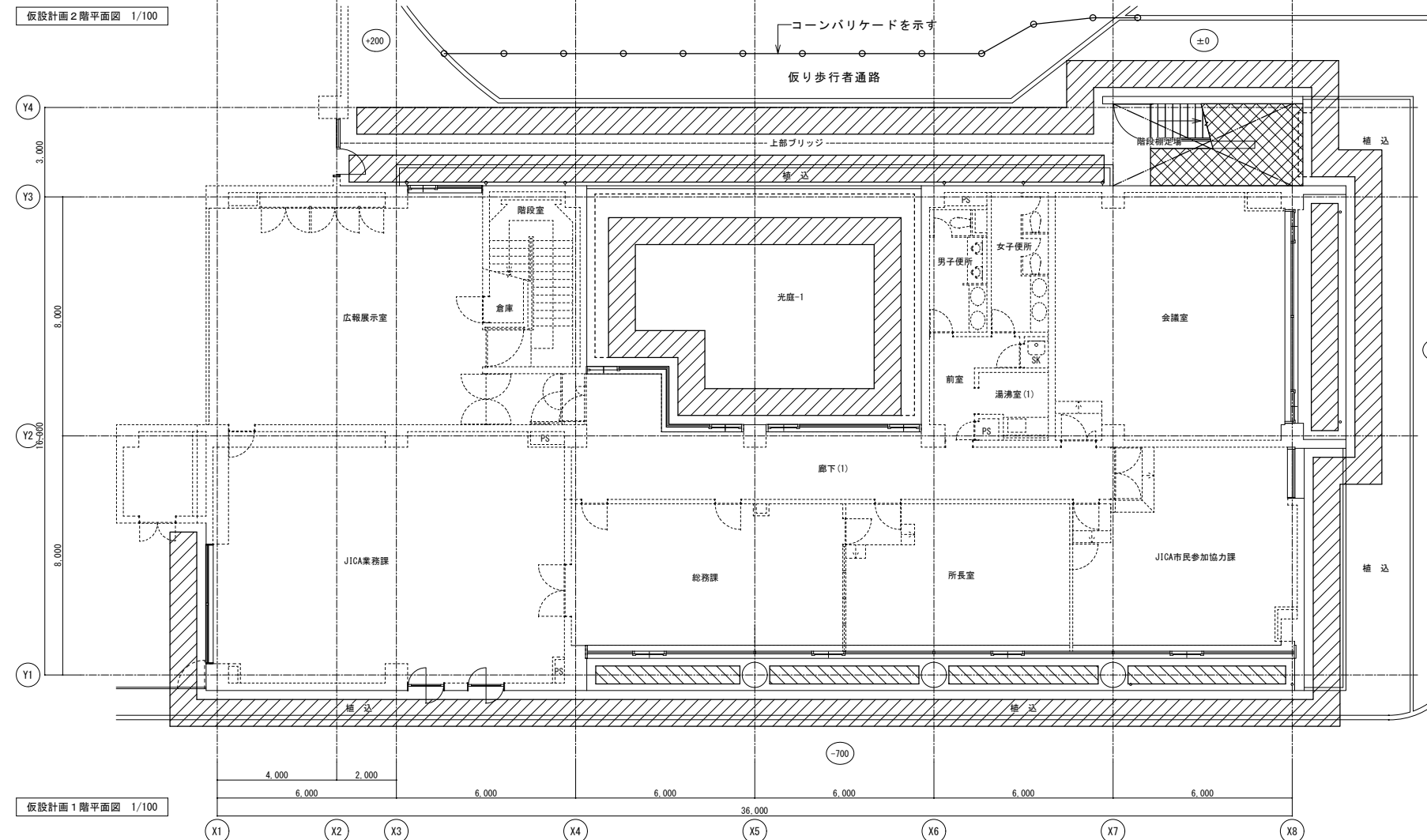
仮設計画配置図 1/500

■ 工事対象建物を示す

記 事	業務名称 JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務		工事名称 JICA中国 外壁改修工事		設計年月 令和3年 2月
	株式会社 緯企画設計 広島支店 一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士 (大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之		図面名称 仮設計画 配置図 (参考図)		図面番号 A - 38
			縮尺 1/500		



仮設計画2階平面図 1/100



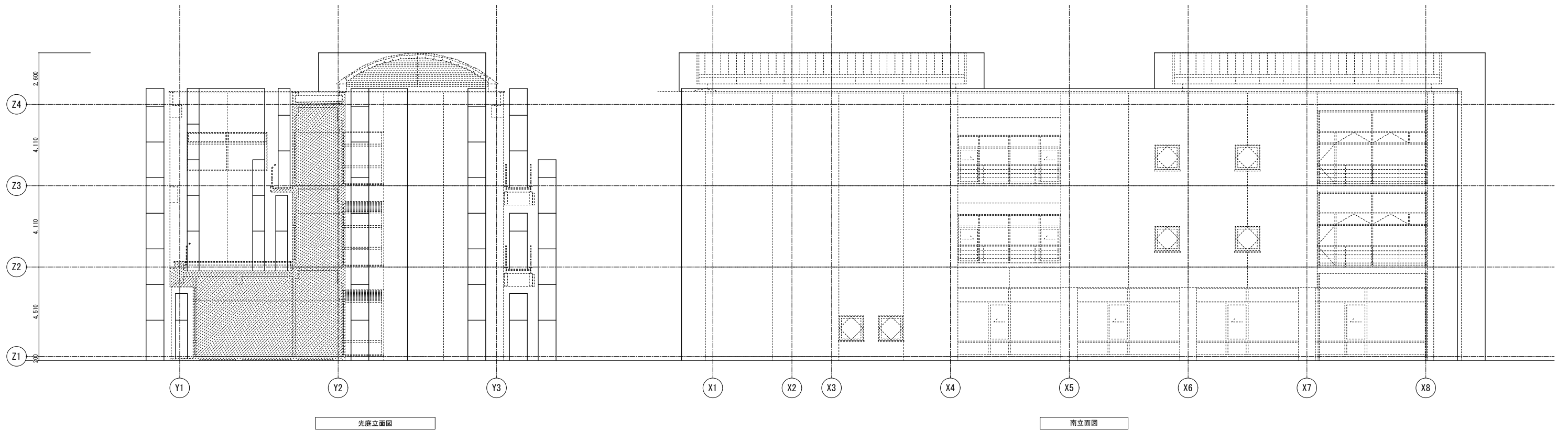
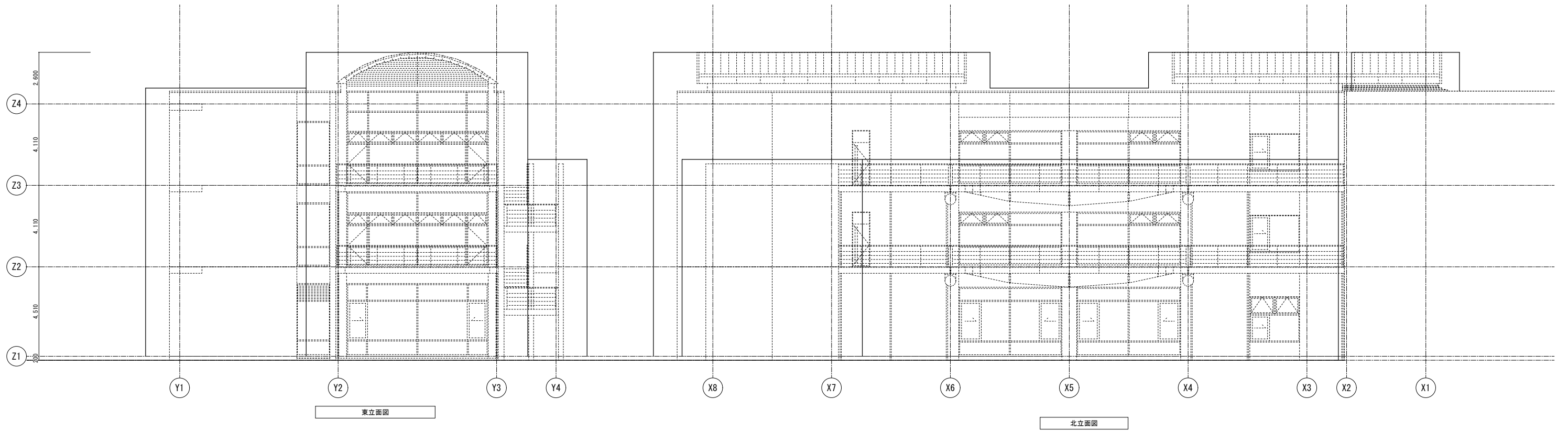
仮設計画1階平面図 1/100

- 外部足場W=900を示す
- 外部足場W=600を示す
- ブラケット足場を示す
- アスベスト除去時 負圧隔離養生部分を示す

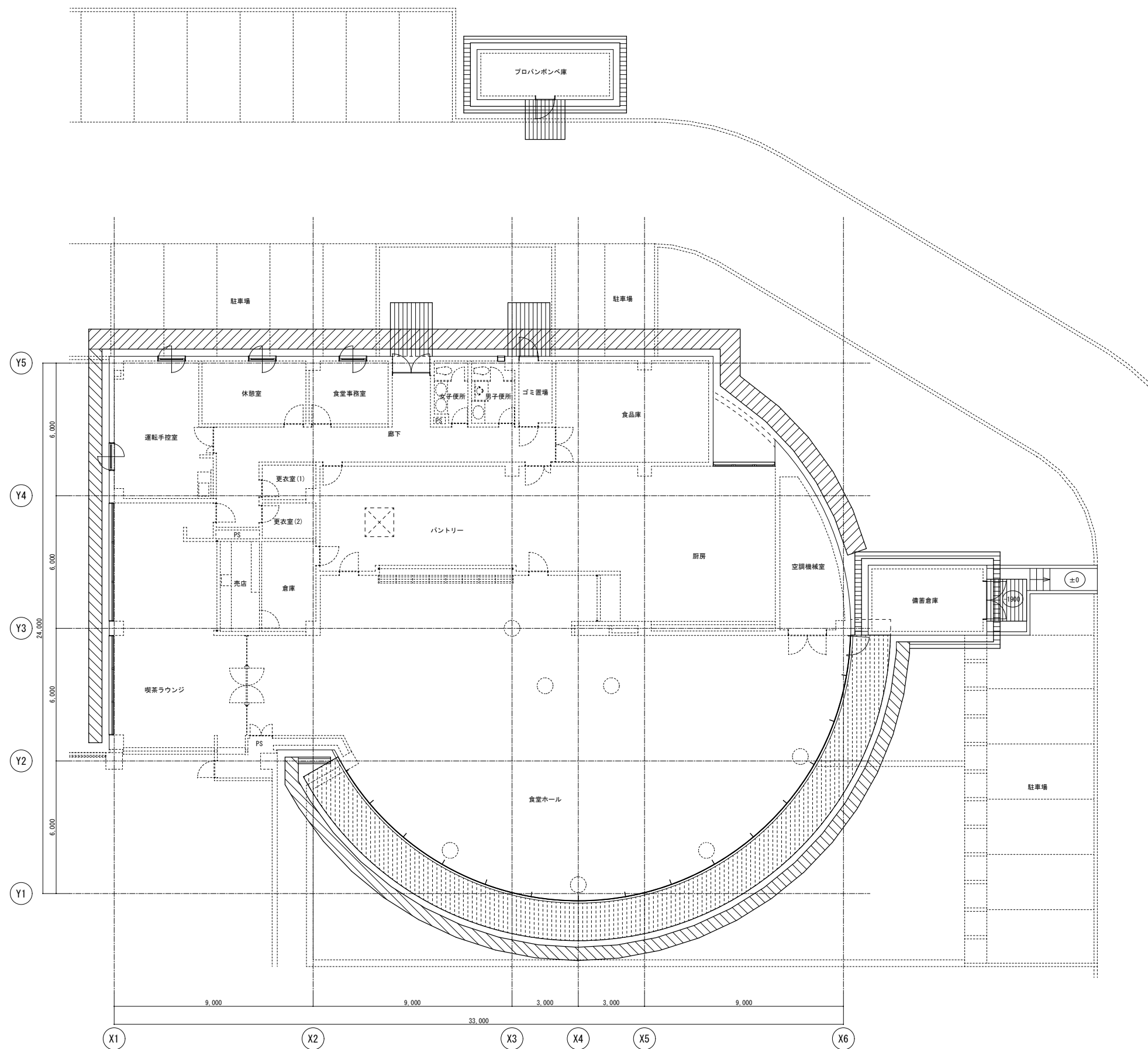
記 事	業務名称 <b>JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務</b>	工事名称 <b>JICA中国 外壁改修工事</b>	設計年月 令和3年 2月
	設計者 <b>株式会社 緯企画設計</b> 広島支店 <small>一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士 (大匠) 第336527号 管理建築士 東條 忠之</small>	図面名称 <b>E棟 仮設計画 1・2階平面図 (参考図)</b>	図面番号 <b>A - 39</b>





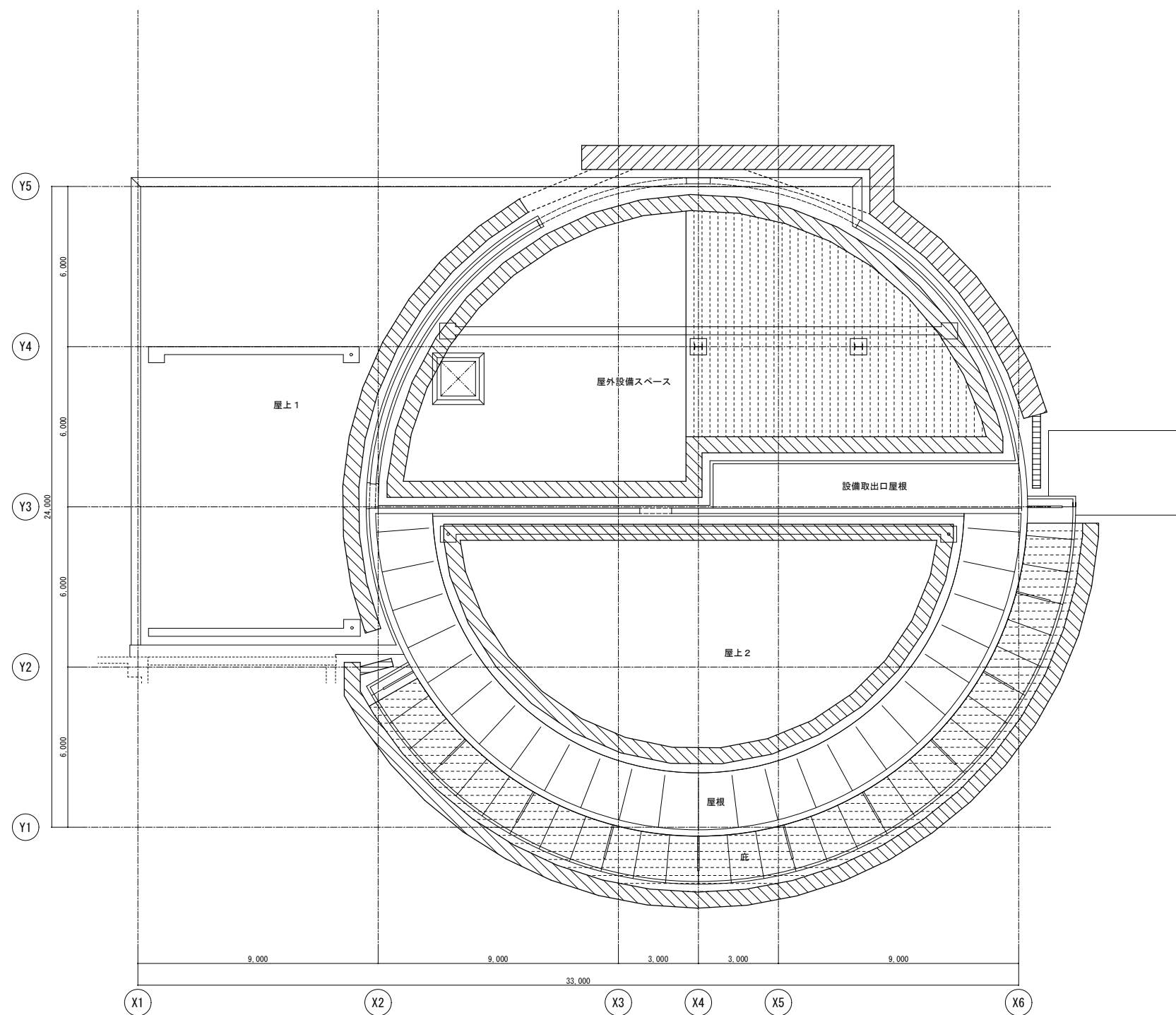


記 事	業務名称 JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務		工事名称 JICA中国 外壁改修工事		設計年月 令和3年 2月
	株式会社 緯企画設計 広島支店 一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士 (大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之		E棟 仮設計画 立面図 (参考図)		図面番号 A - 41
				縮尺 1/100	



- 外部足場W=900を示す
- 外部足場W=600を示す
- 外部足場W=300を示す
- ブラケット足場を示す
- 浮き棚足場を示す
- 棚足場を示す
- 朝顔養生・通路養生(壁・天井コンパネ張り)を示す

記 事	業務名称	JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務	工事名称	JICA中国 外壁改修工事	設計年月	令和3年 2月
	設計者	株式会社 緑企画設計 広島支店 一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士 (大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之	図面名称	F棟・付属棟 仮設計画 1階平面図 (参考図)	図面番号	A - 42
	縮尺	1/100				



- 外部足場W=900を示す
- 外部足場W=600を示す
- 外部足場W=300を示す
- プラケット足場を示す
- 浮き棚足場を示す
- 棚足場を示す
- 朝顔養生・通路養生(壁・天井コンパネ張り)を示す

記 事	業務名称 JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務		工事名称 JICA中国 外壁改修工事		設計年月 令和3年 2月
	株式会社 緯企画設計 広島支店 <small>一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士 (大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之</small>		<small>図面名称</small> F棟 仮設計画 屋根平面図 (参考図)		<small>縮尺</small> 1/100  <small>図面番号</small> A - 43

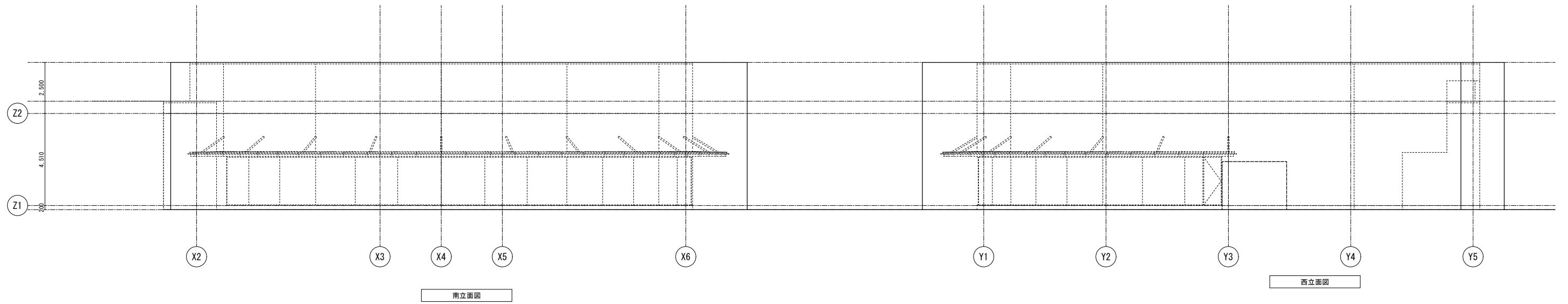
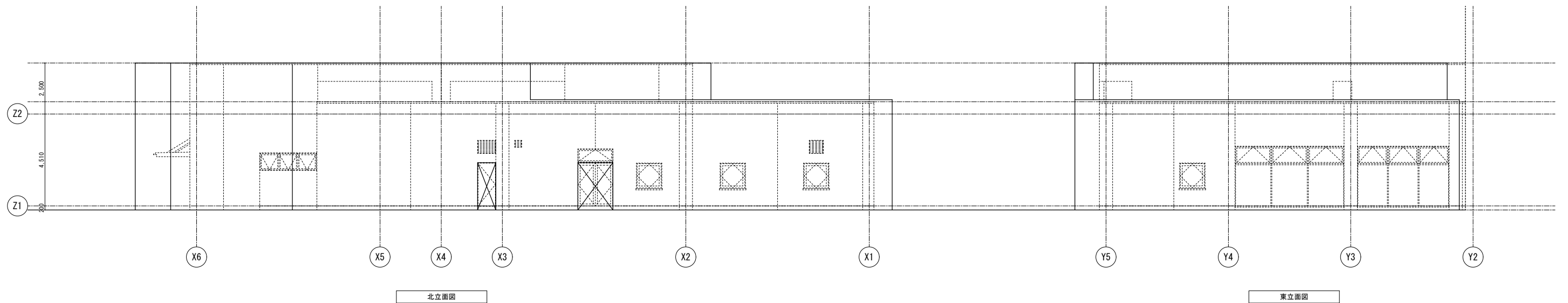


図 書	業務名称 JICA中国外壁改修工事にかかる設計・監理業務		工事名称 JICA中国 外壁改修工事		設計年月 令和3年 2月
	株式会社 株式会社 株式会社 広島支店 一級建築士事務所 広島県知事登録 20 (1) 第3396号 一級建築士 (大臣) 第336527号 管理建築士 東條 忠之		図面名称 F棟 仮設計面 立面図 (参考図)		図面番号 A - 44
			縮尺 1/100		